

令和元年度 守谷市  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
結果報告書

令和2年5月

守谷市



# 目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
(1)	回答者	2
(2)	性別	2
(3)	年齢	2
(4)	要介護度	3
(5)	居住地区	3
II	調査結果	4
1	あなたのご家族や生活状況について	4
(1)	家族構成	4
(2)	日常生活での介護・介助の必要性	6
(3)	介護・介助が必要になった主な原因	7
(4)	主に介護・介助する人	9
(5)	経済的にみた現在の暮らしの状況	11
(6)	住まいについて	12
2	からだを動かすことについて	14
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇る	14
(2)	椅子から何もつかまらずに立ち上がる	16
(3)	15分位続けて歩く	17
(4)	過去1年間の転倒経験	18
(5)	転倒に対する不安	19
(6)	週に1回以上の外出	21
(7)	外出の回数が減っているか	22
(8)	外出を控えているか	24
(9)	外出を控えている理由	25
(10)	外出する際の移動手段	27
(11)	自動車運転免許の有無	29
(12)	自動車運転免許を返納した場合の移動手段	31
3	食べることについて	33
(1)	身長・体重	33
(2)	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか	34

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか.....	35
(4) 口の渇きが気になるか.....	36
(5) 歯磨きを毎日しているか.....	37
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況.....	38
(7) 毎日入れ歯の手入れをしているか.....	40
(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか.....	41
(9) 誰かと食事をとにもする機会はあるか.....	43
4 毎日の生活について.....	45
(1) 物忘れが多いと感じるか.....	45
(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか.....	47
(3) 今日が何月何日かわからないときがあるか.....	48
(4) バスや電車を使って1人で外出しているか.....	49
(5) 自分で食品・日用品の買い物をしているか.....	51
(6) 自分で食事の用意をしているか.....	53
(7) 自分で請求書の支払いをしているか.....	55
(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか.....	57
(9) 役所や病院などに出す書類が書けるか.....	59
(10) 友人の家を訪ねているか.....	60
(11) 家族や友人の相談にのっているか.....	62
(12) 若い人に自分から話しかけることがあるか.....	64
(13) 趣味はあるか.....	65
①どのような趣味か.....	67
(14) 生きがいはあるか.....	68
①どのような生きがいがあるか.....	69
5 地域での活動について.....	70
(1) 会・グループ等への参加状況.....	70
①ボランティアのグループ.....	70
②スポーツ関係のグループ.....	72
③趣味関係のグループ.....	73
④学習・教養サークル.....	74
⑤シルバーリハビリ体操（パタカ）.....	75
⑥出前サロン.....	76
⑦シニアクラブ（老人クラブ）.....	77
⑧町内会・自治会.....	79
⑨収入のある仕事.....	80
(2) 地域活動に参加者として参加したいか.....	81
(3) 地域活動に企画・運営として参加したいか.....	83
6 たすけあいについて.....	85
(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	85
(2) あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	87
(3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人.....	89
(4) あなたが看病や世話をしてあげる人.....	91

(5) 家族や友人、知人以外の相談相手.....	93
(6) 友人・知人と会う頻度.....	95
(7) 1か月に会った友人・知人の人数.....	96
(8) よく会う友人・知人との関係性.....	97
(9) まわりの人との助け合い.....	99
① 安否確認の声かけ.....	99
② ちょっとした買い物やゴミ出し.....	100
③ 食事や掃除・洗濯の手伝い.....	101
④ 通院の送迎や外出の手助け.....	102
⑤ 話し相手や相談相手.....	103
⑥ 玄関前の除雪や草取り.....	104
⑦ 災害時の避難.....	105
7 健康について.....	106
(1) 現在の健康状態.....	106
(2) 現在の幸せの程度.....	108
(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったか.....	109
(4) 物事に対して興味がわかない、心から楽しめないことがあったか.....	110
(5) お酒を飲むか.....	111
(6) タバコを吸っているか.....	113
(7) 現在治療中または後遺症のある病気.....	115
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	117
(1) 自分あるいは家族に認知症の症状があるか.....	117
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか.....	118
(3) 知っている相談窓口.....	119



# I 調査の概要及び回答者の属性

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、国のモデル事業に基づき、守谷市の日常生活圏域における高齢者の生活実態やニーズを詳細に把握し、守谷市高齢者福祉計画の見直し及び第8期介護保険事業計画の策定のための基礎資料とするために実施したものである。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	65歳以上の要介護認定を受けていない守谷市民
配布数	13,927票
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和2年1月
調査地域	守谷市全域

### (3) 配布数及び回収結果

	全体	居住地区の内訳					
		みずき野地区	守谷地区	高野地区	大野地区	大井沢地区	北守谷地区
配布数	13,927	2,027	3,866	2,731	787	859	3,760
有効回収数	9,336	1,432	2,567	1,801	474	509	2,517
有効回収率	67.0%	70.6%	66.4%	65.9%	60.2%	59.3%	66.9%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

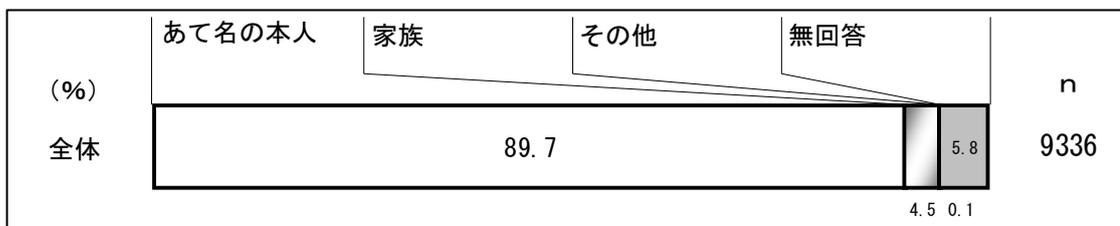
- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。  
従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

### 3 回答者の属性

#### (1) 回答者

調査票を記入した人は、「あて名の本人」が89.7%、「家族」が4.5%となっている。

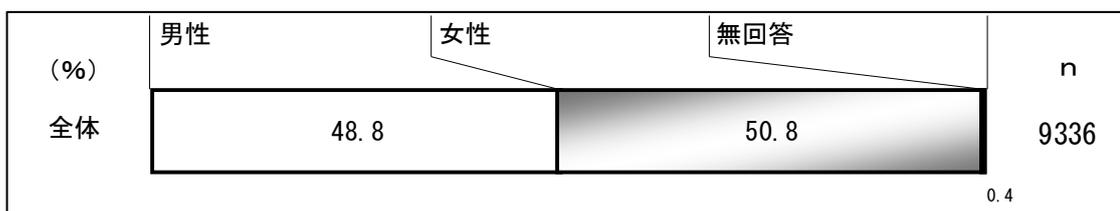
図表 回答者



#### (2) 性別

対象者の性別は、「女性」が50.8%、「男性」が48.8%となっている。

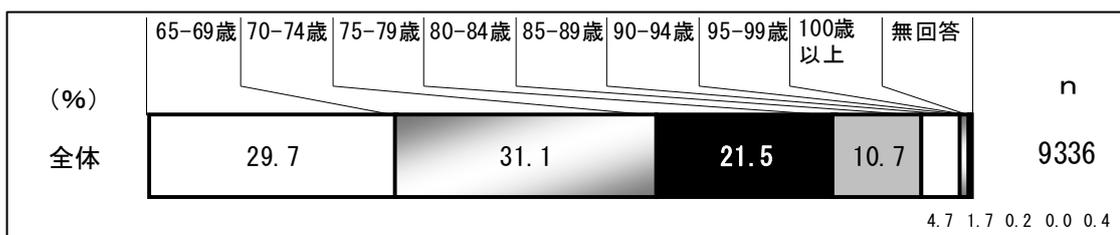
図表 対象者の性別



#### (3) 年齢

対象者の年齢は、「70-74歳」が31.1%、「65-69歳」が29.7%、「75-79歳」が21.5%、「80-84歳」が10.7%、「85-89歳」が4.7%、「90-94歳」が1.7%、「95-99歳」が0.2%となっている。

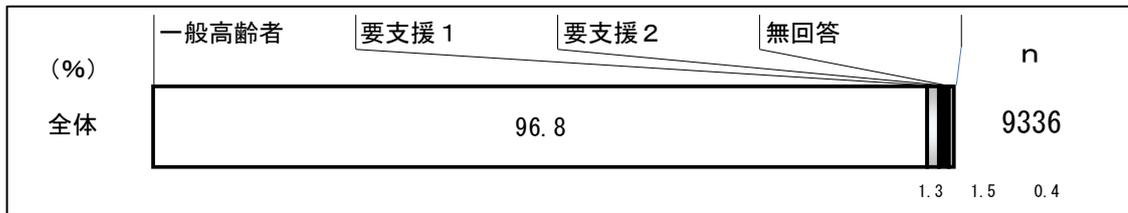
図表 対象者の年齢



#### (4) 要介護度

対象者の要介護度は、「一般高齢者」が 96.7%、「要支援 2」が 1.5%、「要支援 1」が 1.3%となっている。

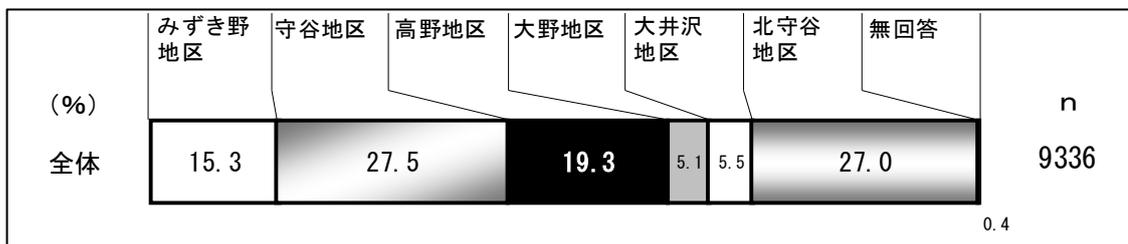
図表 対象者の要介護度



#### (5) 居住地区

居住地区は、「守谷地区」が 27.5%、「北守谷地区」が 27.0%、「高野地区」が 19.3%、「みずき野地区」が 15.3%、「大井沢地区」が 5.5%、「大野地区」が 5.1%となっている。

図表 対象者の居住地区



## Ⅱ 調査結果

### 1 あなたのご家族や生活状況について

#### (1) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください。(1つに○)

- 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が5割弱、「息子・娘との2世帯」が2割強を占める。

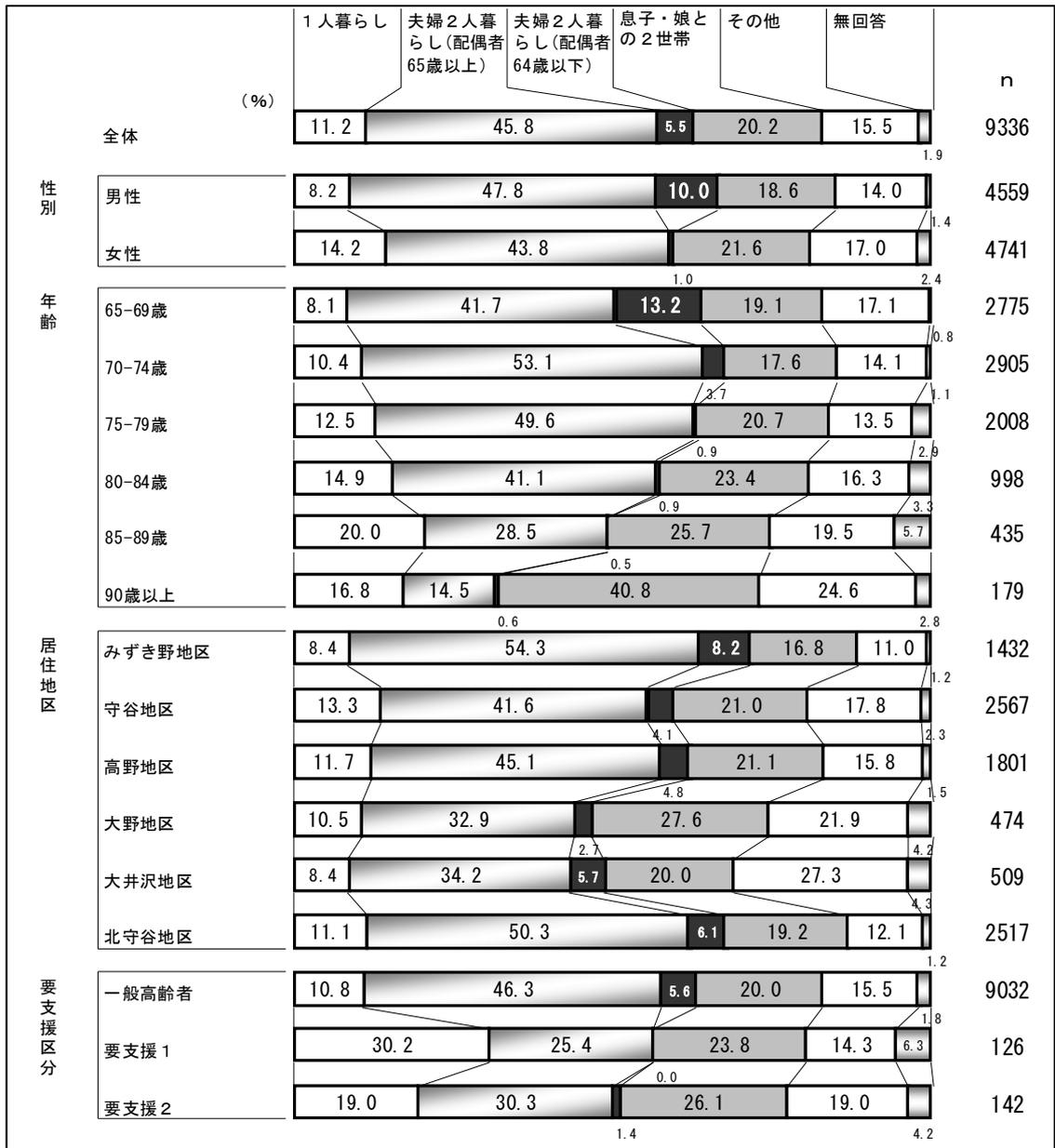
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.8%、「息子・娘との2世帯」が20.2%、「1人暮らし」が11.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が低下し、「息子・娘との2世帯」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

居住地区で見ると、いずれの地区でも「1人暮らし」は1割程度となっている。

要支援区分で見ると、要支援1では「1人暮らし」が30.2%と、他よりも高い割合を占めている。

図表 家族構成



## (2) 日常生活での介護・介助の必要性

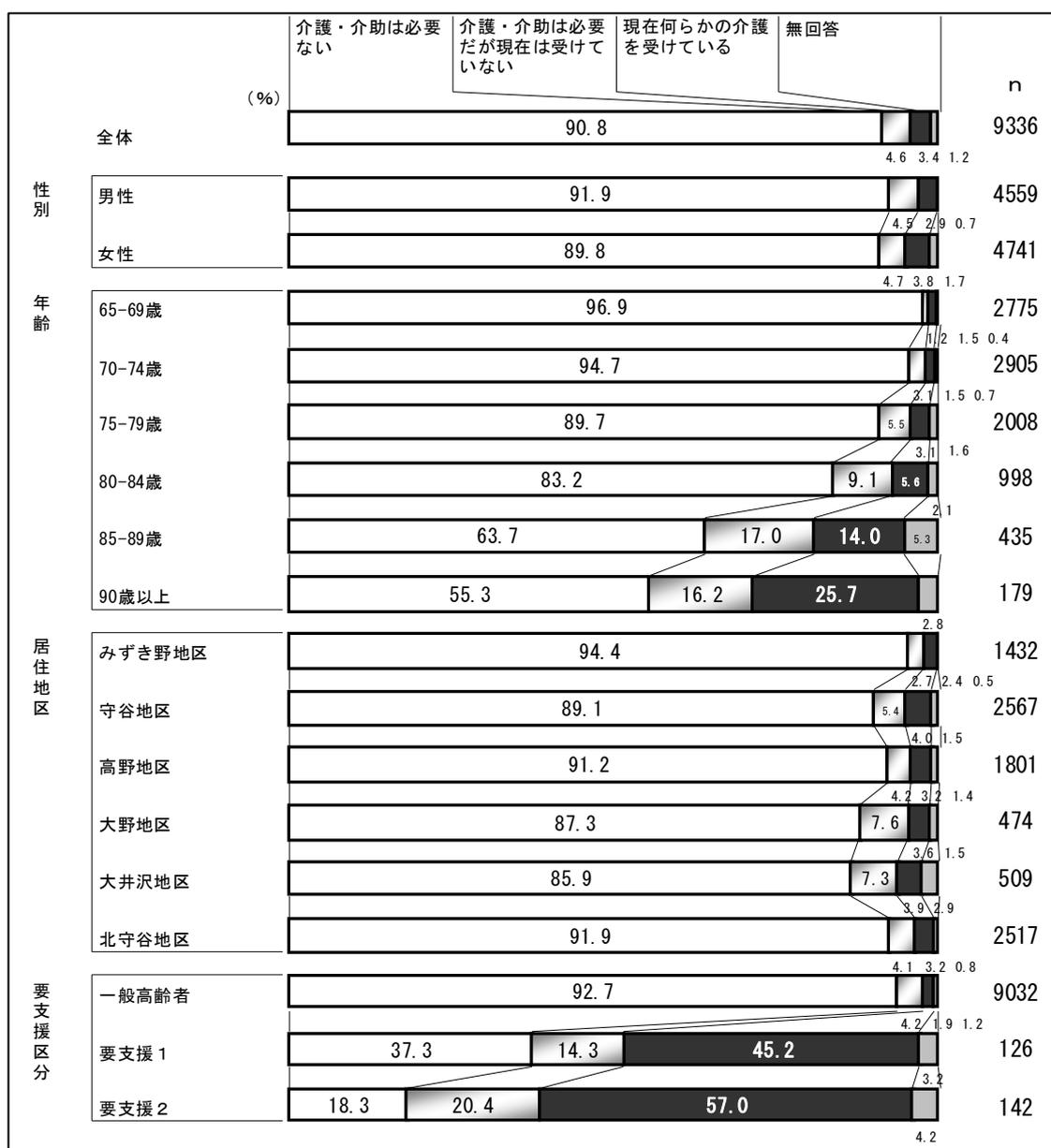
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

● 「介護・介助は必要ない」が9割強を占める。

日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が90.8%、「介護・介助は必要だが現在は受けていない」が4.6%、「現在何らかの介護を受けている」が3.4%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「介護・介助は必要だが現在は受けていない」と「現在何らかの介護を受けている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 日常生活での介護・介助の必要性



### (3) 介護・介助が必要になった主な原因

※問 2-1 は、問 2 で「1. 介護・介助は必要ない」以外を選んだ方のみお答えください。  
問 2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)  
【複数回答】

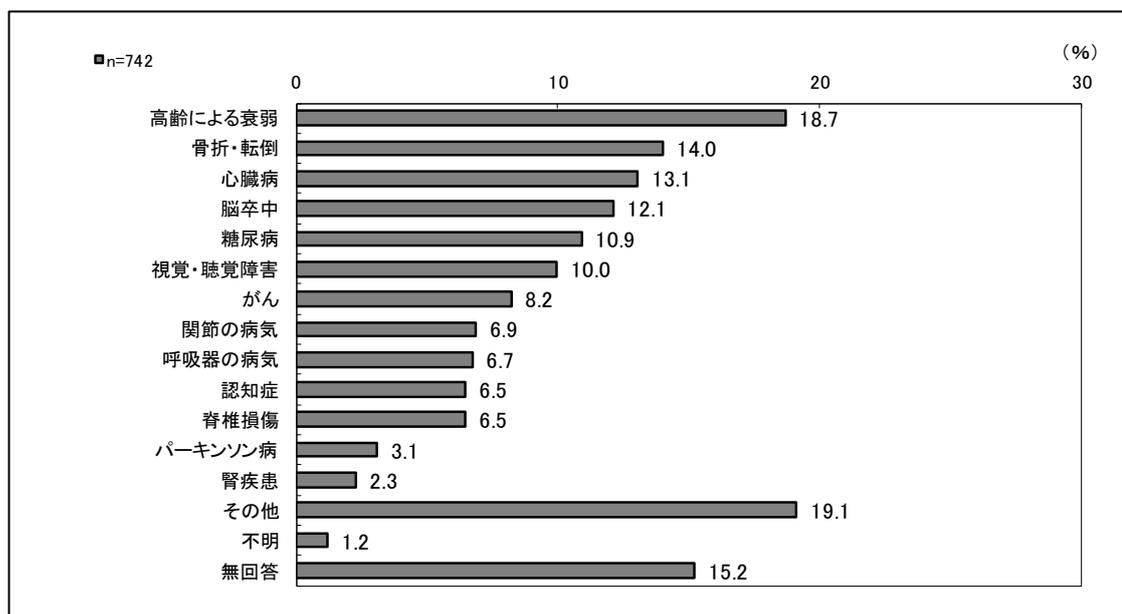
- 「高齢による衰弱」が第 1 位。「骨折・転倒」、「心臓病」、「脳卒中」などが続く。

介護・介助が必要になった主な原因についてたずねたところ、「高齢による衰弱」(18.7%)が最も多く、次いで「骨折・転倒」(14.0%)、「心臓病」(13.1%)、「脳卒中」(12.1%)、「糖尿病」(10.9%)、「視覚・聴覚障害」(10.0%)、「がん」(8.2%)、「関節の病気」(6.9%)、「呼吸器の病気」(6.7%)、「認知症」・「脊椎損傷」(同率 6.5%)、「パーキンソン病」(3.1%)、「腎疾患」(2.3%) などの順となっている。

性別でみると、男性では「糖尿病」が第 2 位となっている。

年齢でみると、65-69 歳、70-74 歳では「脳卒中」が第 1 位となっているほか、75-79 歳では「糖尿病」が第 1 位となっている。

図表 介護・介助が必要になった主な原因 (全体/複数回答)



図表 介護・介助が必要になった主な原因（全体・属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢による衰弱 18.7	骨折・転倒 14.0	心臓病 13.1
性別	男性	高齢による衰弱 19.6	心臓病／糖尿病 15.7	
	女性	高齢による衰弱 18.2	骨折・転倒 16.7	心臓病 10.7
年齢	65-69歳	脳卒中／脊椎損傷 10.7		がん／関節の病気 9.3
	70-74歳	脳卒中 18.8	心臓病 15.8	糖尿病 14.3
	75-79歳	糖尿病 13.8	骨折・転倒／高齢による衰弱 11.5	
	80-84歳	高齢による衰弱 19.0	心臓病 18.4	骨折・転倒 15.6
	85-89歳	高齢による衰弱 27.4	骨折・転倒 16.3	心臓病 15.6
	90歳以上	高齢による衰弱 46.7	骨折・転倒 25.3	視覚・聴覚障害 14.7
居住地区	みずき野地区	高齢による衰弱 26.0	脳卒中／がん 16.4	
	守谷地区	高齢による衰弱 16.2	心臓病 14.9	骨折・転倒 13.3
	高野地区	高齢による衰弱 22.6	脳卒中 17.3	骨折・転倒 14.3
	大野地区	高齢による衰弱 18.9	骨折・転倒 17.0	糖尿病／視覚・聴覚障害 15.1
	大井沢地区	骨折・転倒／高齢による衰弱 14.0		視覚・聴覚障害 10.5
	北守谷地区	高齢による衰弱 18.1	骨折・転倒 13.2	心臓病 12.6
要支援区分	一般高齢者	高齢による衰弱 18.1	心臓病 13.9	糖尿病 11.6
	要支援1	骨折・転倒／高齢による衰弱 18.7		脳卒中 13.3
	要支援2	骨折・転倒 24.5	高齢による衰弱 22.7	脳卒中 13.6

#### (4) 主に介護・介助する人

※問2-2は、問2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみお答えください。

問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（あてはまるものすべてに○）

【複数回答】



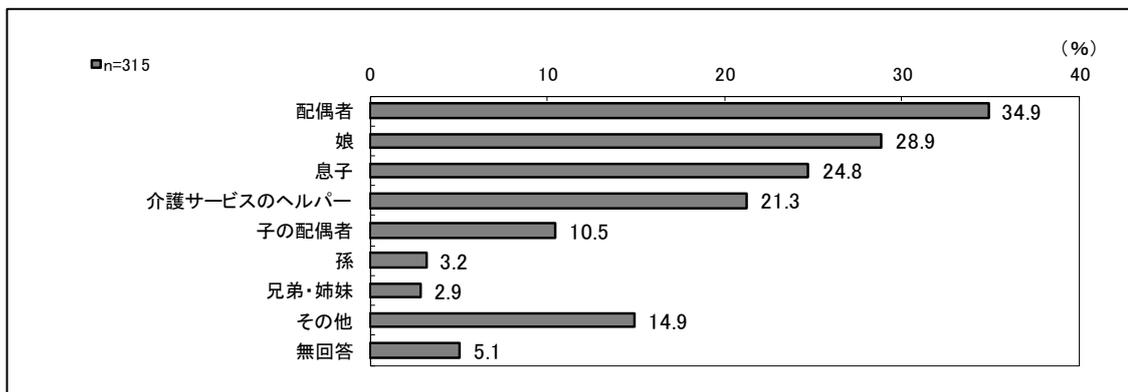
- 「配偶者」が第1位。「娘」、「息子」、「介護サービスのヘルパー」などが続く。

主に介護・介助する人については、「配偶者(34.9%)」が最も多く、次いで「娘」(28.9%)、「息子」(24.8%)、「介護サービスのヘルパー」(21.3%)、「子の配偶者」(10.5%)、「孫」(3.2%)、「兄弟・姉妹」(2.9%)などの順となっている。

性別でみると、男性では「配偶者」が第1位となっているのに対し、女性では「娘」が第1位となっている。

年齢でみると、79歳以下では「配偶者」が第1位となっているのに対し、80-84歳では「介護サービスのヘルパー」、85歳以上では「息子」が第1位となっている。

図表 主に介護・介助する人（全体／複数回答）



図表 主に介護・介助する人（全体・属性別－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 34.9	娘 28.9	息子 24.8
性別	男性	配偶者 45.8	娘 22.1	介護サービスのヘルパー 20.6
	女性	娘 33.7	息子 28.2	配偶者 26.5
年齢	65-69歳	配偶者 54.8	娘 14.3	介護サービスのヘルパー 11.9
	70-74歳	配偶者 47.7	息子／娘 20.5	
	75-79歳	配偶者 55.6	娘 38.1	息子 19.0
	80-84歳	介護サービスのヘルパー 32.1	配偶者 30.4	娘 28.6
	85-89歳	息子 36.1	娘 31.1	介護サービスのヘルパー 29.5
	90歳以上	息子 37.0	娘 34.8	介護サービスのヘルパー 23.9
居住地区	みずき野地区	配偶者 62.9	娘 28.6	息子 22.9
	守谷地区	配偶者／娘 26.5		介護サービスのヘルパー 22.5
	高野地区	配偶者 39.7	息子 37.9	娘 27.6
	大野地区	娘 41.2	息子 23.5	配偶者／介護サービスのヘルパー 17.6
	大井沢地区	息子／介護サービスのヘルパー 35.0		子の配偶者 25.0
	北守谷地区	配偶者 37.5	娘 33.8	介護サービスのヘルパー 22.5
要支援区分	一般高齢者	配偶者 44.3	娘 28.2	息子 24.1
	要支援1	介護サービスのヘルパー 40.4	娘 38.6	息子 26.3
	要支援2	介護サービスのヘルパー 37.0	配偶者 25.9	息子 24.7

## (5) 経済的にみた現在の暮らしの状況

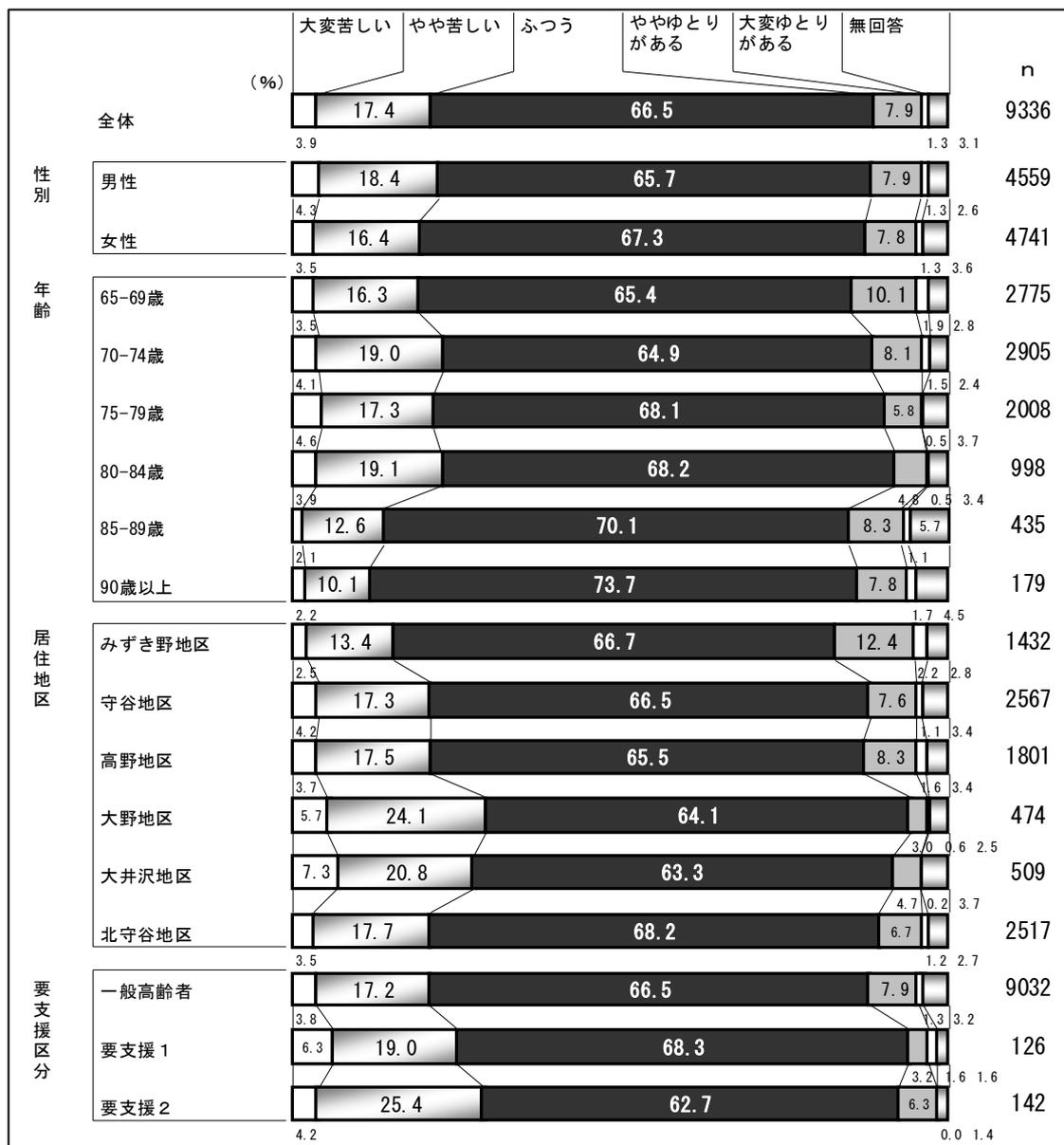
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

● 「ふつう」が7割弱を占める。

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」(66.5%)と答えた人が最も多く、次いで「やや苦しい」(17.4%)が続き、これと「大変苦しい」(3.9%)を合わせた“苦しい”は21.3%、一方“ゆとりがある”（「ややゆとりがある」(7.9%)と「大変ゆとりがある」(1.3%)の合計)は9.2%となっている。

年齢で“苦しい”の割合をみると、84歳以下ではいずれも2割程度を占めるのに対し、85歳以上では1割強となっている。

図表 経済的にみた現在の暮らしの状況



## (6) 住まいについて

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)



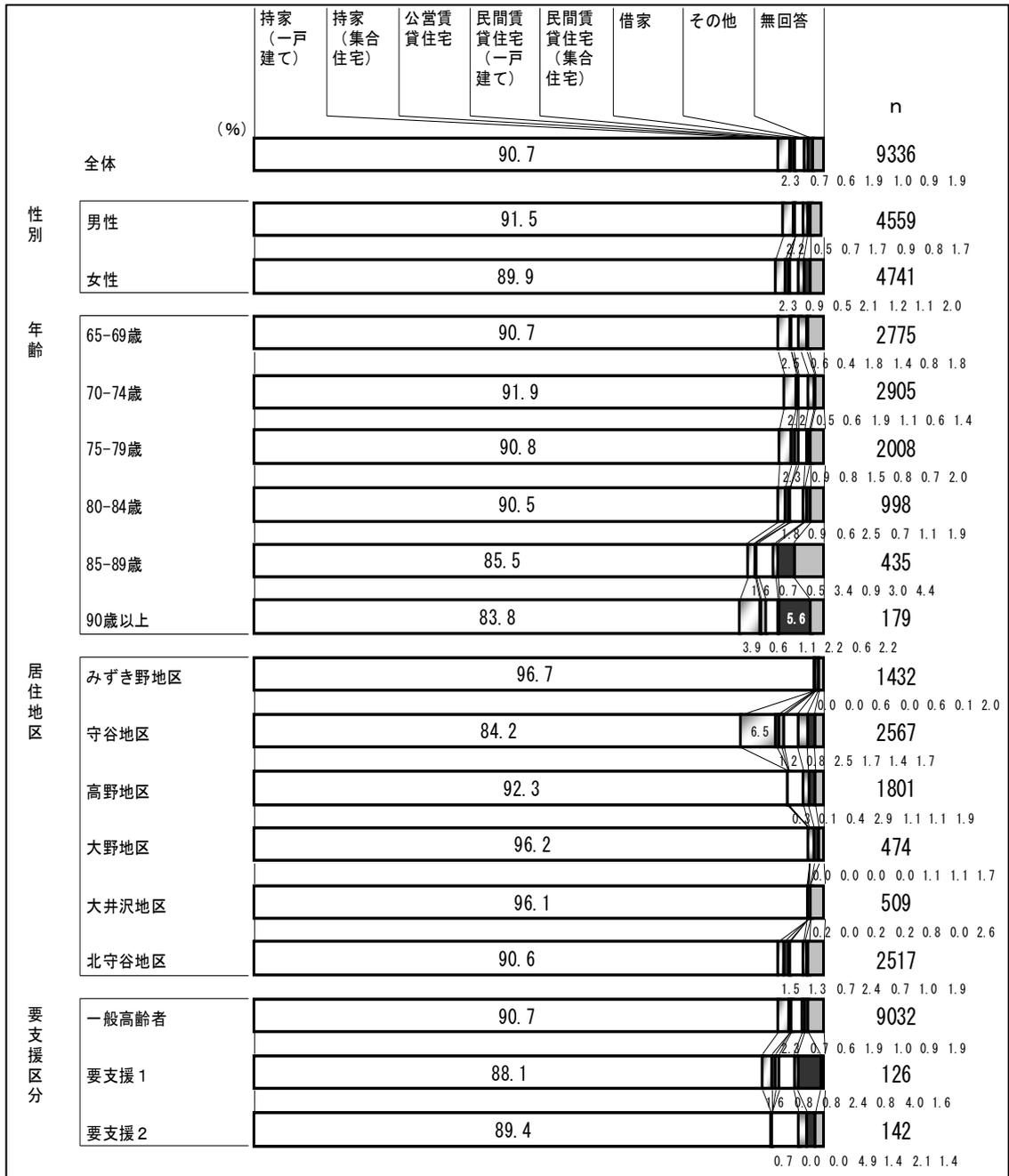
- 「持家（一戸建て）」が9割強を占める。

住まいについてたずねたところ、「持家（一戸建て）」が90.7%、「持家（集合住宅）」が2.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.9%、「借家」が1.0%、「公営賃貸住宅」が0.7%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.6%となっている。

年齢で見ると、84歳以下では「持家（一戸建て）」がいずれも9割以上となっているのに対し、85歳以上では9割未満となっている。

居住地区で見ると、守谷地区では「持家（一戸建て）」が8割強となっている。

図表 住まいについて



## 2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇る

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)



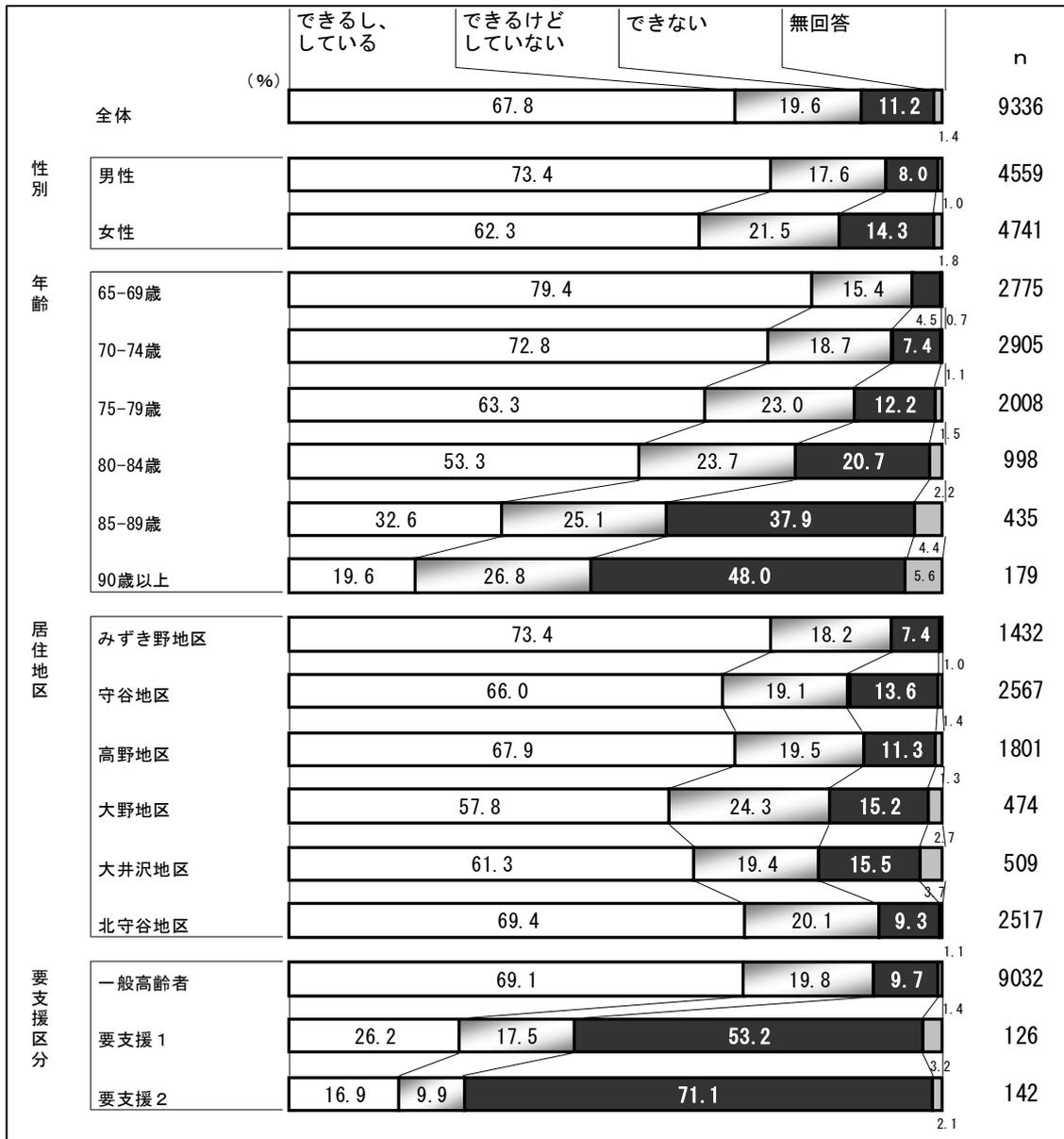
- 「できるし、している」が7割弱を占める。

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかたずねたところ、「できるし、している」が67.8%、「できるけどしていない」が19.6%、「できない」が11.2%となっている。

性別で見ると、男性よりも女性の「できるし、している」の割合が低くなっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 階段を手すりや壁をつたわずに昇る



## (2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる

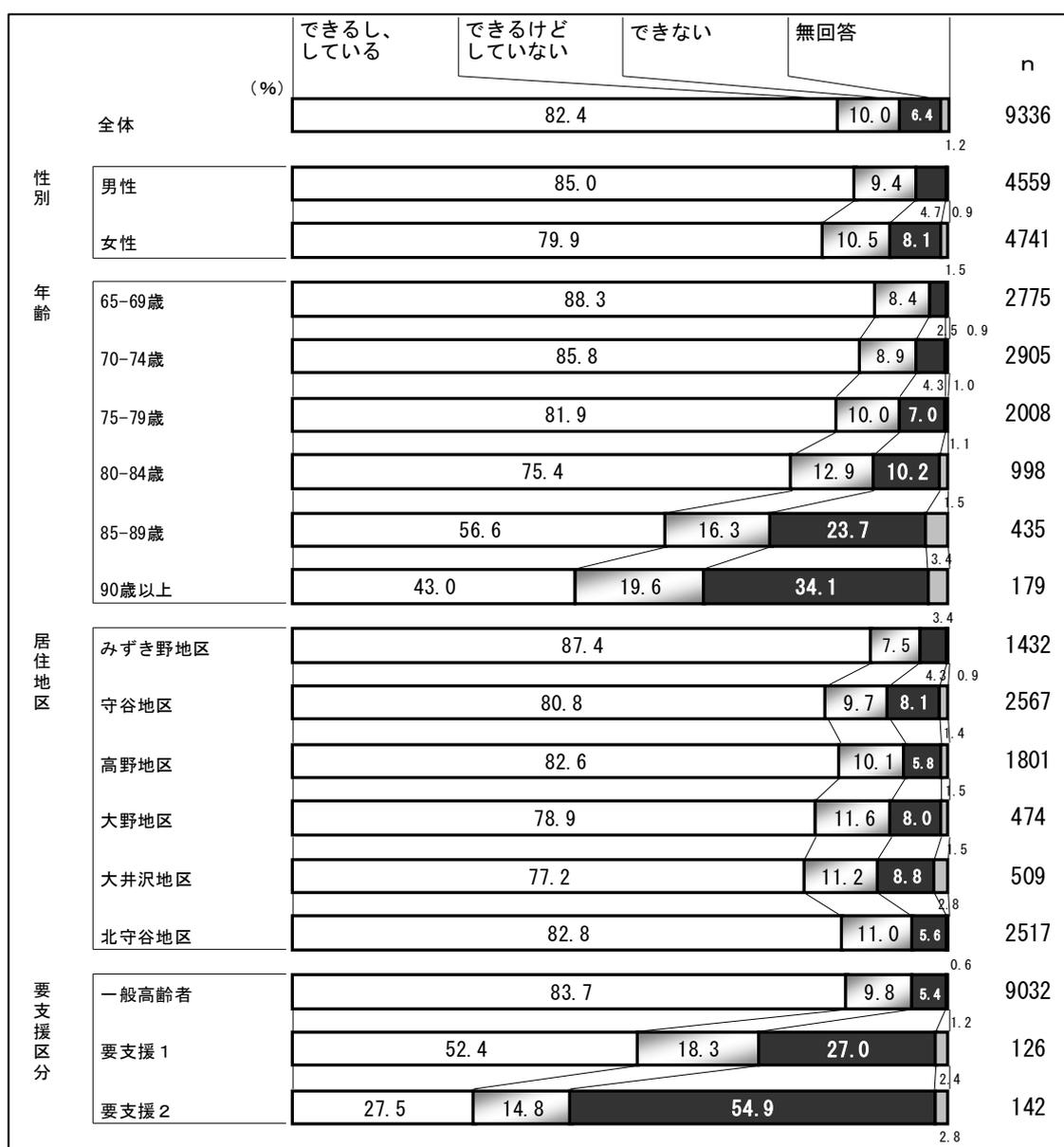
問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

● 「できるし、している」が8割強を占める。

椅子から何もつかまらずに立ち上がることができるかたずねたところ、「できるし、している」が82.4%、「できるけどしていない」が10.0%、「できない」が6.4%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 椅子から何もつかまらずに立ち上がる



### (3) 15分位続けて歩く

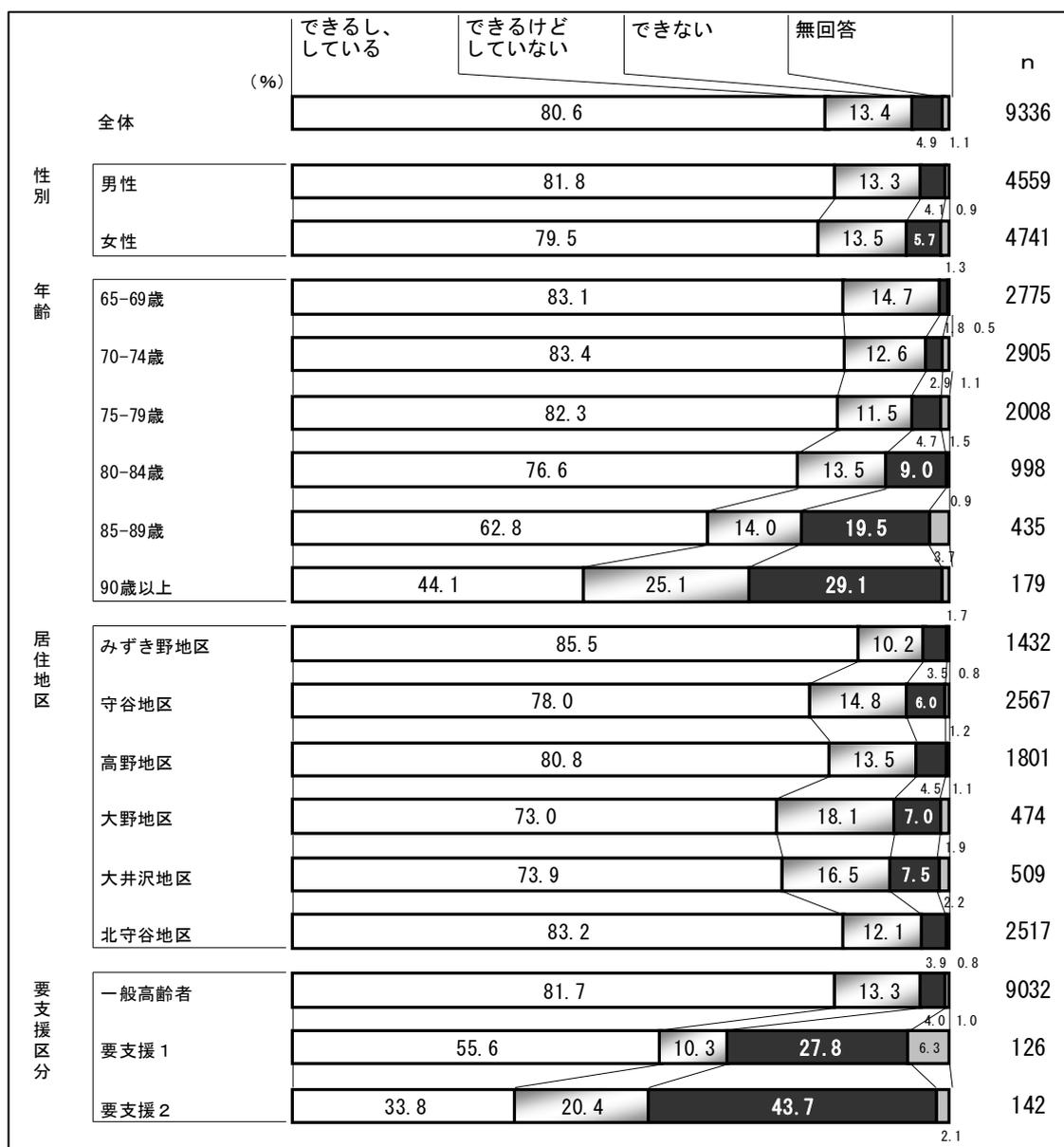
問7 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

● 「できるし、している」が8割強を占める。

15分位続けて歩いているかたずねたところ、「できるし、している」が80.6%、「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が4.9%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 15分位続けて歩く



#### (4) 過去1年間の転倒経験

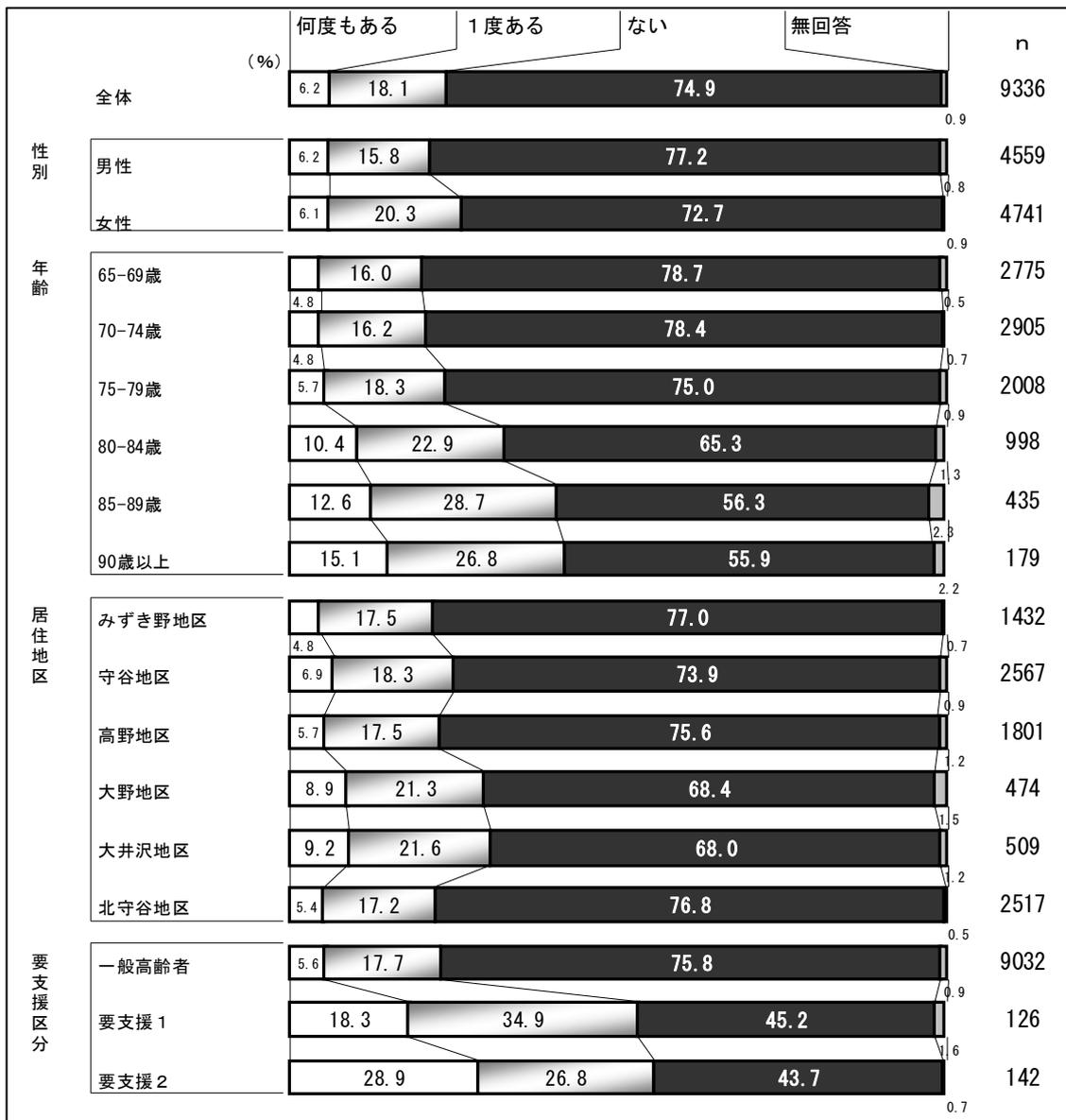
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

● 「ない」が7割強を占める。

過去1年間の転倒経験については、「ない」が74.9%、「1度ある」が18.1%、「何度もある」が6.2%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「ない」の割合が低くなり、「何どもある」、「1度ある」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 過去1年間の転倒経験



## (5) 転倒に対する不安

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)



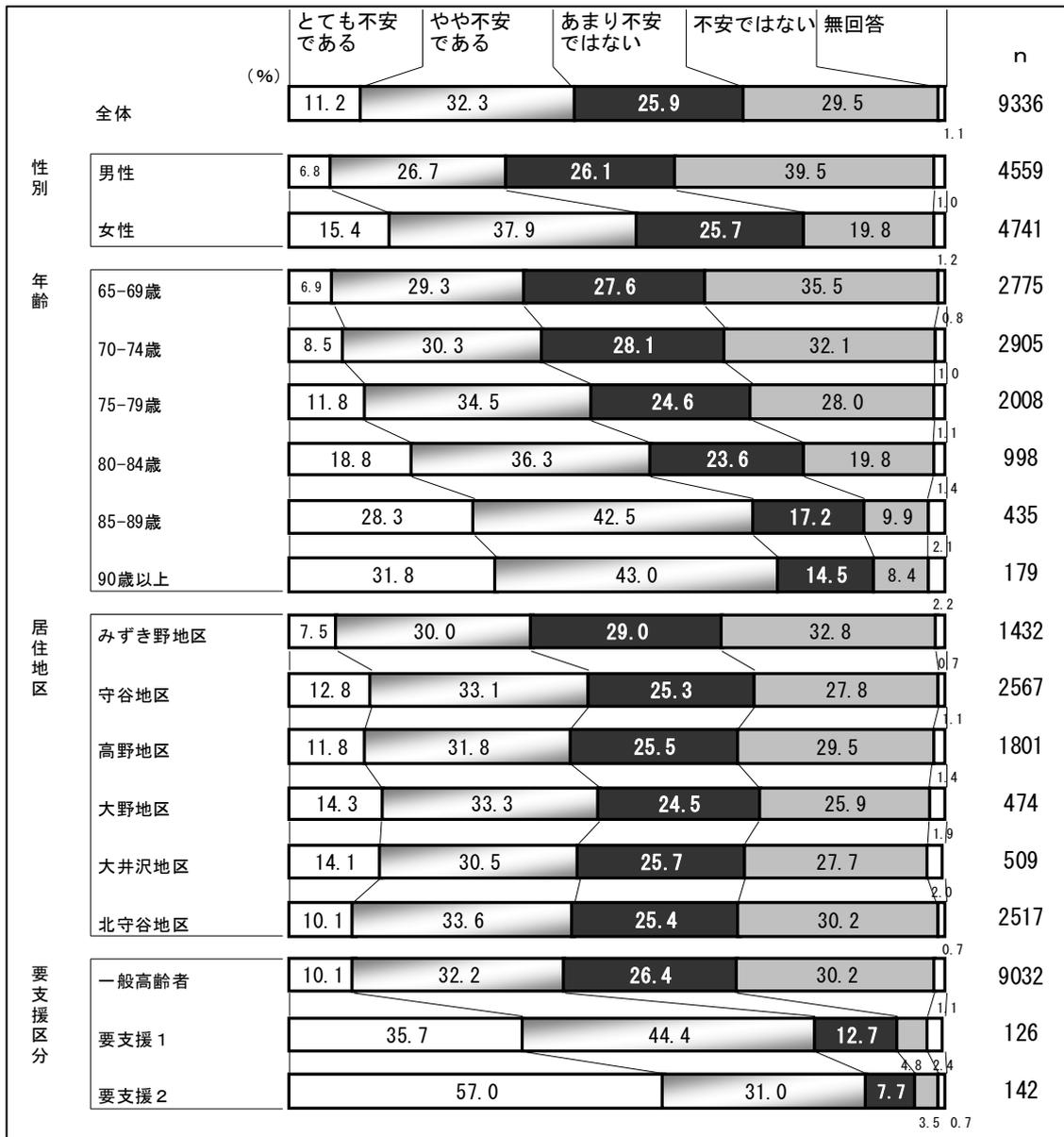
- “不安ではない”が6割弱、“不安である”が4割強を占める。

転倒に対する不安については、「やや不安である」(32.3%)と答えた人が最も多く、これと「とても不安である」(11.2%)を合わせた“不安である”は43.5%となっている。一方“不安ではない”(「不安ではない」(29.5%)と「あまり不安ではない」(25.9%)の合計)は55.4%となっている。

性別で見ると、男性では“不安ではない”が7割弱を占めるのに対し、女性では“不安である”が5割強を占めている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて“不安である”の割合が高くなる傾向にあり、90歳以上では7割強を占めている。

図表 転倒に対する不安



## (6) 週に1回以上の外出

問10 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

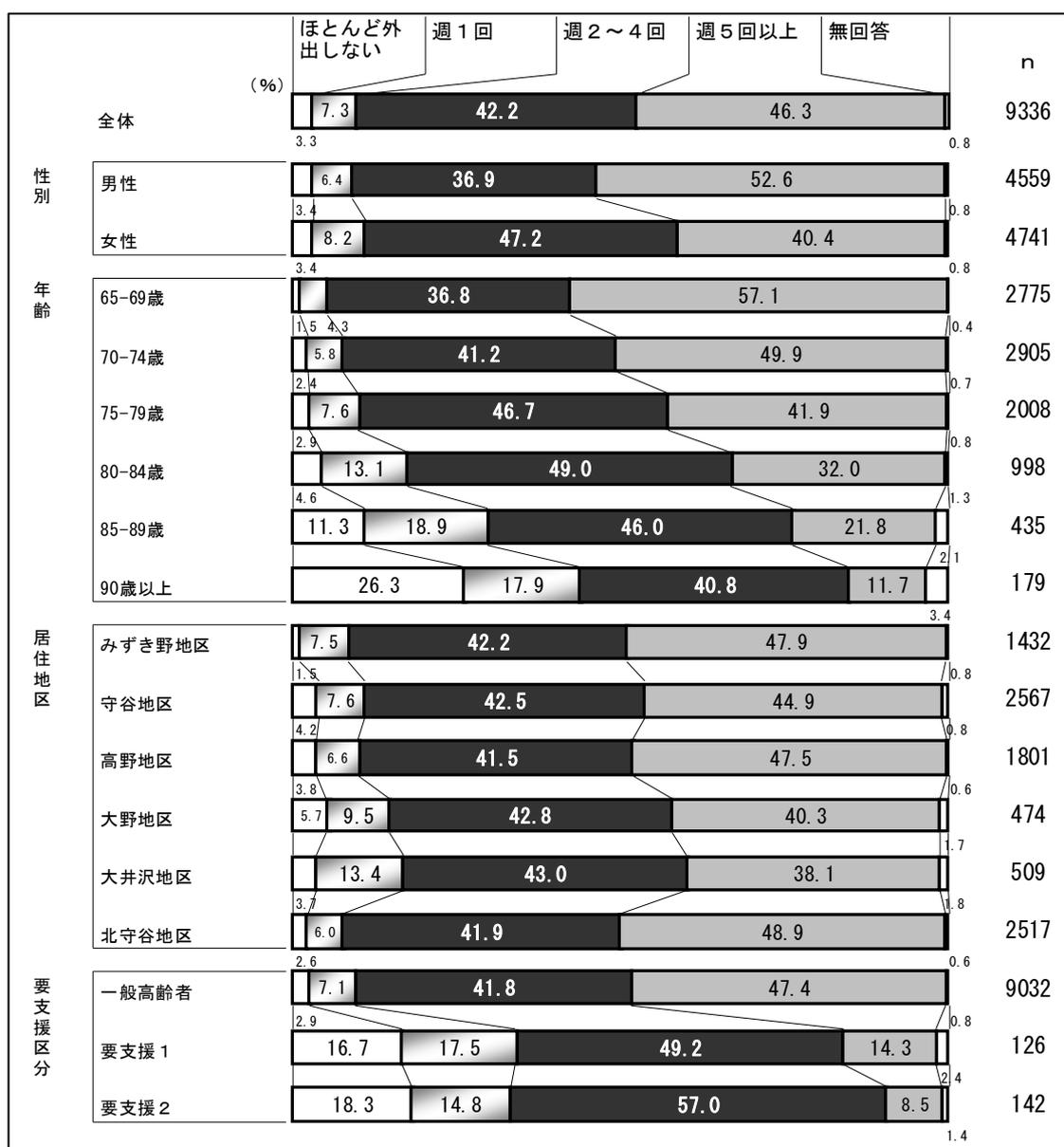
- 「週5回以上」が5割弱、「週2～4回」が4割強を占める。

週に1回以上の外出については、「週5回以上」が46.3%、「週2～4回」が42.2%、「週1回」が7.3%、「ほとんど外出しない」が3.3%となっている。

性別で見ると、男性では「週5回以上」が5割強を占めるのに対し、女性では「週2～4回」が5割弱となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなる傾向がうかがえ、90歳以上では26.3%となっている。

図表 週に1回以上の外出



## (7) 外出の回数が減っているか

問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

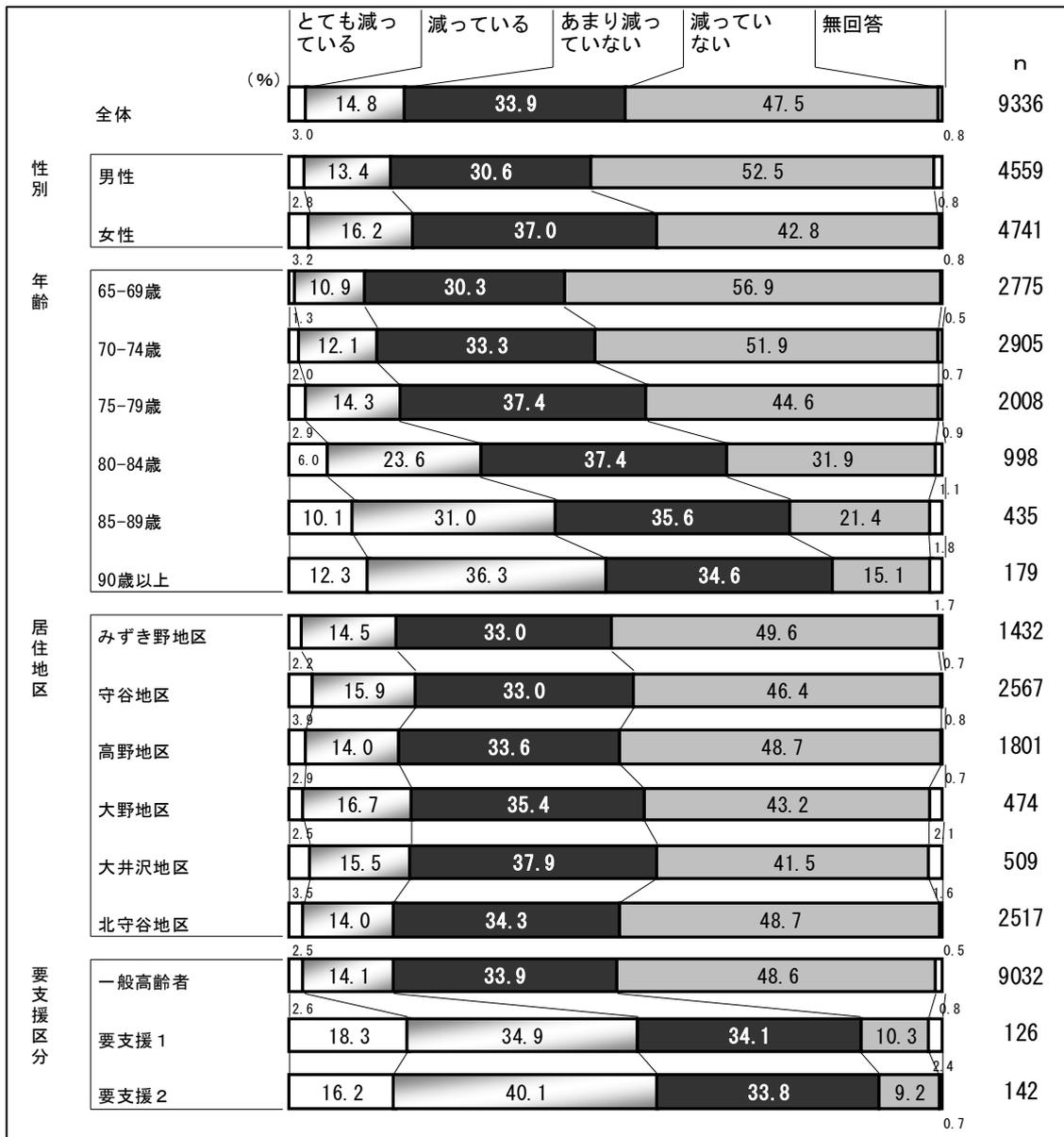


- “減っていない”が8割強を占める。

昨年と比べて外出の回数が減っているかたずねたところ、「減っていない」(47.5%)と「あまり減っていない」(33.9%)を合わせた“減っていない”は81.4%、「減っている」(14.8%)と「とても減っている」(3.0%)を合わせた“減っている”は17.8%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて“減っていない”の割合が低くなり、“減っている”の割合が高くなる傾向がうかがえる。“減っている”の割合をみると、79歳以下ではいずれも1割台であったのに対し、80-84歳では3割弱、85-89歳では4割強、90歳以上では5割弱と、80歳以上になると急激に割合が高くなっている。

図表 外出の回数が減っているか



## (8) 外出を控えているか

問 12 外出を控えていますか。(1つに○)

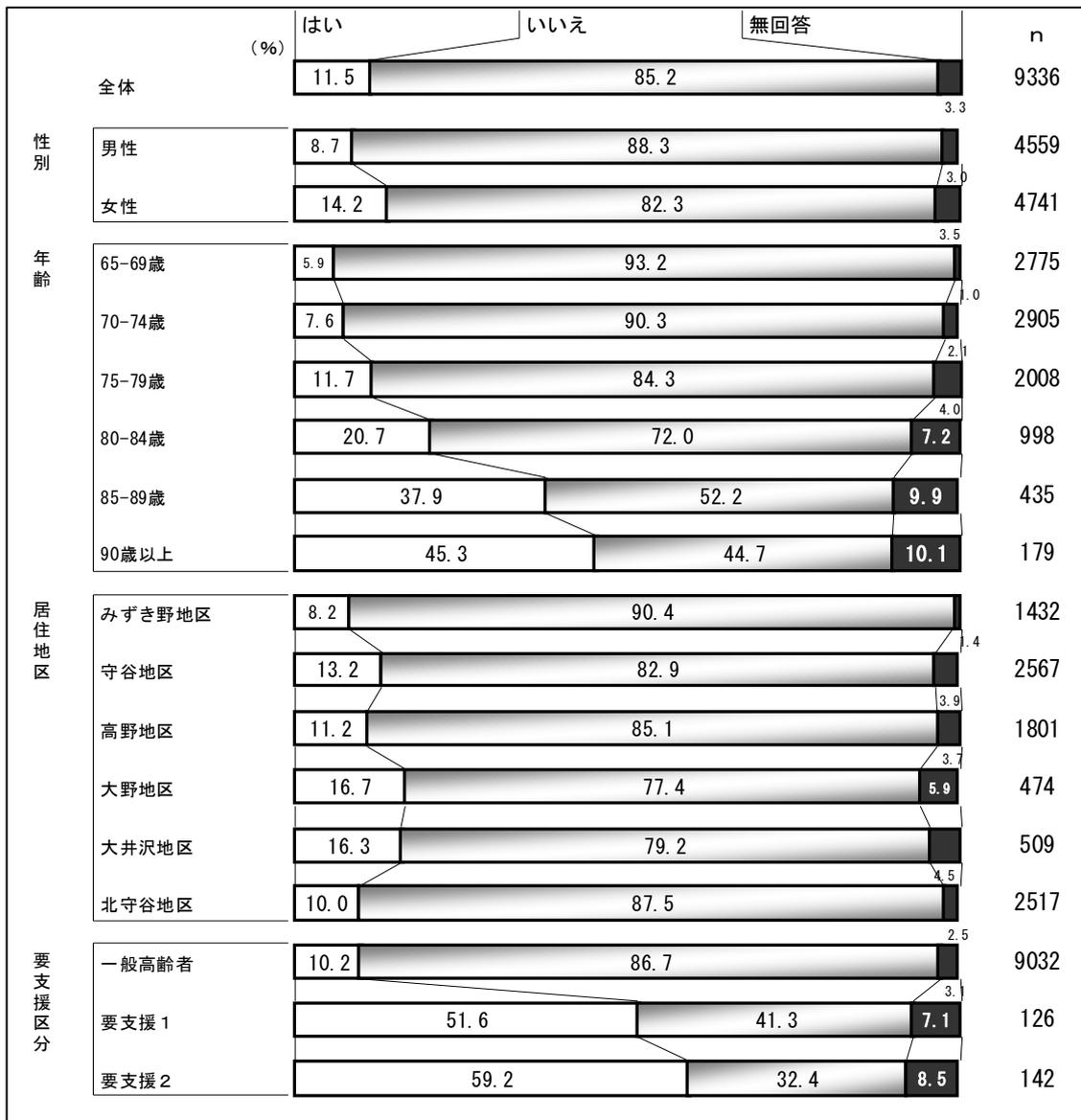
- 「いいえ」が9割弱、「はい」が1割強を占める。

外出を控えているかたずねたところ、「いいえ」が85.2%、「はい」が11.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

要支援区分で見ると、一般高齢者では「はい」が10.2%となっているのに対し、要支援1では51.6%、要支援2では59.2%となっている。

図表 外出を控えているか



### (9) 外出を控えている理由

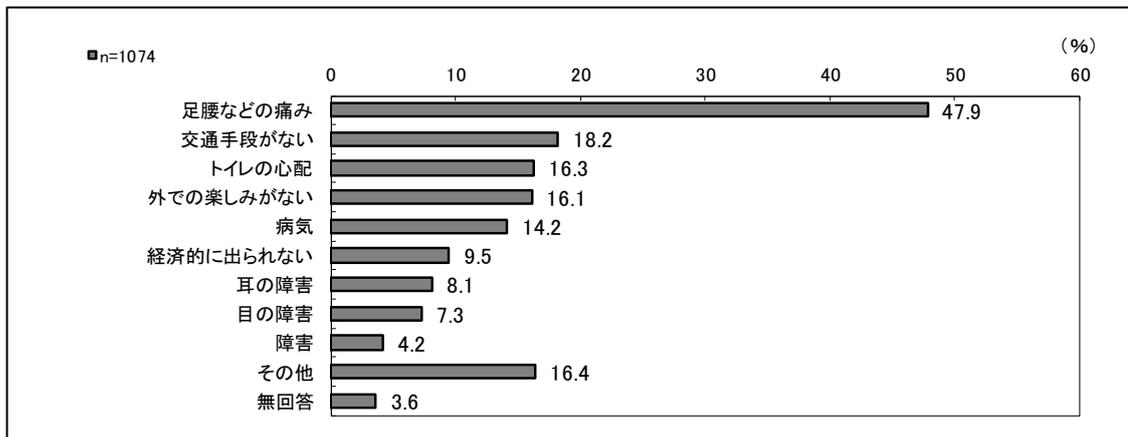
※問 12-1 は、問 12 で「1. はい」(外出を控えている)を選択した方のみお答えください。  
問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)  
【複数回答】

- 「足腰などの痛み」が他を大きく引き離して第1位。

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」(47.9%)が最も多く、次いで「交通手段がない」(18.2%)、「トイレの心配」(16.3%)、「外での楽しみがない」(16.1%)、「病気」(14.2%)、「経済的に出られない」(9.5%)、「耳の障害」(8.1%)、「目の障害」(7.3%)、「障害」(4.2%)などの順となっている。

いずれの属性でも「足腰などの痛み」が第1位となっている。

図表 外出を控えている理由 (全体/複数回答)



図表 外出を控えている理由（全体・属性別－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		足腰などの痛み 47.9	交通手段がない 18.2	トイレの心配 16.3
性別	男性	足腰などの痛み 42.7	外での楽しみがない 19.6	トイレの心配 18.6
	女性	足腰などの痛み 51.0	交通手段がない 21.2	トイレの心配 15.0
年齢	65-69歳	足腰などの痛み 28.2	外での楽しみがない 27.0	経済的に出られない 20.2
	70-74歳	足腰などの痛み 45.2	病気 17.2	外での楽しみがない 16.3
	75-79歳	足腰などの痛み 46.8	トイレの心配 17.4	病気 17.0
	80-84歳	足腰などの痛み 53.6	交通手段がない 23.7	トイレの心配 20.3
	85-89歳	足腰などの痛み 61.2	交通手段がない 30.9	耳の障害 15.8
	90歳以上	足腰などの痛み 56.8	トイレの心配 19.8	耳の障害／交通手段がない 18.5
居住地区	みずき野地区	足腰などの痛み 47.0	病気 23.1	交通手段がない 21.4
	守谷地区	足腰などの痛み 47.6	交通手段がない 18.2	トイレの心配／外での楽しみがない 14.4
	高野地区	足腰などの痛み 48.0	トイレの心配 23.3	外での楽しみがない 19.3
	大野地区	足腰などの痛み 46.8	交通手段がない 20.3	耳の障害／外での楽しみがない 13.9
	大井沢地区	足腰などの痛み 53.0	交通手段がない 24.1	トイレの心配 15.7
	北守谷地区	足腰などの痛み 47.4	外での楽しみがない 17.9	トイレの心配 16.7
要支援区分	一般高齢者	足腰などの痛み 46.8	外での楽しみがない 17.4	交通手段がない 16.7
	要支援1	足腰などの痛み 47.7	交通手段がない 33.8	病気／耳の障害 15.4
	要支援2	足腰などの痛み 60.7	交通手段がない 23.8	病気／トイレの心配 15.5

## (10) 外出する際の移動手段

問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「徒歩」が第1位。「自動車(自分で運転)」、「電車」、「自転車」などが続く。

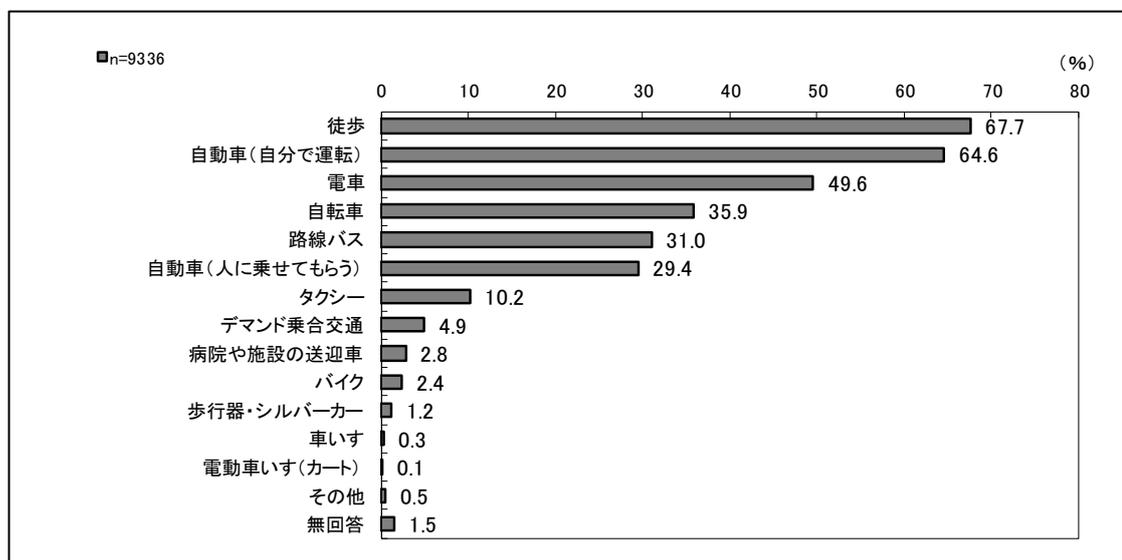
外出する際の移動手段については、「徒歩」(67.7%)が最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」(64.6%)、「電車」(49.6%)、「自転車」(35.9%)、「路線バス」(31.0%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(29.4%)、「タクシー」(10.2%)、「デマンド乗合交通」(4.9%)、「病院や施設の送迎車」(2.8%)、「バイク」(2.4%)、「歩行器・シルバーカー」(1.2%)などの順となっている。

性別で見ると、男性では「自動車(自分で運転)」が第1位となっているのに対し、女性では「徒歩」が第1位となっている。

年齢で見ると、74歳以下では「自動車(自分で運転)」が第1位となっているのに対し、75～89歳では「徒歩」、90歳以上では「自動車(人に乗せてもらう)」が第1位となっている。

居住地区で見ると、大野地区と大井沢地区では「自動車(自分で運転)」が第1位となっている。

図表 外出する際の移動手段(全体/複数回答)



図表 外出する際の移動手段（全体・属性別－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		徒歩 67.7	自動車（自分で運転） 64.6	電車 49.6
性別	男性	自動車（自分で運転） 79.4	徒歩 70.9	電車 51.0
	女性	徒歩 64.5	自動車（自分で運転） 50.2	電車 48.1
年齢	65-69歳	自動車（自分で運転） 79.5	徒歩 68.9	電車 55.2
	70-74歳	自動車（自分で運転） 73.0	徒歩 69.7	電車 52.4
	75-79歳	徒歩 69.0	自動車（自分で運転） 58.7	電車 48.8
	80-84歳	徒歩 64.6	電車 41.5	自動車（自分で運転） 39.0
	85-89歳	徒歩 55.2	自動車（人に乗せてもら う） 48.0	電車 28.7
	90歳以上	自動車（人に乗せてもら う） 59.8	徒歩 46.4	電車／タクシー 17.3
居住地区	みずき野地区	徒歩 75.6	自動車（自分で運転） 72.1	電車 66.0
	守谷地区	徒歩 66.8	自動車（自分で運転） 58.6	電車 44.4
	高野地区	徒歩 70.1	自動車（自分で運転） 63.9	電車 50.4
	大野地区	自動車（自分で運転） 62.9	徒歩 39.5	自動車（人に乗せてもら う）／電車 25.3
	大井沢地区	自動車（自分で運転） 66.8	徒歩 39.5	自動車（人に乗せてもら う） 29.5
	北守谷地区	徒歩 73.2	自動車（自分で運転） 66.4	電車 55.4
要支援区分	一般高齢者	徒歩 68.4	自動車（自分で運転） 65.9	電車 50.5
	要支援1	徒歩 54.0	自動車（人に乗せてもら う） 49.2	タクシー 34.9
	要支援2	自動車（人に乗せてもら う） 57.7	徒歩 33.8	タクシー 22.5

## (11) 自動車運転免許の有無

問 14 自動車運転免許は現在お持ちですか。(1つに○)



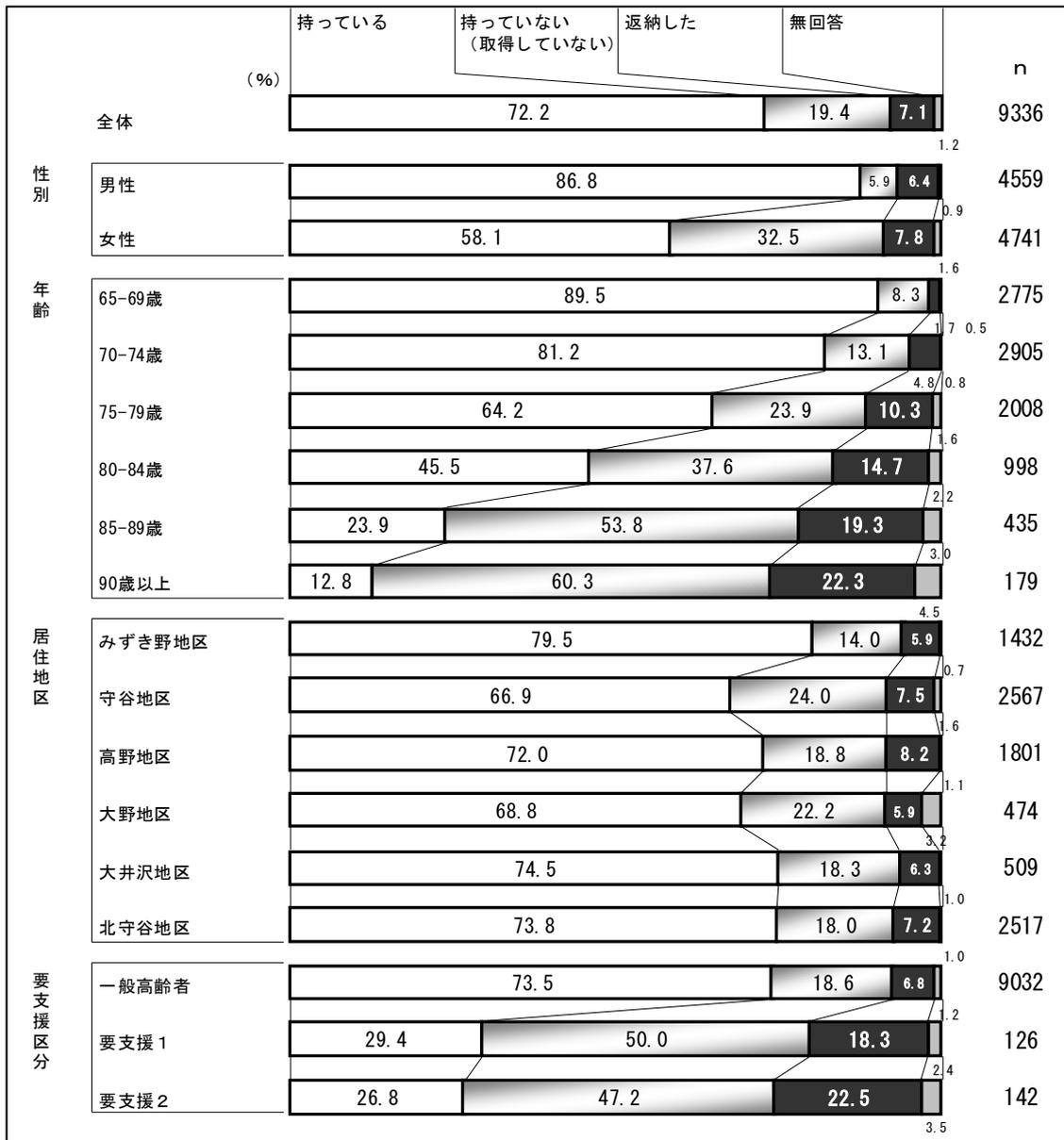
- 「持っている」が7割強、「持っていない(取得していない)」が2割弱を占める。「返納した」は1割に満たない。

自動車運転免許を所持しているかたずねたところ、「持っている」が72.2%、「持っていない(取得していない)」が19.4%、「返納した」が7.1%となっている。

性別で見ると、男性では「持っている」が9割弱を占めるのに対し、女性では6割弱となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「持っている」の割合が低くなり、「持っていない(取得していない)」と「返納した」の割合が高くなっている。

図表 自動車運転免許の有無



## (12) 自動車運転免許を返納した場合の移動手段

※問 14-1 は、問 14 で「1. 持っている」に○をつけた方のみお答えください。

問 14-1 今後返納した場合、外出する際の移動手段は何ですか。

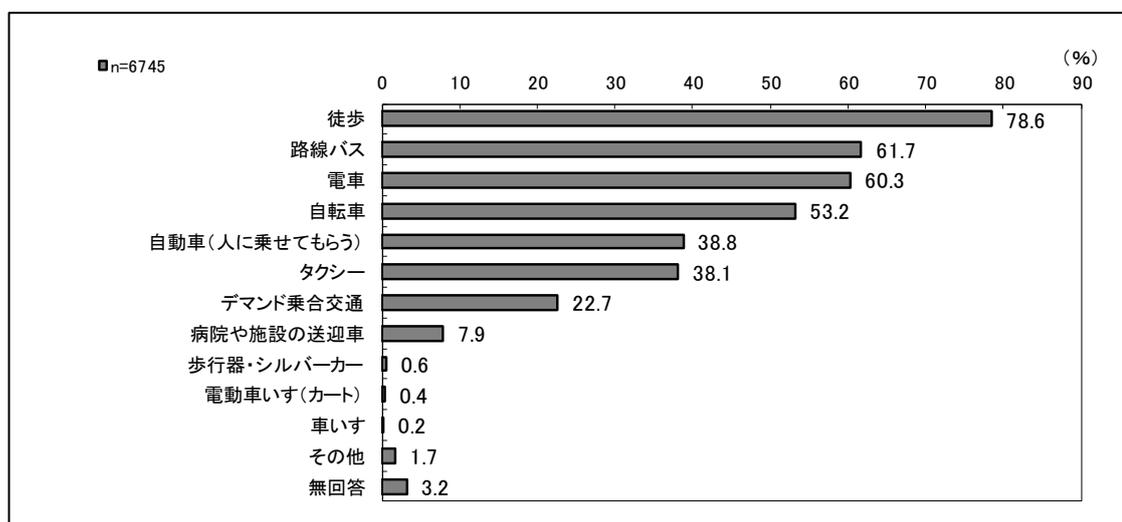
(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「徒歩」が第1位。「路線バス」、「電車」、「自転車」などが続く。

自動車運転免許を返納した場合の移動手段についてたずねたところ、「徒歩」(78.6%)が最も多く、次いで「路線バス」(61.7%)、「電車」(60.3%)、「自転車」(53.2%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(38.8%)、「タクシー」(38.1%)、「デマンド乗合交通」(22.7%)、「病院や施設の送迎車」(7.9%)などの順となっている。

居住地区でみると、みずき野地区では「路線バス」が第1位となっている。

図表 自動車運転免許を返納した場合の移動手段(全体/複数回答)



図表 自動車運転免許を返納した場合の移動手段（全体・属性別－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		徒歩 78.6	路線バス 61.7	電車 60.3
性別	男性	徒歩 78.9	路線バス 61.7	電車 61.3
	女性	徒歩 78.2	路線バス 61.8	電車 58.6
年齢	65-69歳	徒歩 80.8	路線バス 64.5	電車 64.1
	70-74歳	徒歩 79.4	路線バス 63.8	電車 61.1
	75-79歳	徒歩 76.9	路線バス 57.5	電車 55.6
	80-84歳	徒歩 71.6	路線バス 53.7	自転車／電車 52.4
	85-89歳	徒歩 66.3	電車 47.1	自転車 46.2
	90歳以上	徒歩 56.5	自動車（人に乗せてもら う） 47.8	路線バス 43.5
居住地区	みずき野地区	路線バス 84.7	徒歩 82.2	電車 74.2
	守谷地区	徒歩 80.5	電車 59.1	自転車 54.5
	高野地区	徒歩 80.2	電車 58.3	路線バス 53.2
	大野地区	徒歩 54.3	自転車 51.8	自動車（人に乗せてもら う） 44.5
	大井沢地区	徒歩 55.9	自転車 52.5	路線バス 45.9
	北守谷地区	徒歩 82.3	路線バス 79.1	電車 65.1
要支援区分	一般高齢者	徒歩 79.0	路線バス 62.0	電車 60.6
	要支援1	徒歩／自動車（人に乗せてもら う） 59.5		タクシー 54.1
	要支援2	自動車（人に乗せてもら う） 63.2	路線バス 39.5	タクシー 36.8

### 3 食べることについて

#### (1) 身長・体重

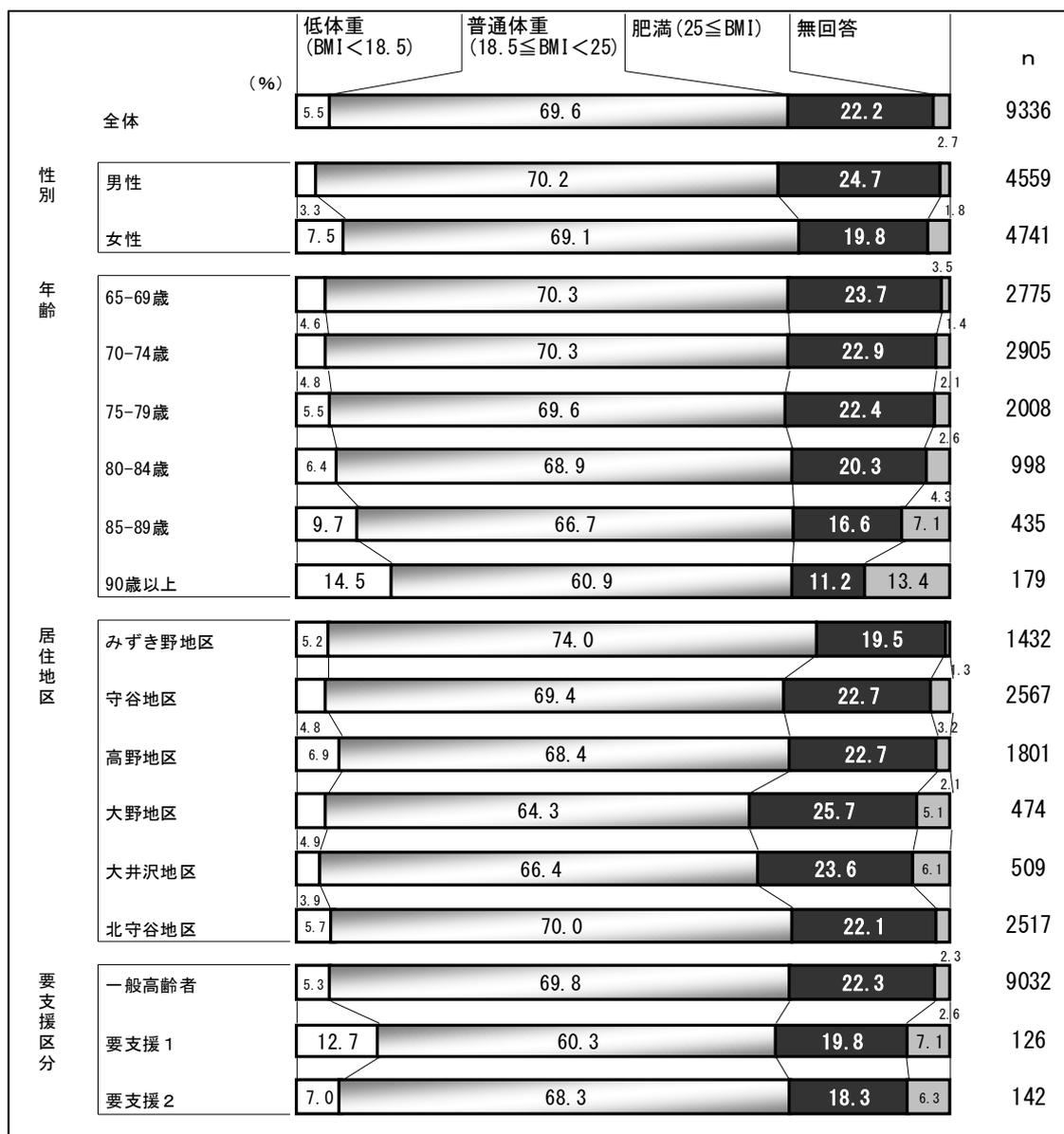
問 15 身長・体重を教えてください。(□内に数字を記入)

- 「普通体重(18.5 ≤ BMI < 25)」が7割弱、「肥満(25 ≤ BMI)」が2割強を占める。

身長・体重から算出される BMI についてみると、「普通体重(18.5 ≤ BMI < 25)」が 69.6%、「肥満(25 ≤ BMI)」が 22.2%、「低体重(BMI < 18.5)」が 5.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「低体重(BMI < 18.5)」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 BMI



## (2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

問 16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

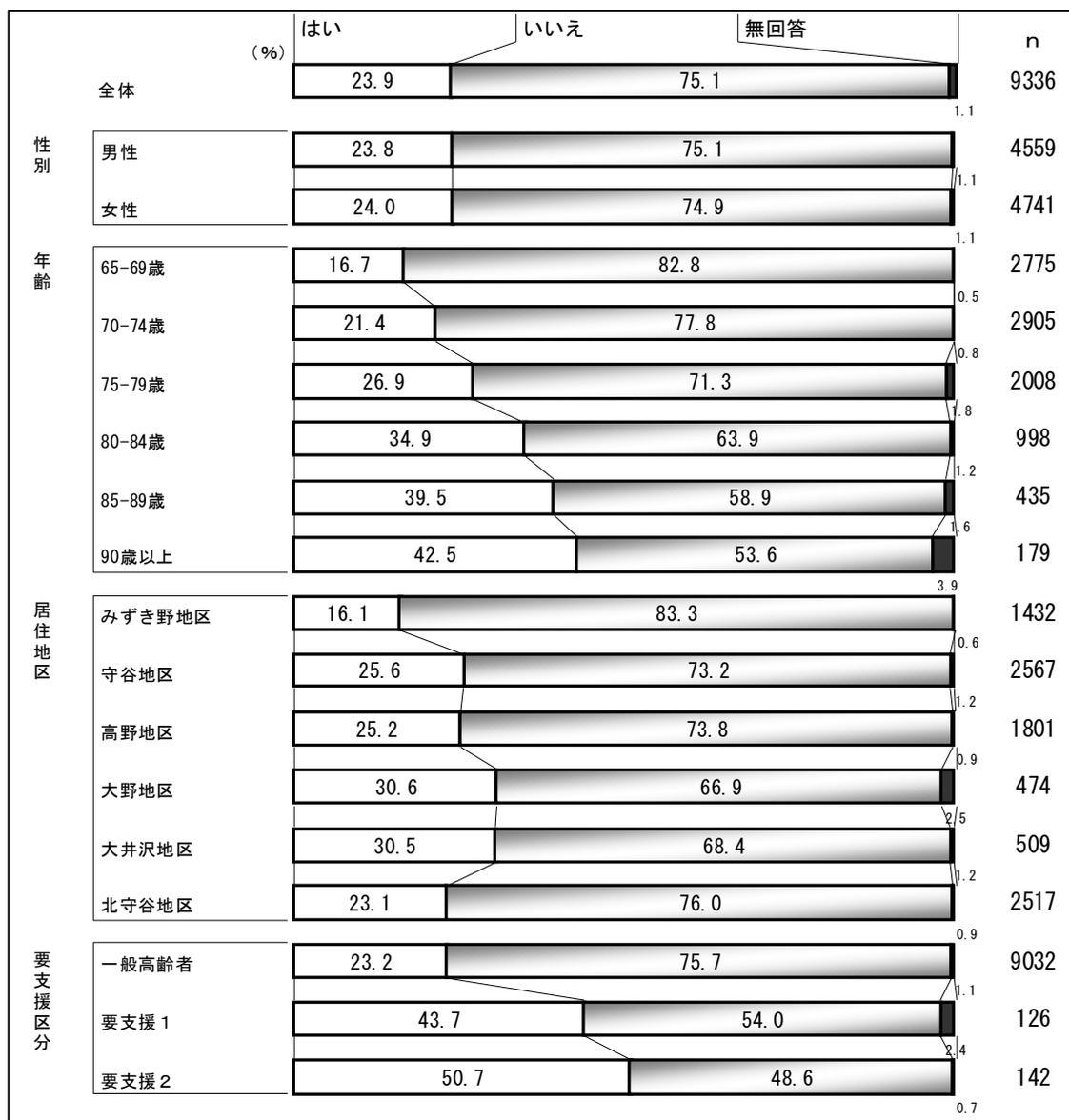
● 「いいえ」が8割弱、「はい」が2割強を占める。

半年前と比べて固いものが食べにくくなったかたずねたところ、「いいえ」が75.1%、「はい」が23.9%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、みずき野地区では「はい」が16.1%にとどまっている。

図表 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか



### (3) お茶や汁物等でむせることがあるか

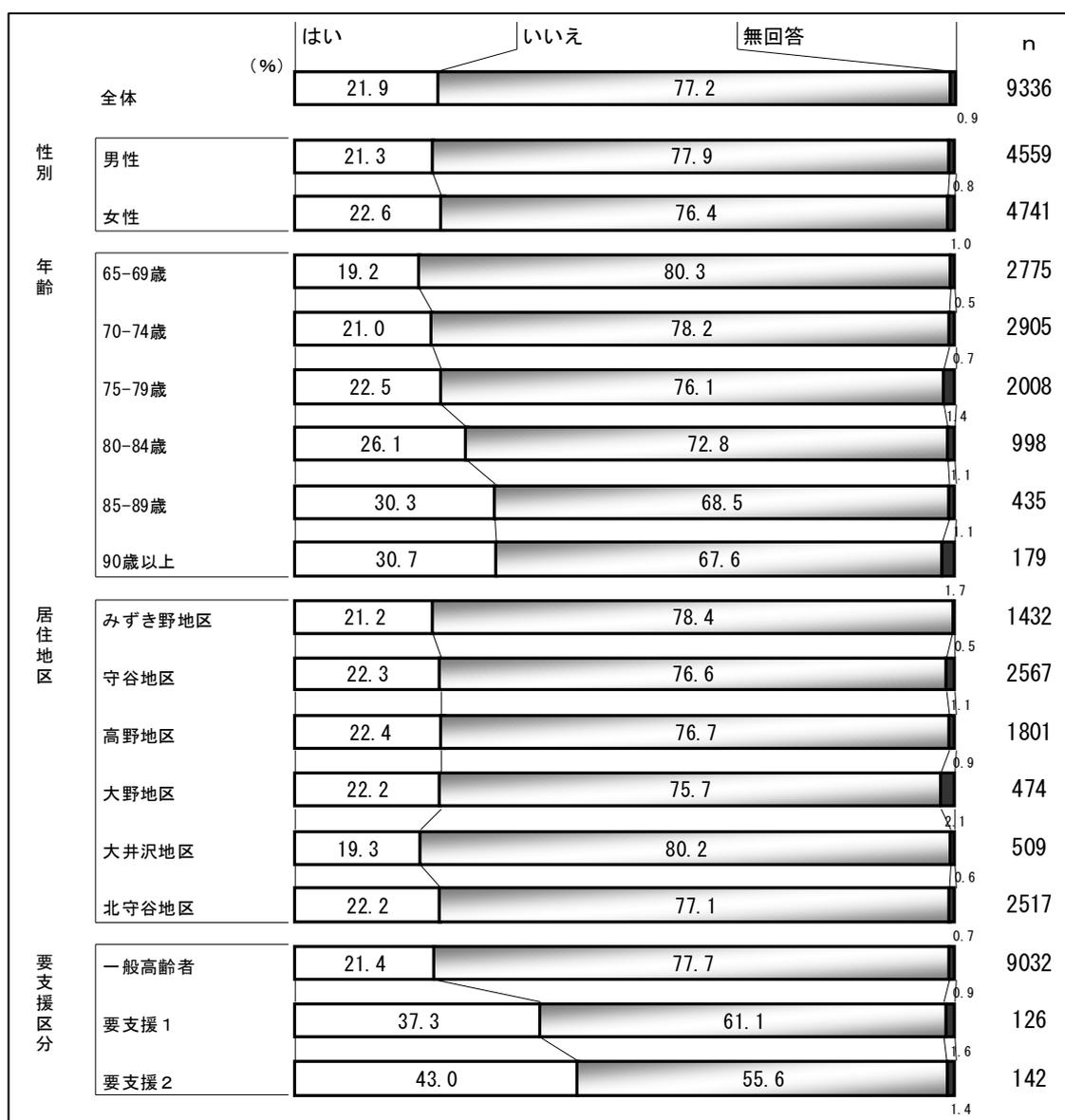
問 17 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

● 「いいえ」が8割弱、「はい」が2割強を占める。

お茶や汁物等でむせることがあるかたずねたところ、「いいえ」が77.2%、「はい」が21.9%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表 お茶や汁物等でむせることがあるか



#### (4) 口の渇きが気になるか

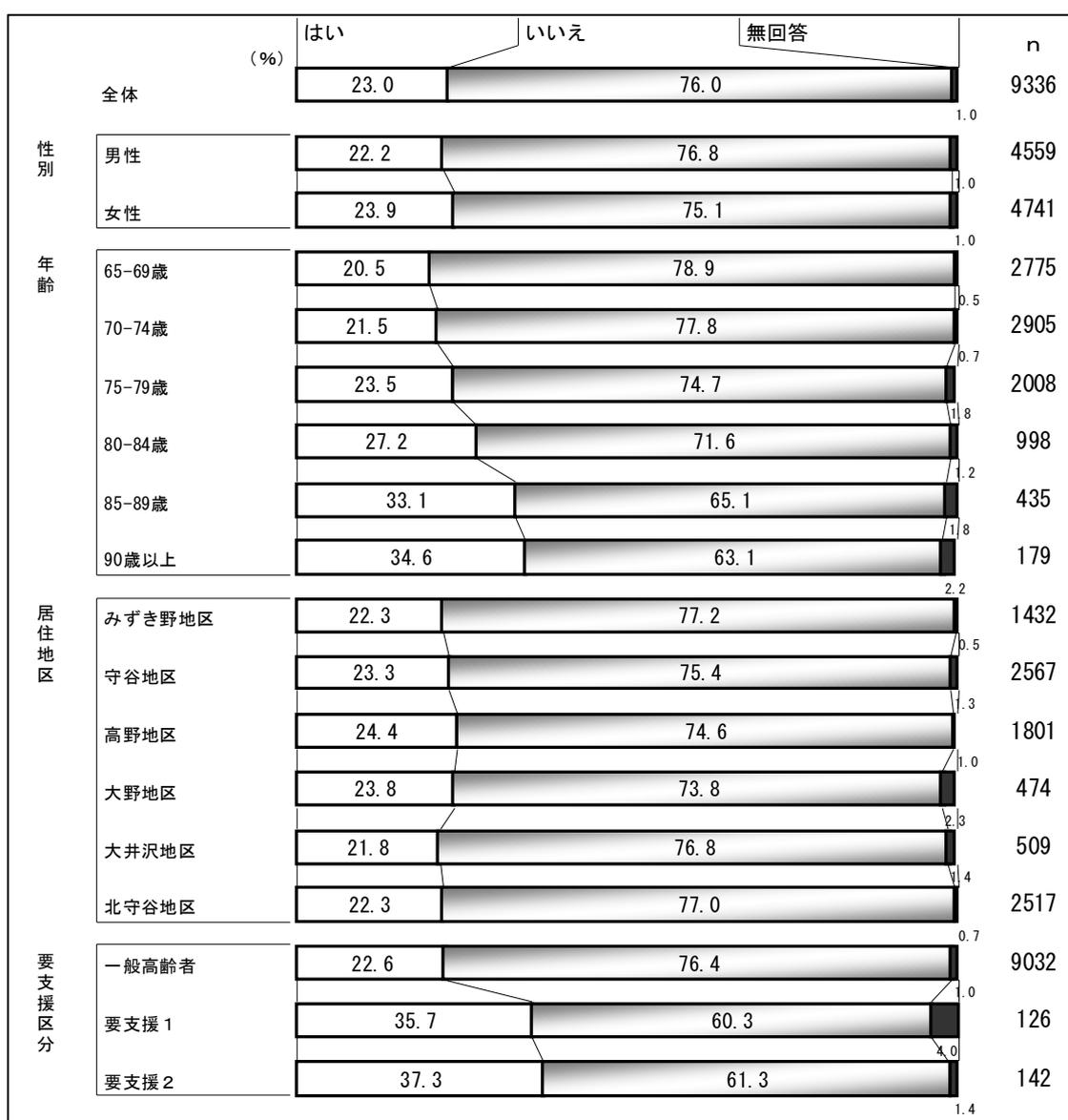
問 18 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

- 「いいえ」が8割弱、「はい」が2割強を占める。

口の渇きが気になるかたずねたところ、「いいえ」が76.0%、「はい」が23.0%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表 口の渇きが気になるか



(5) 歯磨きを毎日しているか

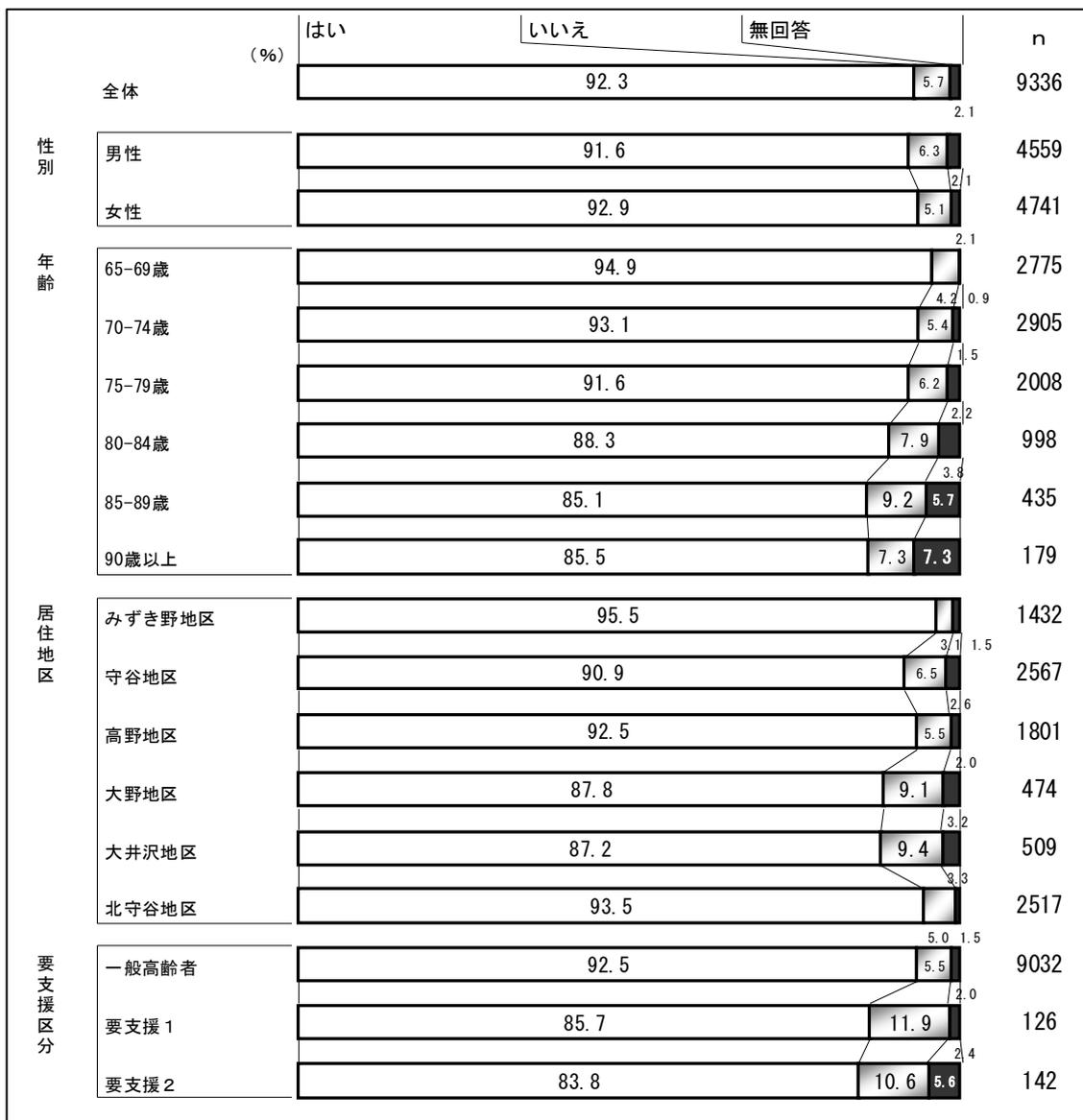
問 19 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つに○）

● 「はい」が9割強を占める。

歯磨きを毎日しているかたずねたところ、「はい」が92.3%、「いいえ」が5.7%となっている。

年齢で見ると、80歳以上では「はい」が8割台となっている。

図表 歯磨きを毎日しているか



## (6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 20 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（1つに○）



- “自分の歯は20本以上”が6割弱を占める。“入れ歯を利用”は5割弱となっている。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.7%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.6%となっている。“自分の歯は20本以上”は56.5%、“自分の歯は19本以下”は40.2%となっている。“入れ歯を利用”は48.4%、“入れ歯の利用なし”は48.3%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて“自分の歯は20本以上”の割合が低くなっている。

居住地区で見ると、みずき野地区では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が5割以上を占めている。

図表 歯の数と入れ歯の利用状況

		自分の歯は					無回答		n
		20本以上、 かつ入れ歯 を利用	20本以上、 入れ歯の利 用なし	19本以下、 かつ入れ歯 を利用	19本以下、 入れ歯の利 用なし				
	全体	16.8	39.7	31.6	8.6	3.3		9336	
性別	男性	17.8	39.8	31.3	8.4	2.7		4559	
	女性	15.7	39.5	32.0	8.9	3.8		4741	
年齢	65-69歳	16.0	52.8	20.3	9.3	1.6		2775	
	70-74歳	17.3	43.2	28.3	9.3	2.0		2905	
	75-79歳	18.2	32.6	37.9	7.1	4.1		2008	
	80-84歳	17.2	23.0	44.8	8.8	6.1		998	
	85-89歳	14.3	15.4	53.3	8.0	9.0		435	
	90歳以上	8.4	9.5	65.9	6.7	9.5		179	
居住地区	みずき野地区	17.9	50.1	23.6	6.5	1.9		1432	
	守谷地区	16.8	34.4	34.7	10.1	4.0		2567	
	高野地区	15.2	39.0	33.4	9.0	3.4		1801	
	大野地区	19.0	25.9	41.8	8.6	4.6		474	
	大井沢地区	16.3	31.4	37.3	10.0	4.9		509	
	北守谷地区	16.8	43.8	28.8	7.9	2.6		2517	
要支援区分	一般高齢者	16.9	40.2	31.1	8.6	3.2		9032	
	要支援1	16.7	27.0	43.7	10.3	2.4		126	
	要支援2	10.6	16.2	54.2	9.9	9.2		142	

## (7) 毎日入れ歯の手入れをしているか

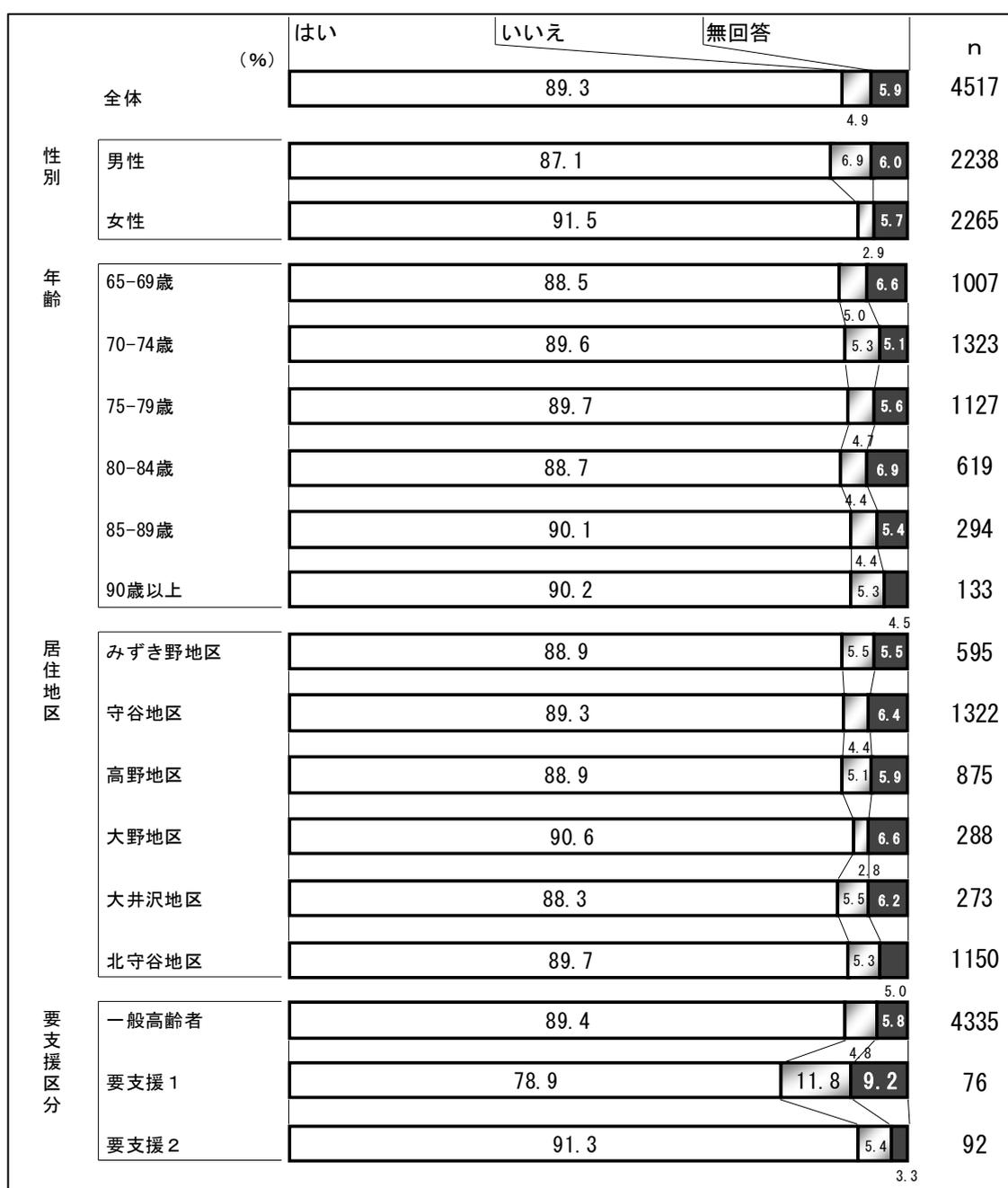
※問 20-1 は、問 20 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ方のみお答えください。  
問 20-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

- 「はい」が9割弱を占める。「いいえ」は1割に満たない。

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかたずねたところ、「はい」が89.3%、「いいえ」が4.9%となっている。

ほとんどの属性で「はい」が9割程度を占めている。

図表 毎日入れ歯の手入れをしているか



(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問 21 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)



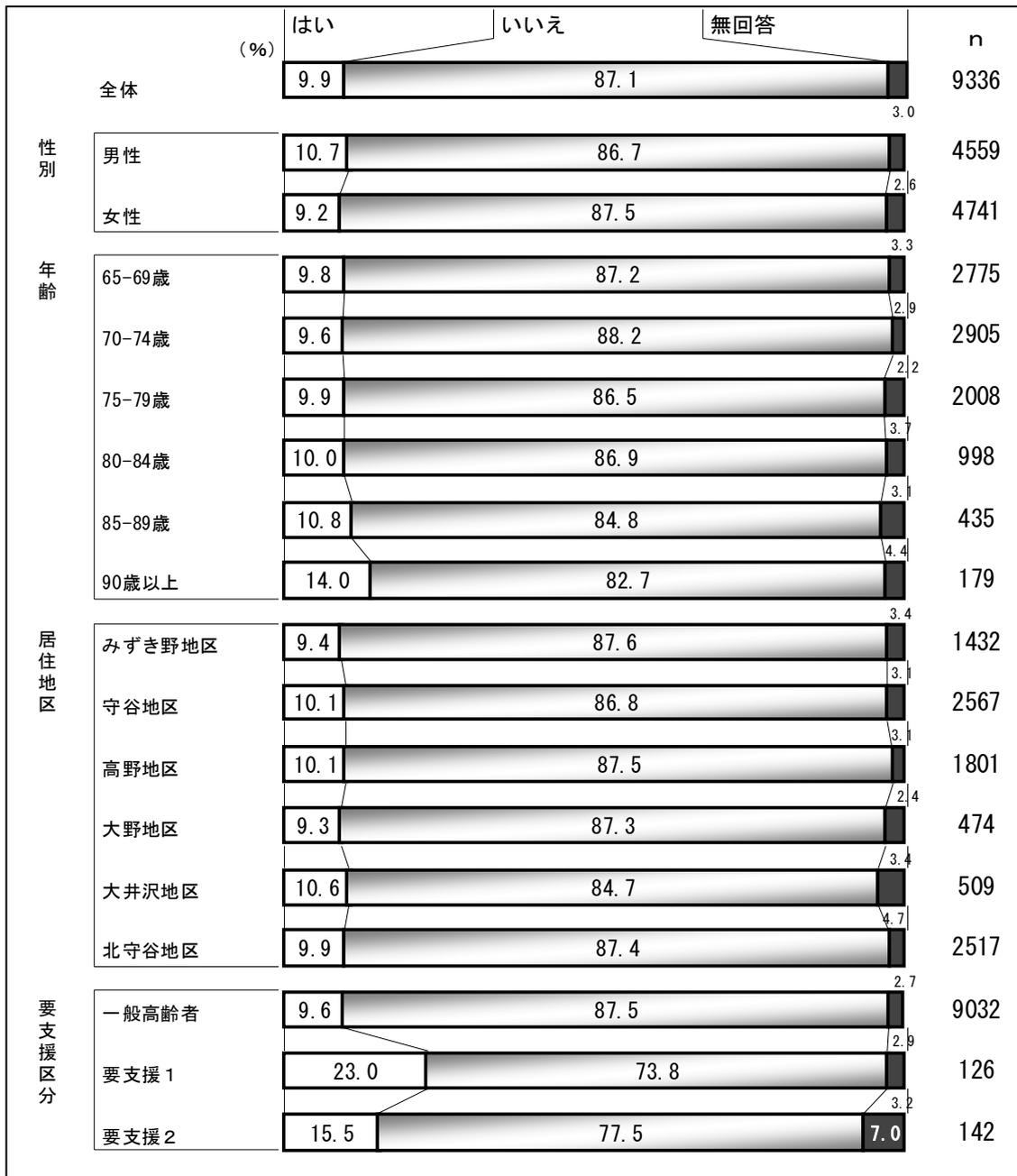
- 「いいえ」が9割弱を占める。「はい」は1割に満たない。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかたずねたところ、「いいえ」が87.1%、「はい」が9.9%となっている。

年齢で見ると、89歳以下では1割程度となっているのに対し、90歳以上では14.0%とやや高くなっている。

要支援区分で見ると、要支援1では「はい」が23.0%となっている。

図表 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



## (9) 誰かと食事をとにもする機会はあるか

問 22 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

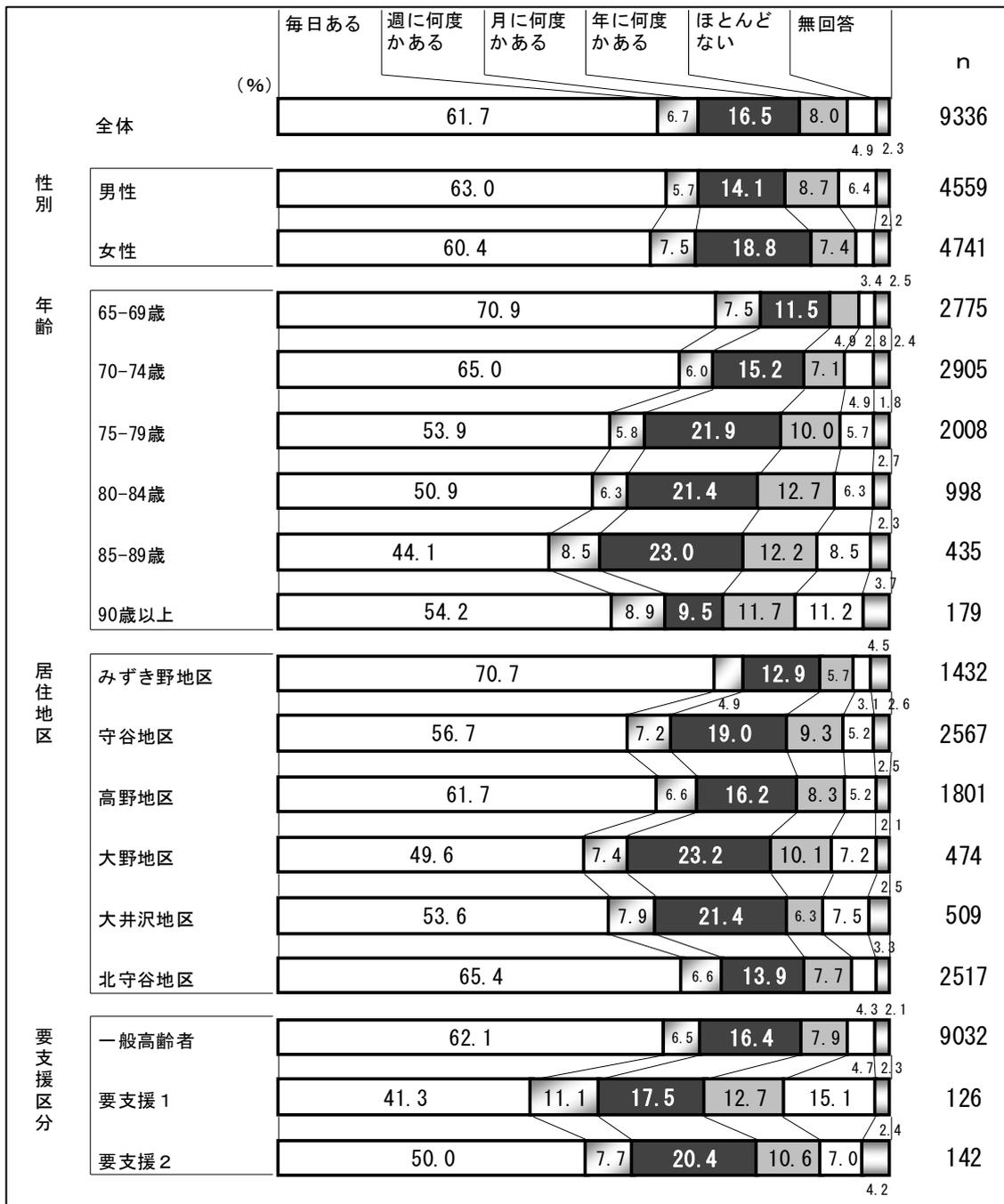
- 「毎日ある」が6割強を占める。

誰かと食事をとにもする機会はあるかたずねたところ、「毎日ある」が61.7%、「月に何度かある」が16.5%、「年に何度かある」が8.0%、「週に何度かある」が6.7%、「ほとんどない」が4.9%となっている。

年齢で見ると、85-89歳では「毎日ある」が4割強となっている。

居住地区で見ると、みずき野地区では「毎日ある」が7割強を占めている。

図表 誰かと食事をとにもする機会はあるか



## 4 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じるか

問 23 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)



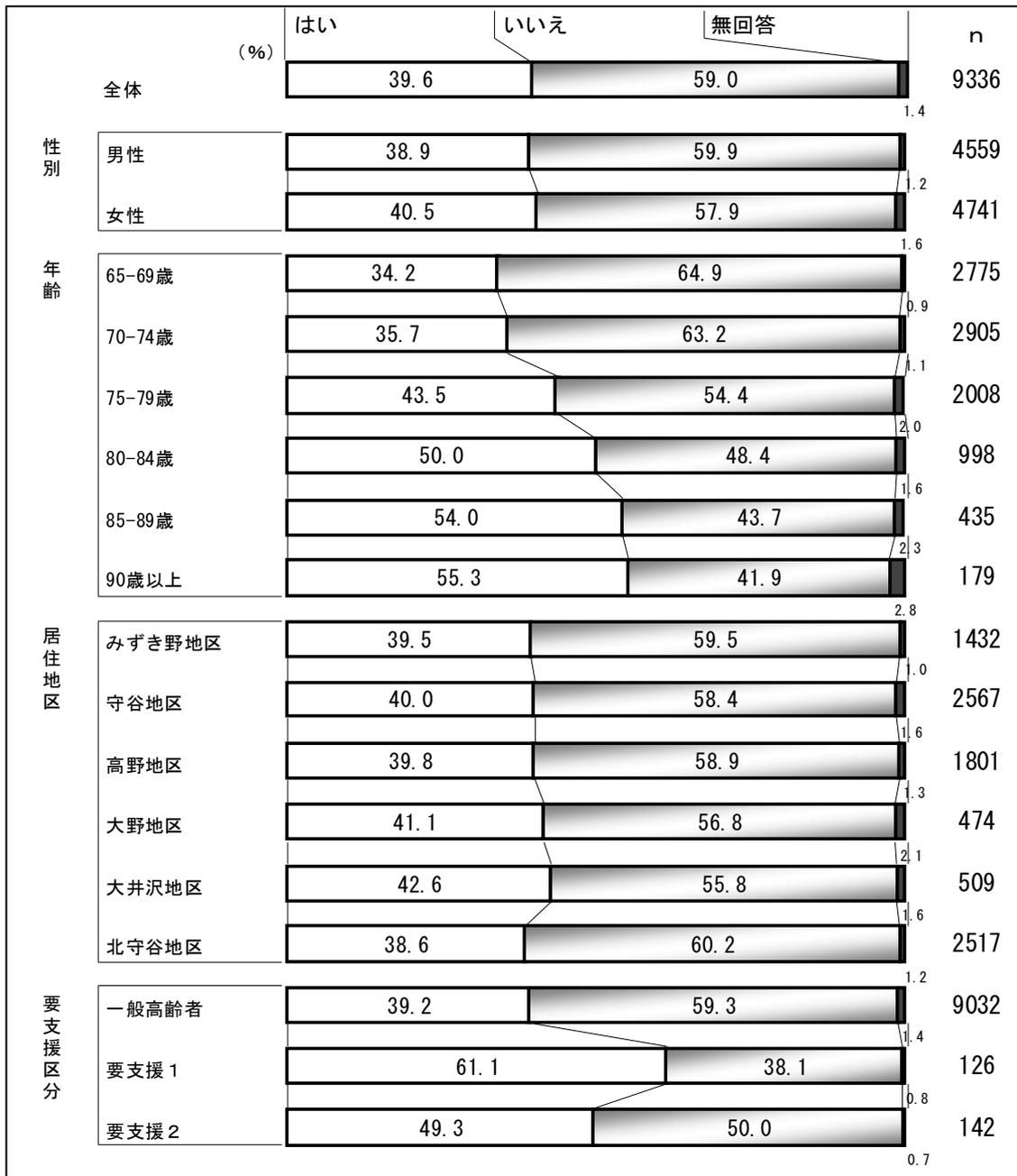
- 「いいえ」が6割弱、「はい」が4割弱を占める。

物忘れが多いと感じるかたずねたところ、「いいえ」が59.0%、「はい」が39.6%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

要支援区分で見ると、要支援1では「はい」が61.1%となっている。

図表 物忘れが多いと感じるか



## (2) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか

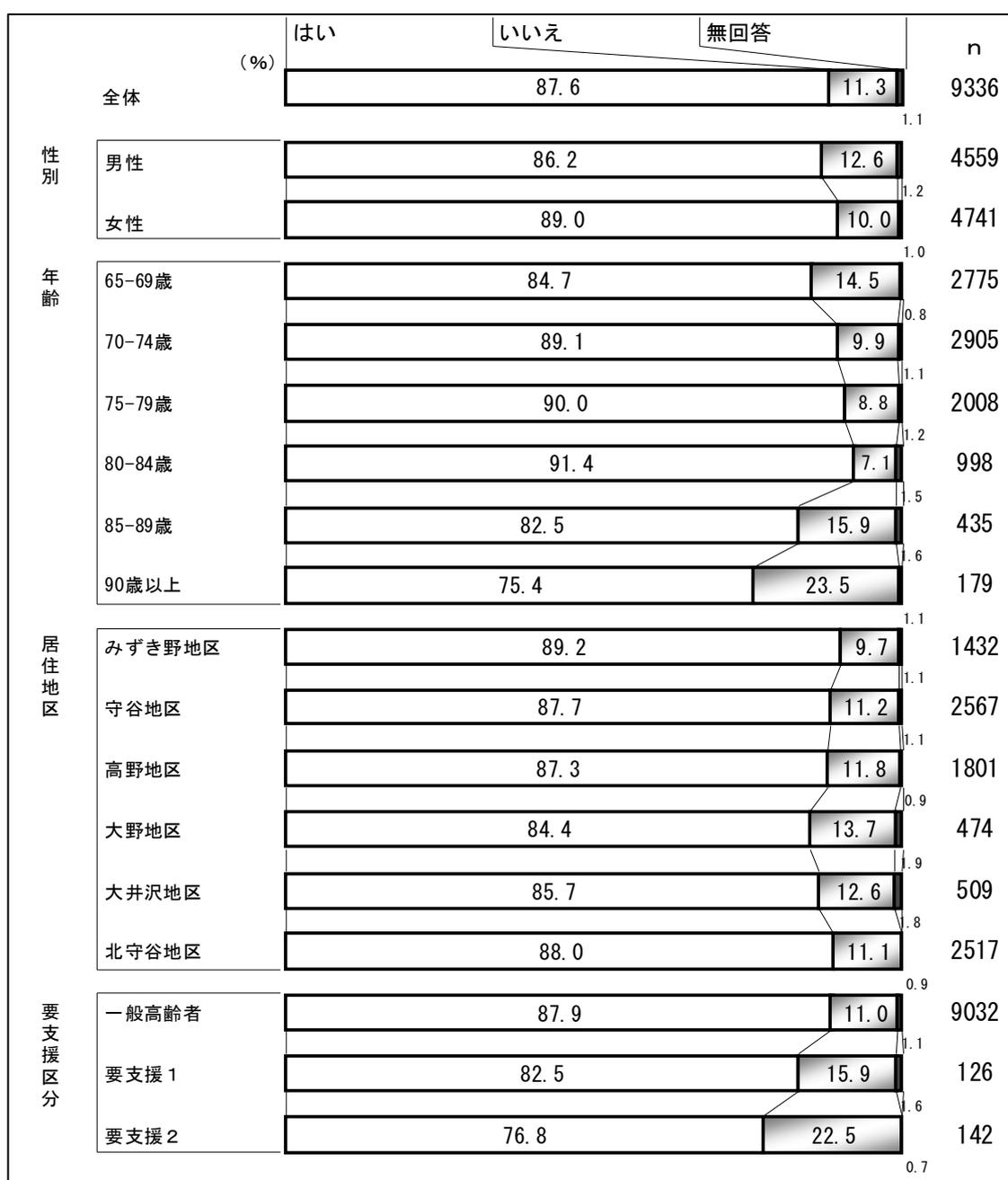
問 24 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

- 「はい」が9割弱、「いいえ」が1割強を占める。

自分で番号を調べて電話をかけるかたずねたところ、「はい」が87.6%、「いいえ」が11.3%となっている。

年齢で見ると、75-79歳、80-84歳では「はい」が9割以上を占めている。

図表 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



### (3) 今日が何月何日かわからないときがあるか

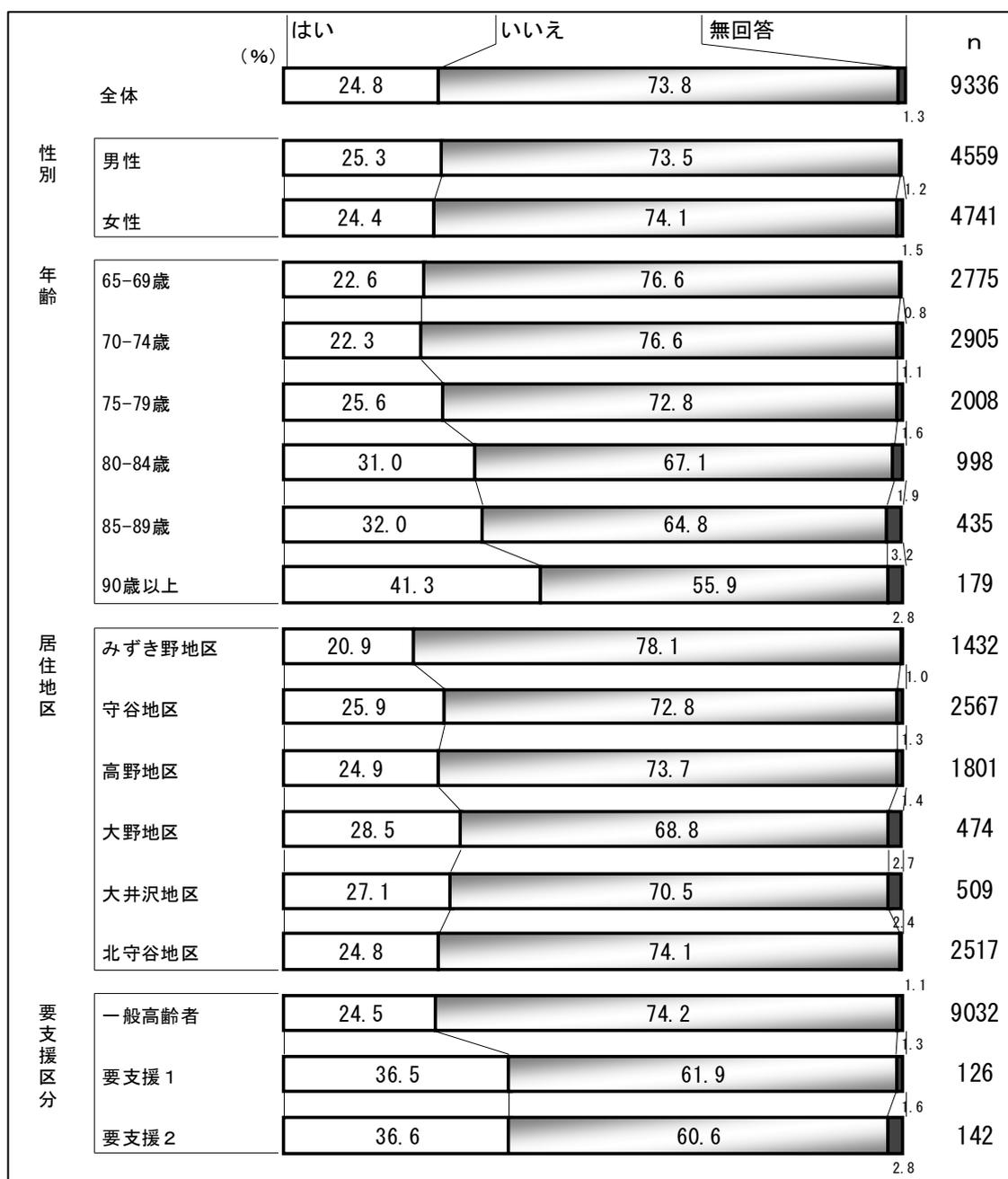
問 25 今日が何月何日かわからないときがありますか。(○は1つ)

● 「いいえ」が7割強、「はい」が2割強を占める。

今日が何月何日かわからないときがあるかたずねたところ、「いいえ」が73.8%、「はい」が24.8%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 今日が何月何日かわからないときがあるか



#### (4) バスや電車を使って1人で外出しているか

問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でもよい）。（○は1つ）



- 「できるし、している」が8割強を占める。

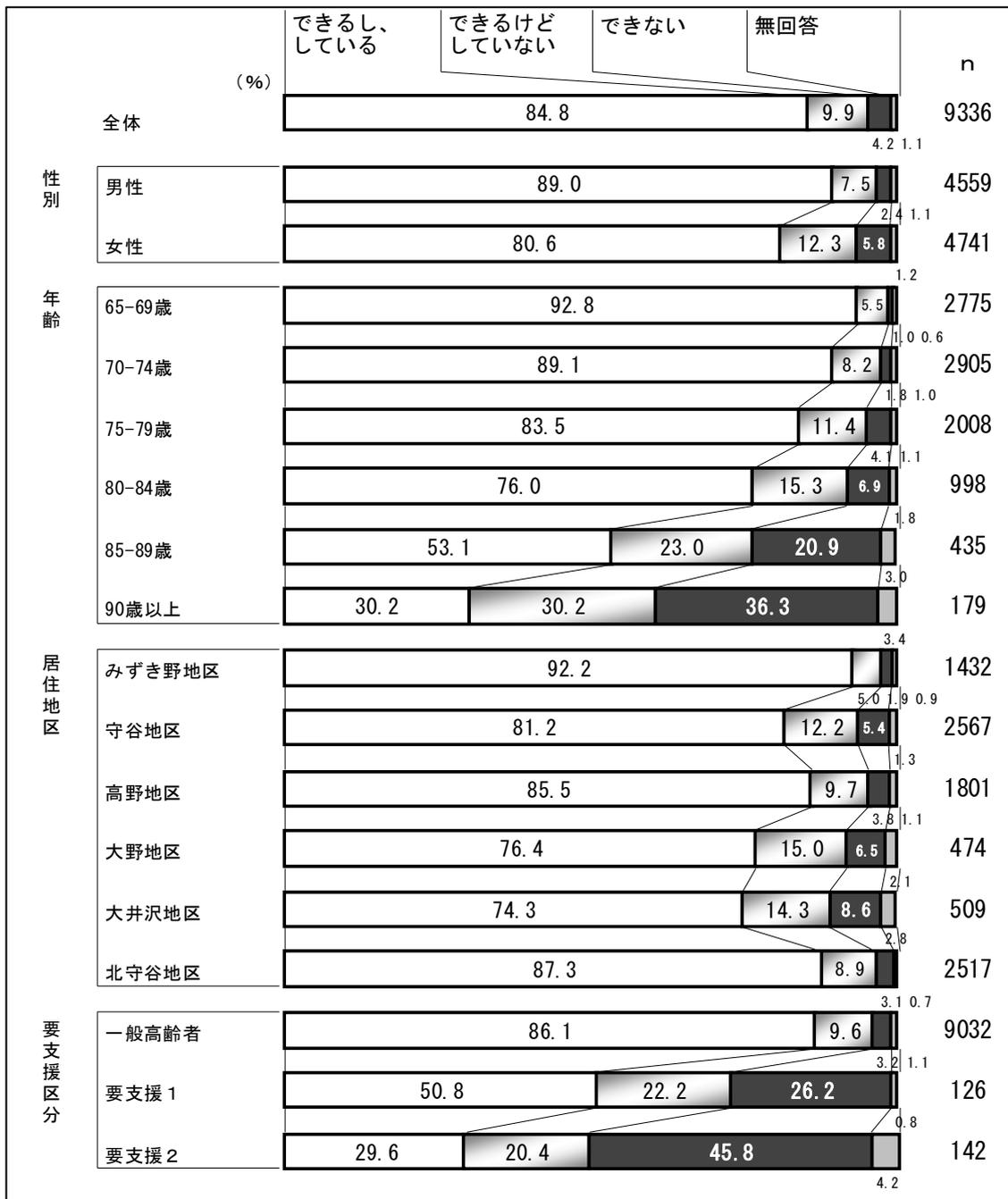
バスや電車を使って1人で外出しているかたずねたところ、「できるし、している」が84.8%、「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が4.2%となっている。

性別で見ると、男性よりも女性の「できるし、している」の割合が低くなっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっている。

居住地区で見ると、みずき野地区では「できるし、している」が9割強を占めているのに対し、大野地区、大井沢地区では7割台にとどまっている。

図表 バスや電車を使って1人で外出しているか



## (5) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

問 27 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)



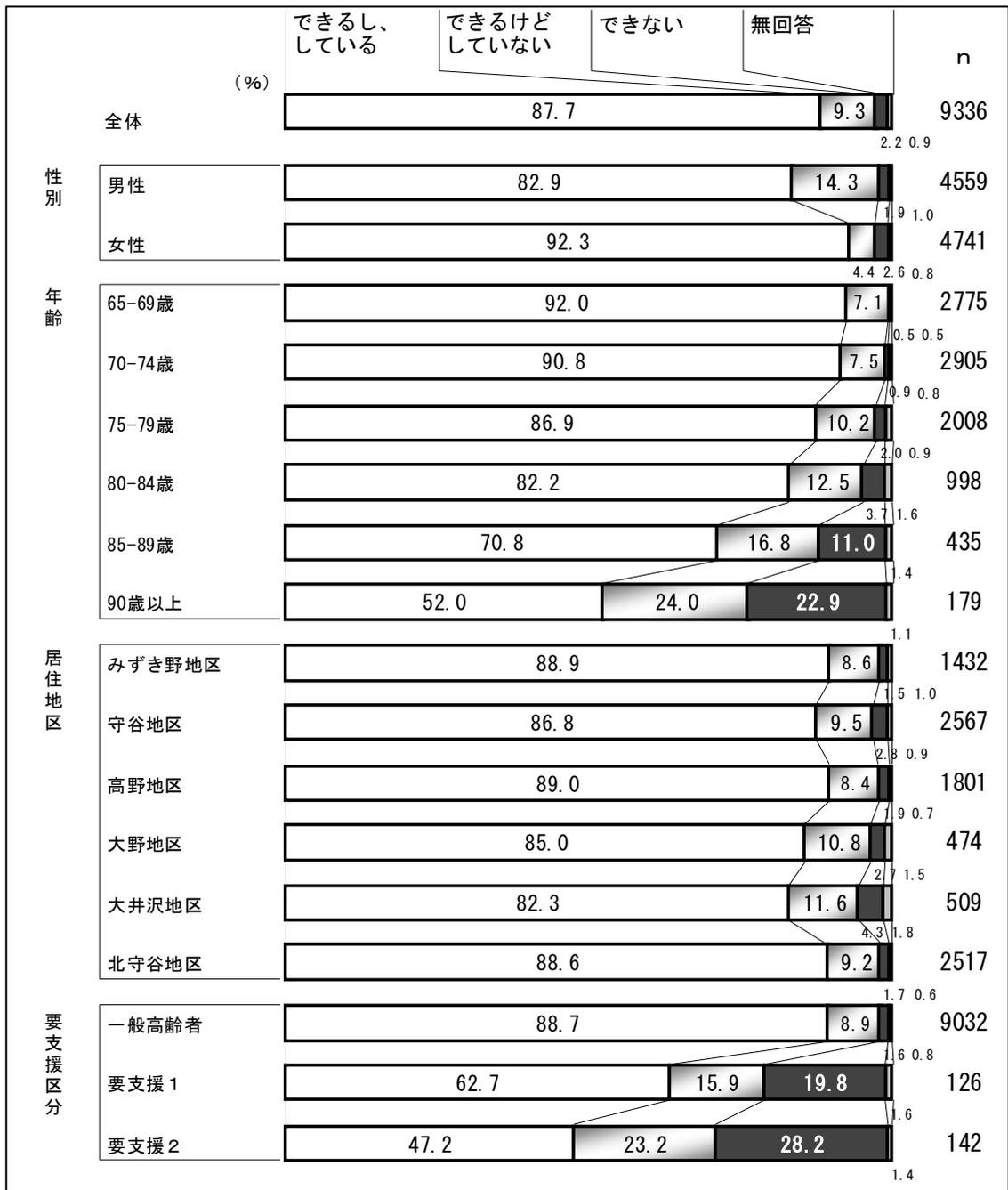
- 「できるし、している」が9割弱を占める。

自分で食品・日用品の買い物をしているかたずねたところ、「できるし、している」が87.7%、「できるけどしていない」が9.3%、「できない」が2.2%となっている。

性別で見ると、女性では「できるし、している」が9割強となっているのに対し、男性では8割強となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。90歳以上では「できるし、している」が52.0%となっている。

図表 自分で食品・日用品の買い物をしているか



## (6) 自分で食事の用意をしているか

問 28 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

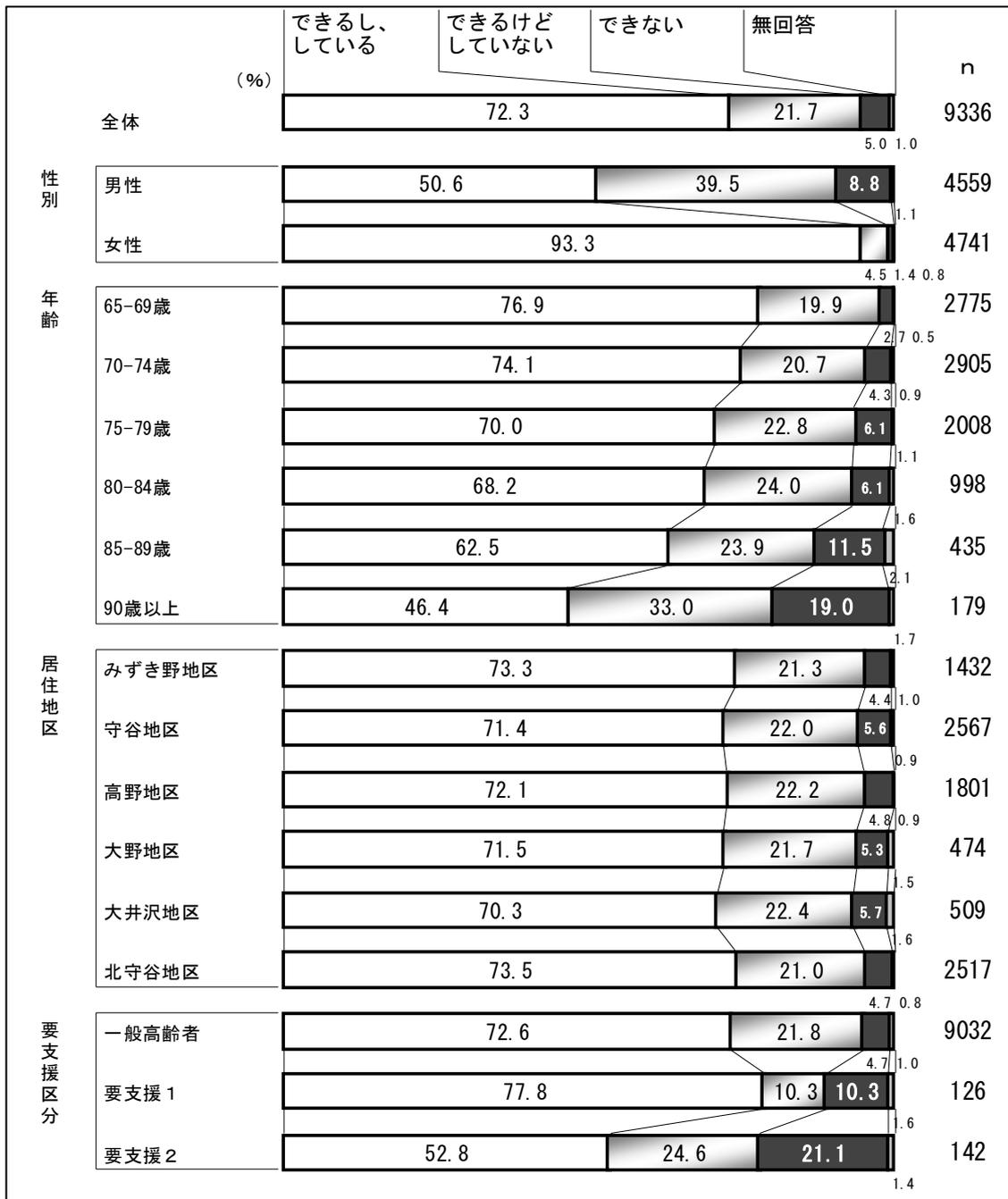
- 「できるし、している」が7割強、「できるけどしていない」が2割強を占める。

自分で食事の用意をしているかたずねたところ、「できるし、している」が72.3%、「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が5.0%となっている。

性別で見ると、女性では「できるし、している」が9割強となっているのに対し、男性では5割強にとどまっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。90歳以上では「できるし、している」が5割未満となっている。

図表 自分で食事の用意をしているか



## (7) 自分で請求書の支払いをしているか

問 29 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)



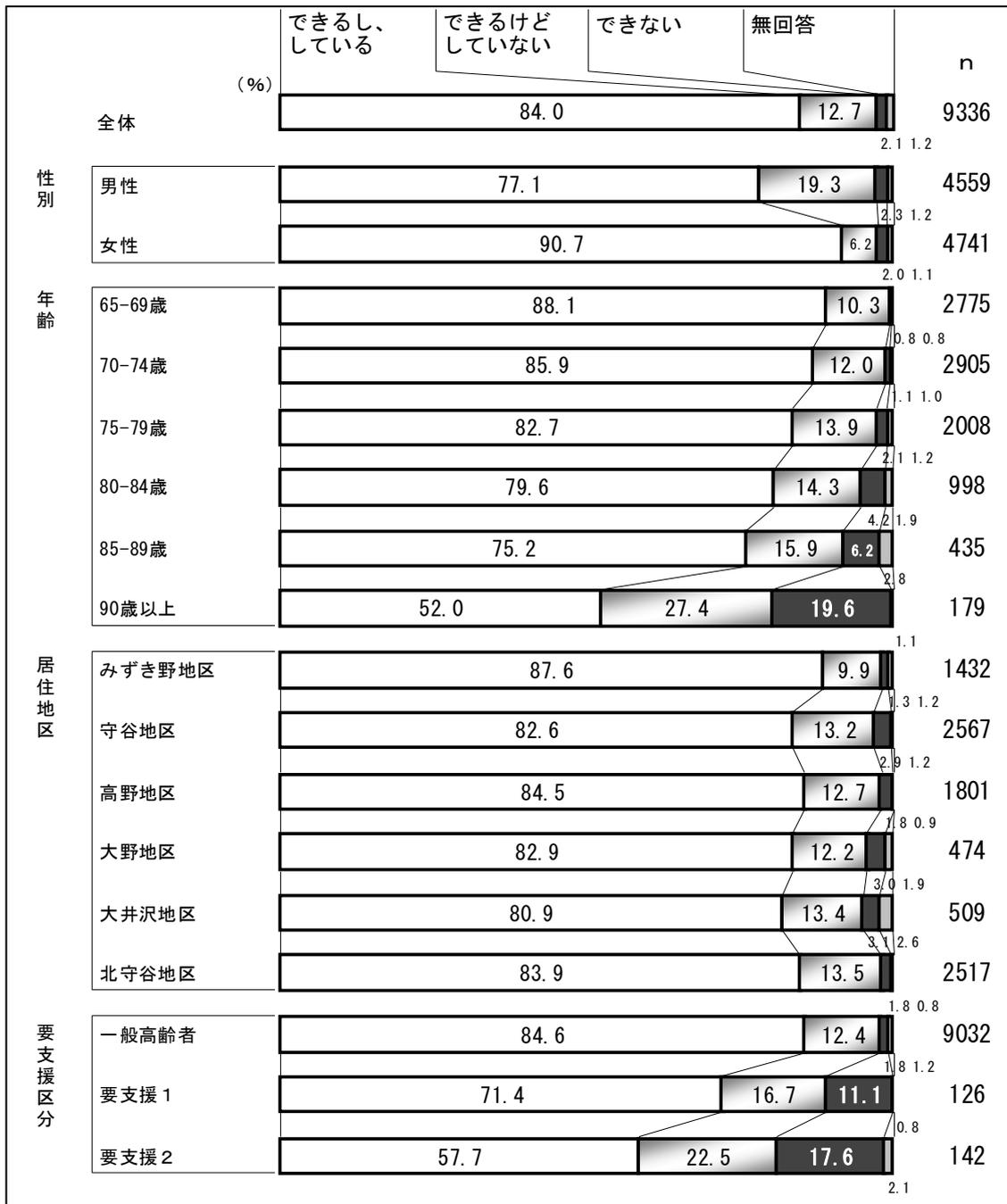
- 「できるし、している」が8割強、「できるけどしていない」が1割強を占める。

自分で請求書の支払いをしているかたずねたところ、「できるし、している」が84.0%、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が2.1%となっている。

性別で見ると、女性では「できるし、している」が9割強を占めるのに対し、男性では8割弱にとどまっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。

図表 自分で請求書の支払いをしているか



## (8) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



- 「できるし、している」が9割弱、「できるけどしていない」が1割強を占める。

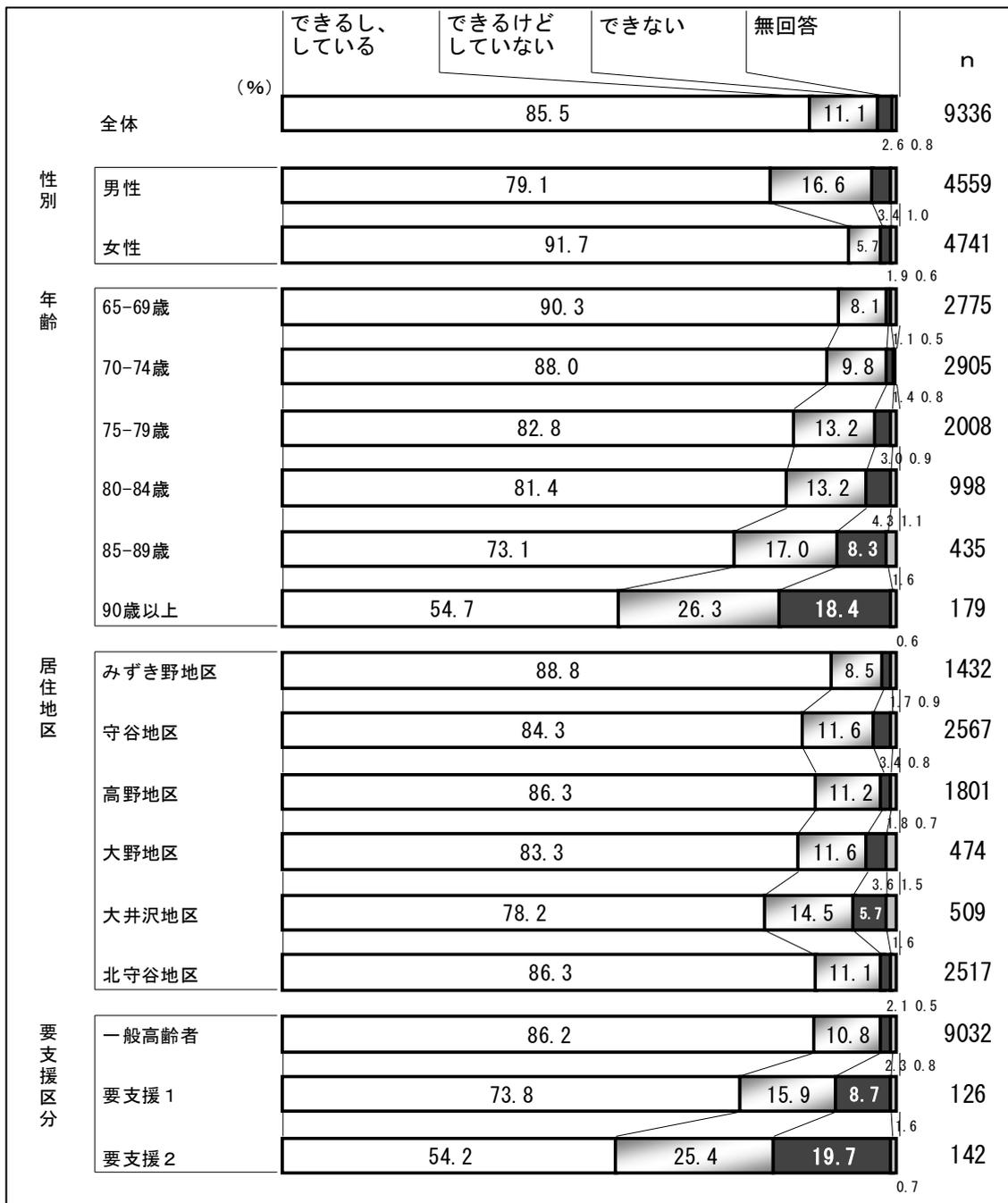
自分で預貯金の出し入れをしているかたずねたところ、「できるし、している」が85.5%、「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が2.6%となっている。

性別で見ると、女性では「できるし、している」が9割強を占めるのに対し、男性では8割弱となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、大井沢地区では「できるし、している」が8割未満となっている。

図表 自分で預貯金の出し入れをしているか



(9) 役所や病院などに出す書類が書けるか

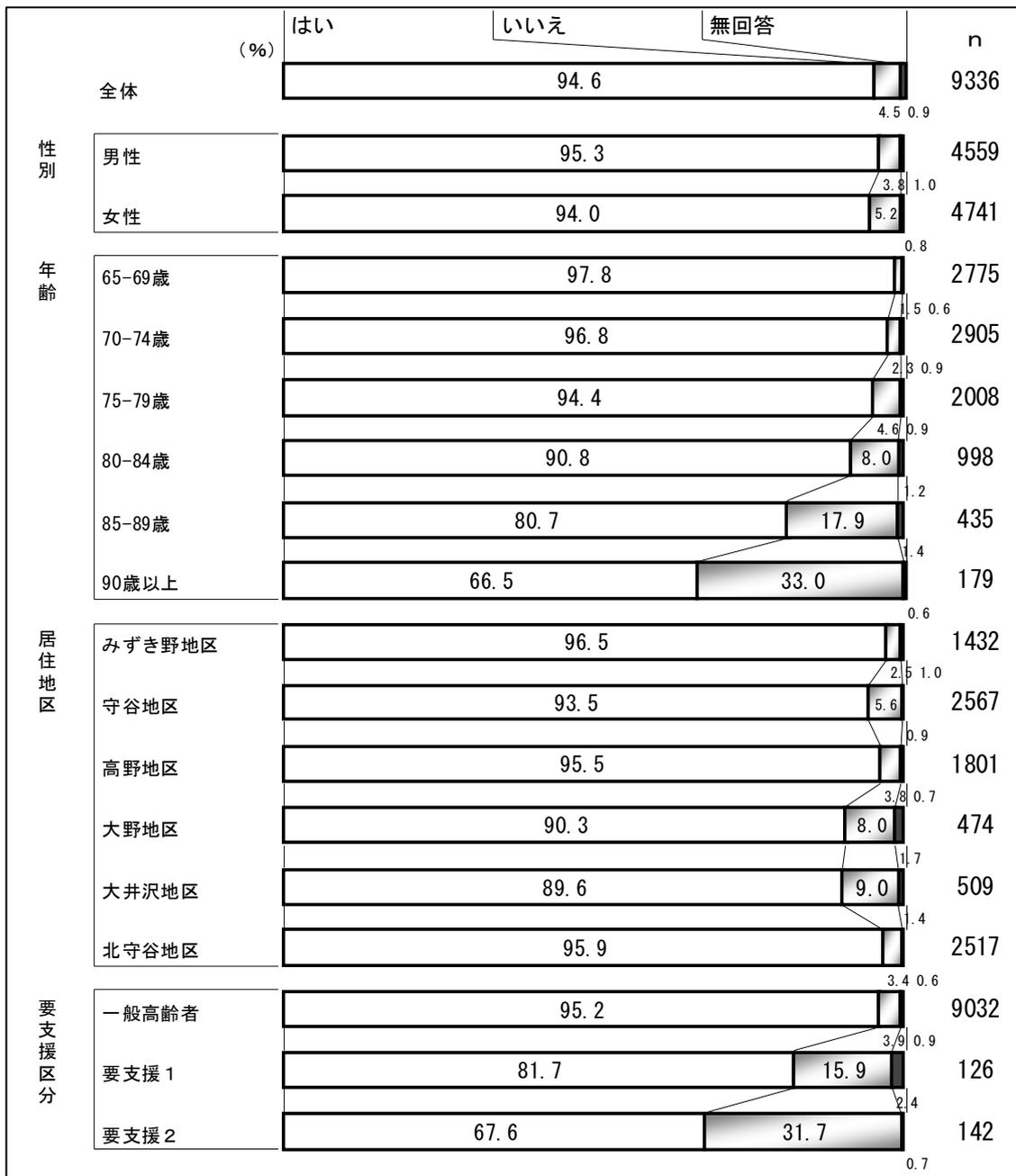
問 31 役所や病院などに出す書類が書けますか。(1つに○)

- 「はい」が9割強を占める。「いいえ」は1割に満たない。

役所や病院などに出す書類が書けるかたずねたところ、「はい」が94.6%、「いいえ」が4.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が低くなり、「いいえ」の割合が高くなっている。

図表 役所や病院などに出す書類が書けるか



## (10) 友人の家を訪ねているか

問 32 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)



- 「はい」が6割弱、「いいえ」が4割強を占める。

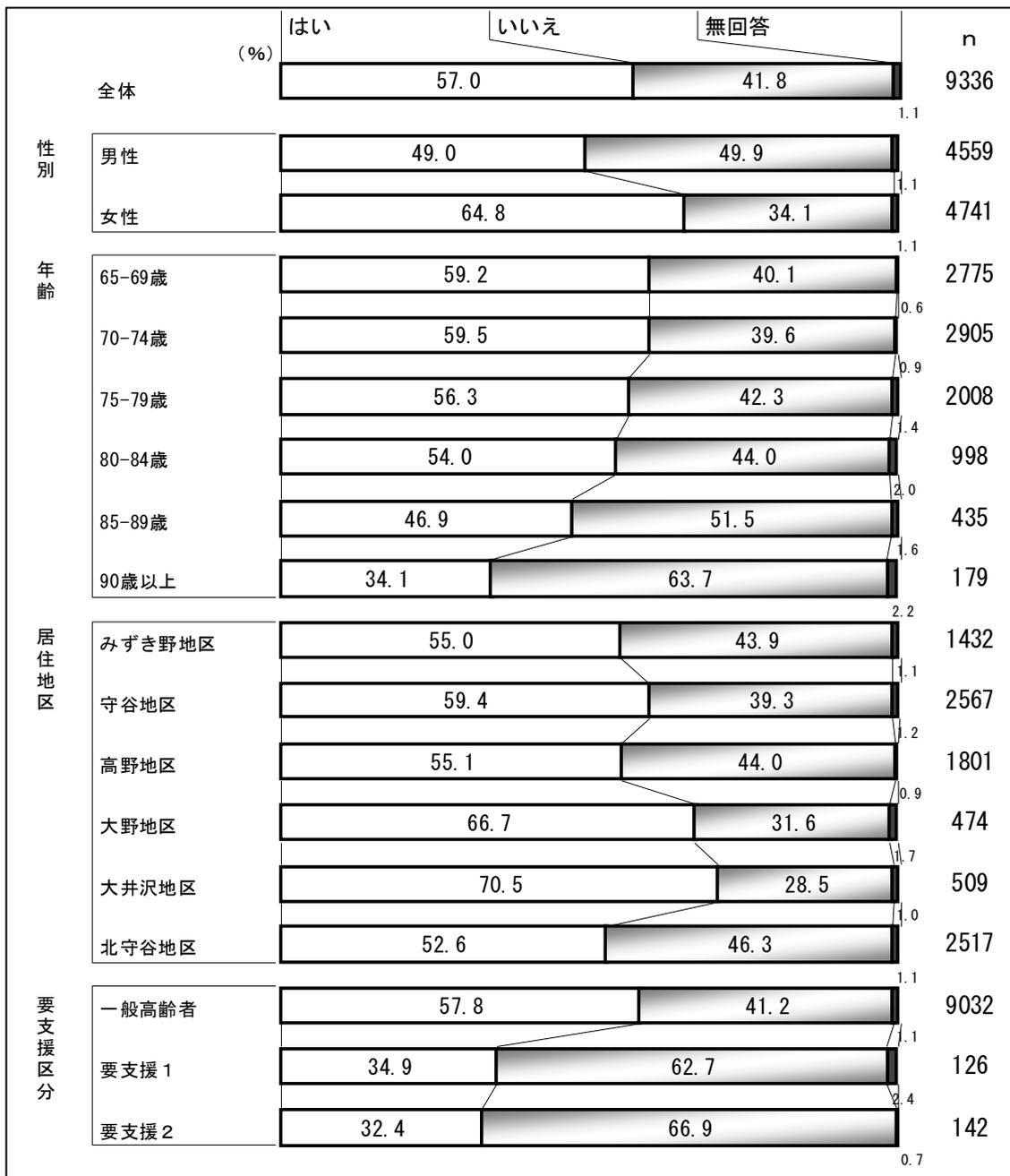
友人の家を訪ねているかたずねたところ、「はい」が57.0%、「いいえ」が41.8%となっている。

性別で見ると、女性では「はい」が64.8%となっているのに対し、男性では49.0%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が低くなる傾向がうかがえる。

居住地区で見ると、大野地区と大井沢地区では他の地区と比べて「はい」の割合が高くなっている。

図表 友人の家を訪ねているか



## (11) 家族や友人の相談にのっているか

問 33 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)



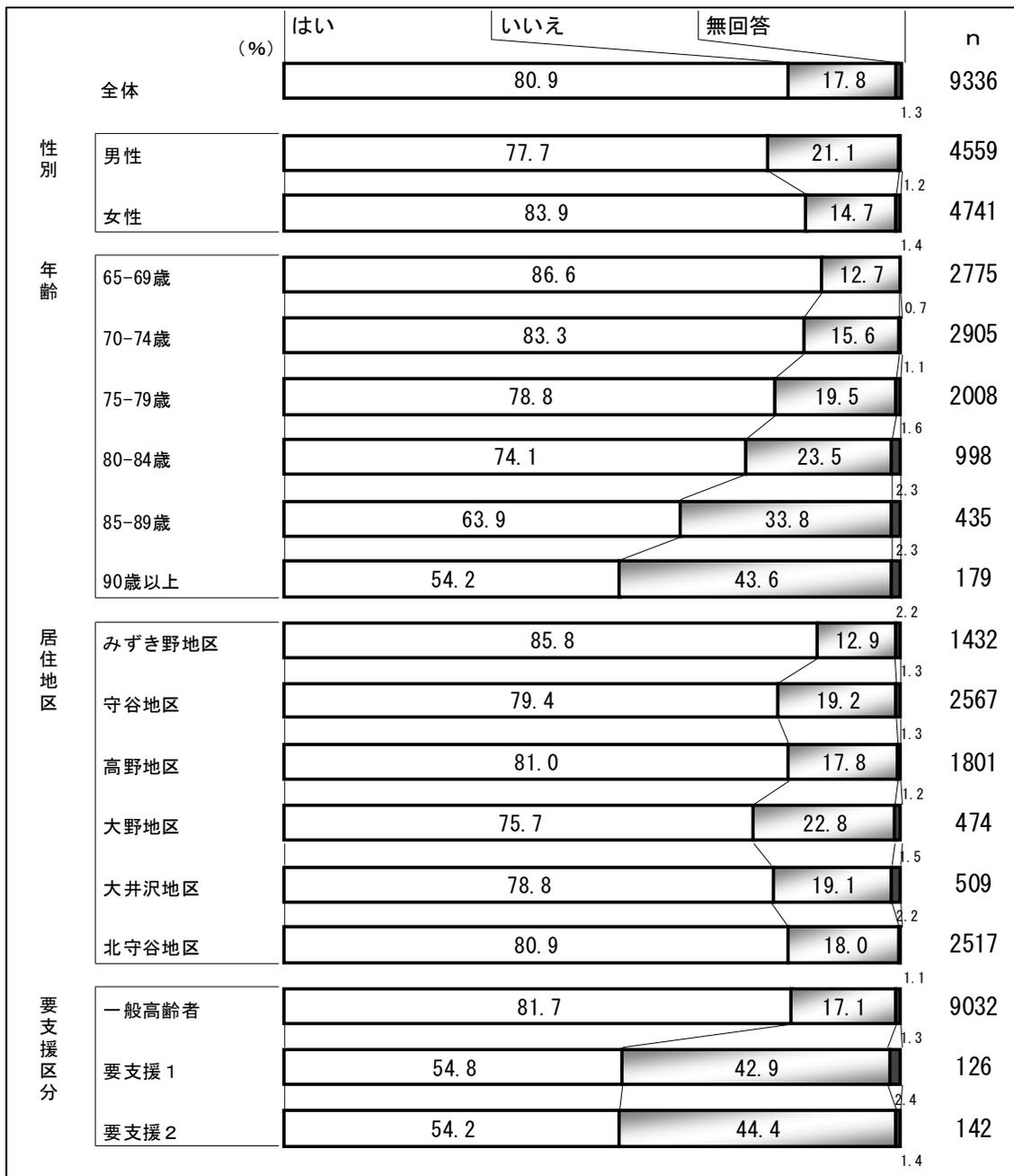
- 「はい」が8割強、「いいえ」が2割弱を占める。

家族や友人の相談にのっているかたずねたところ、「はい」が80.9%、「いいえ」が17.8%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が低くなり、「いいえ」の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、みずき野地区では「はい」が85.8%と、他の地区に比べて高くなっている。

図表 家族や友人の相談にのっているか



## (12) 若い人に自分から話しかけることがあるか

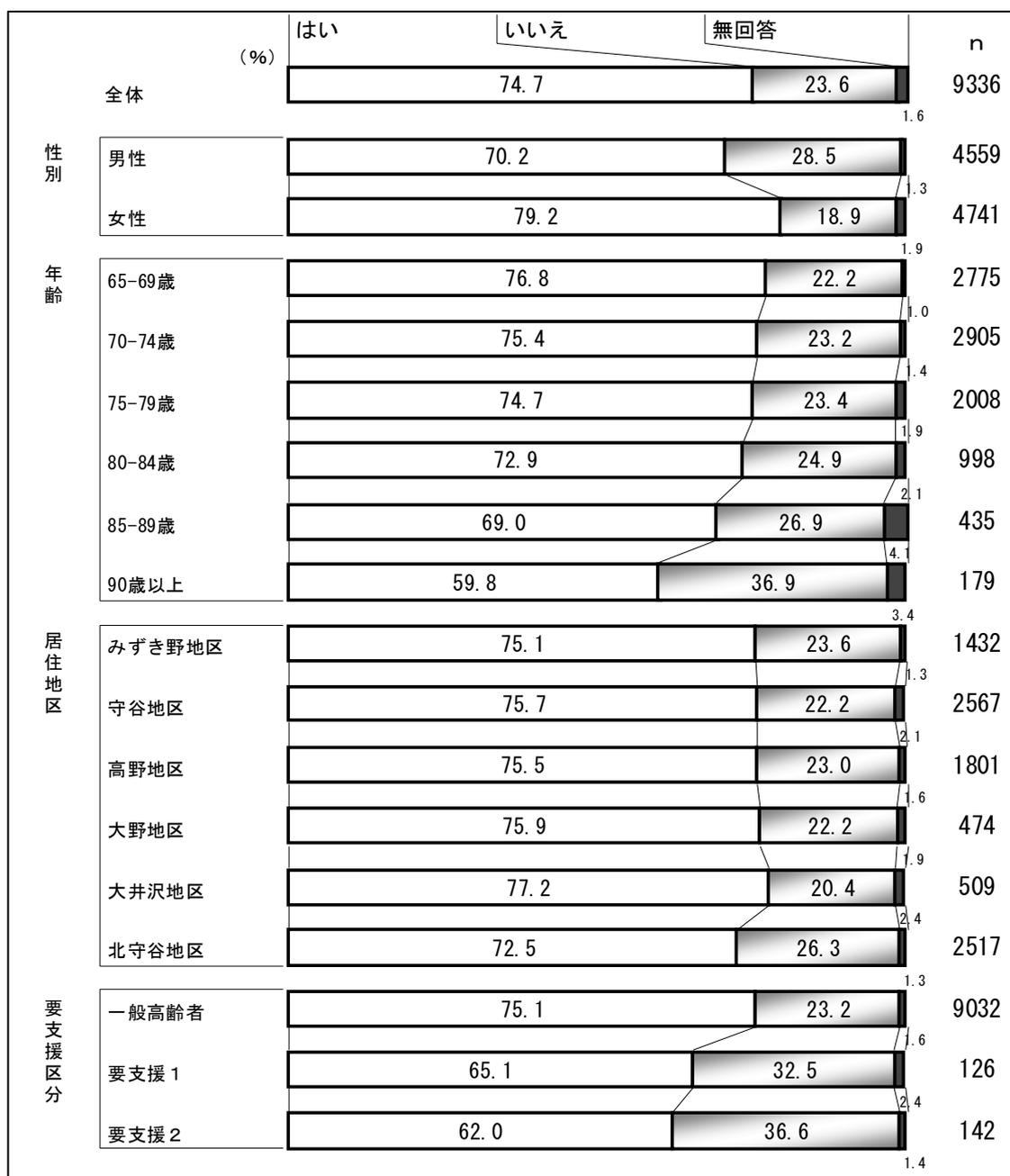
問 34 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

- 「はい」が7割強、「いいえ」が2割強を占める。

若い人に自分から話しかけることがあるかたずねたところ、「はい」が74.7%、「いいえ」が23.6%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が低くなり、「いいえ」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 若い人に自分から話しかけることがあるか



### (13) 趣味はあるか

問 35 趣味はありますか。(○は1つ)



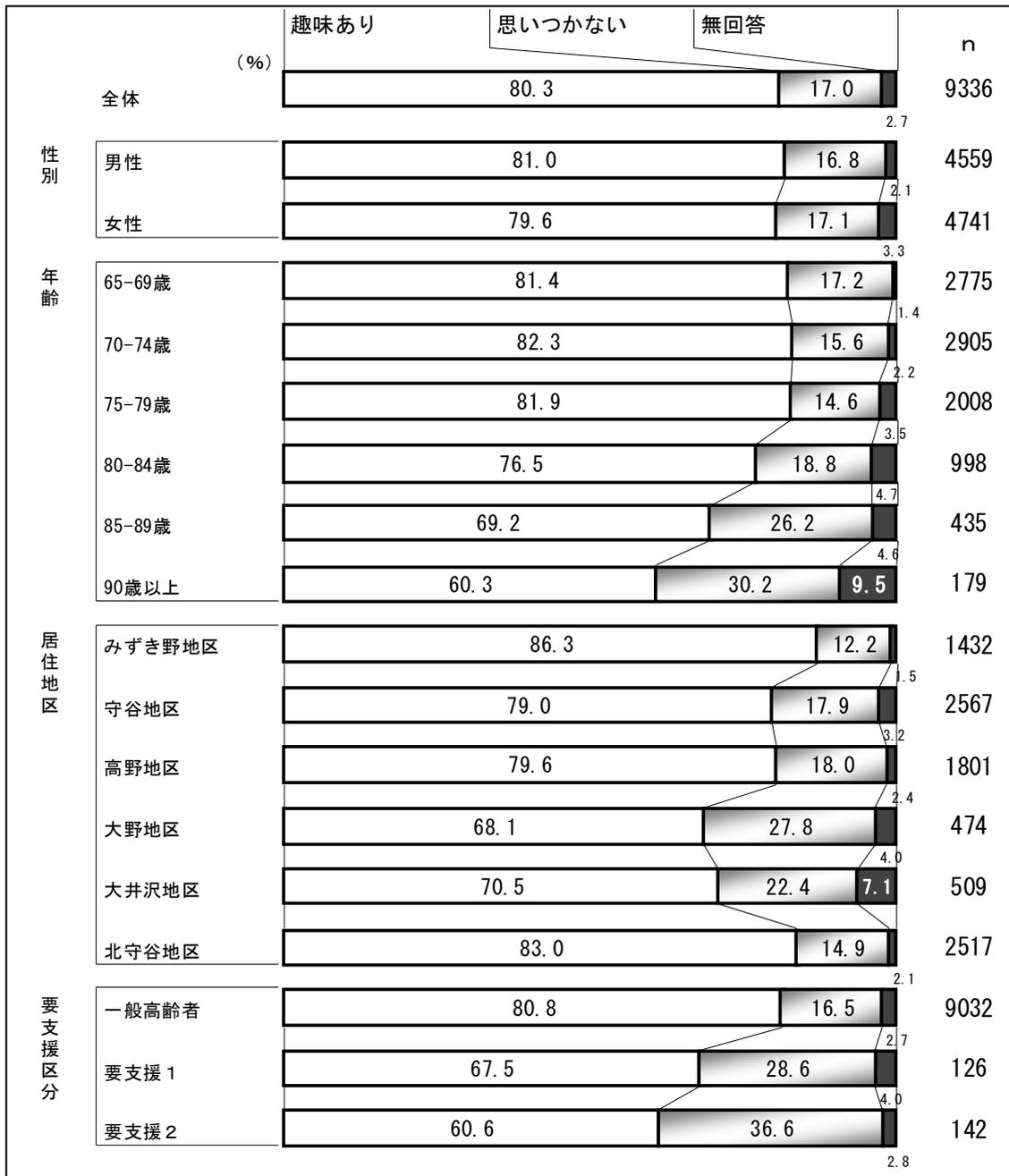
- 「趣味あり」が8割強、「思いつかない」が2割弱を占める。

趣味はあるかたずねたところ、「趣味あり」が80.3%、「思いつかない」が17.0%となっている。

年齢で見ると、79歳以下ではいずれも「趣味あり」が8割以上を占めるのに対し、80歳以上では徐々に割合が低下し、90歳以上では60.3%となっている。

居住地区で見ると、大野地区では「趣味あり」が7割未満となっている。

図表 趣味はあるか



## ①どのような趣味か

「趣味あり」と回答した方に、どのような趣味かたずねたところ、以下のような回答があった。

図表 趣味はあるか（一般高齢者）

スポーツ	○ゴルフ ○グランドゴルフ ○ウォーキング ○ランニング ○体操 ○パタカ ○ジム ○ゲートボール ○社交ダンス ○フラダンス ○太極拳 ○卓球 ○バドミントン ○テニス ○スキー
アウトドア	○旅行 ○ドライブ ○釣り ○登山 ○サイクリング ○家庭菜園 ○ガーデニング
文化	○料理 ○手芸 ○カラオケ ○合唱 ○楽器演奏 ○手芸 ○裁縫 ○囲碁 ○将棋 ○麻雀 ○パズル ○写真 ○語学学習 ○読書 ○ペットの世話 ○盆栽
鑑賞	○映画鑑賞 ○音楽鑑賞 ○舞台鑑賞 ○テレビドラマ鑑賞

図表 趣味はあるか（要支援認定者）

スポーツ	○パタカ ○ゲートボール
アウトドア	○釣り ○旅行 ○家庭菜園
文化	○盆栽 ○折り紙 ○編み物 ○ハーモニカ ○書道 ○短歌 ○絵画 ○カラオケ
鑑賞	○テレビ鑑賞 ○音楽鑑賞

## (14) 生きがいはあるか

問 36 生きがいがありますか。(○は1つ)

- 「生きがいあり」が7割弱、「思いつかない」が3割弱を占める。

生きがいはあるかたずねたところ、「生きがいあり」が68.8%、「思いつかない」が25.9%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「生きがいあり」の割合が低くなり、「思いつかない」の割合が高くなっている。

図表 生きがいはあるか

		生きがいあり	思いつかない	無回答	n
		(%)			
全体		68.8	25.9	5.2	9336
性別	男性	68.7	27.6	3.7	4559
	女性	69.0	24.4	6.6	4741
年齢	65-69歳	72.3	24.8	2.9	2775
	70-74歳	69.8	25.8	4.4	2905
	75-79歳	67.3	25.1	7.6	2008
	80-84歳	66.0	27.2	6.8	998
	85-89歳	59.3	31.3	9.4	435
	90歳以上	56.4	35.8	7.8	179
居住地	みずき野地区	73.3	22.8	3.9	1432
	守谷地区	67.5	26.9	5.6	2567
	高野地区	69.2	25.8	5.1	1801
	大野地区	62.2	32.7	5.1	474
	大井沢地区	65.8	24.8	9.4	509
	北守谷地区	69.3	25.9	4.8	2517
要支援区分	一般高齢者	69.3	25.4	5.2	9032
	要支援1	55.6	38.9	5.6	126
	要支援2	49.3	46.5	4.2	142

### ①どのような生きがいがあるか

「生きがいあり」と回答した方に、どのような生きがいかたずねたところ、以下のような記述があった。

図表 生きがいはあるか（一般高齢者）

家族	<input type="checkbox"/> 家族の食事の世話 <input type="checkbox"/> 孫の成長 <input type="checkbox"/> 家族の健康管理 <input type="checkbox"/> 家族との旅行
友人	<input type="checkbox"/> 友人との旅行 <input type="checkbox"/> 温泉で友人としゃべること
趣味	<input type="checkbox"/> 趣味の発表 <input type="checkbox"/> 趣味の上達
地域活動	<input type="checkbox"/> 花壇の手入れ
仕事	<input type="checkbox"/> ペットの世話
その他	<input type="checkbox"/> 自分の仕事 <input type="checkbox"/> ボランティア活動

図表 生きがいはあるか（要支援認定者）

家族	<input type="checkbox"/> 孫の成長 <input type="checkbox"/> 家族との団らん
友人	<input type="checkbox"/> 友達と話すこと <input type="checkbox"/> 食べ歩き
趣味	<input type="checkbox"/> 水泳 <input type="checkbox"/> 合唱
仕事	<input type="checkbox"/> 会社経営 <input type="checkbox"/> ボランティア活動

## 5 地域での活動について

### (1) 会・グループ等への参加状況

問 37 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
※①-⑨それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

- スポーツ関係のグループ、趣味関係のグループ、町内会・自治会は参加している人の割合が高い。

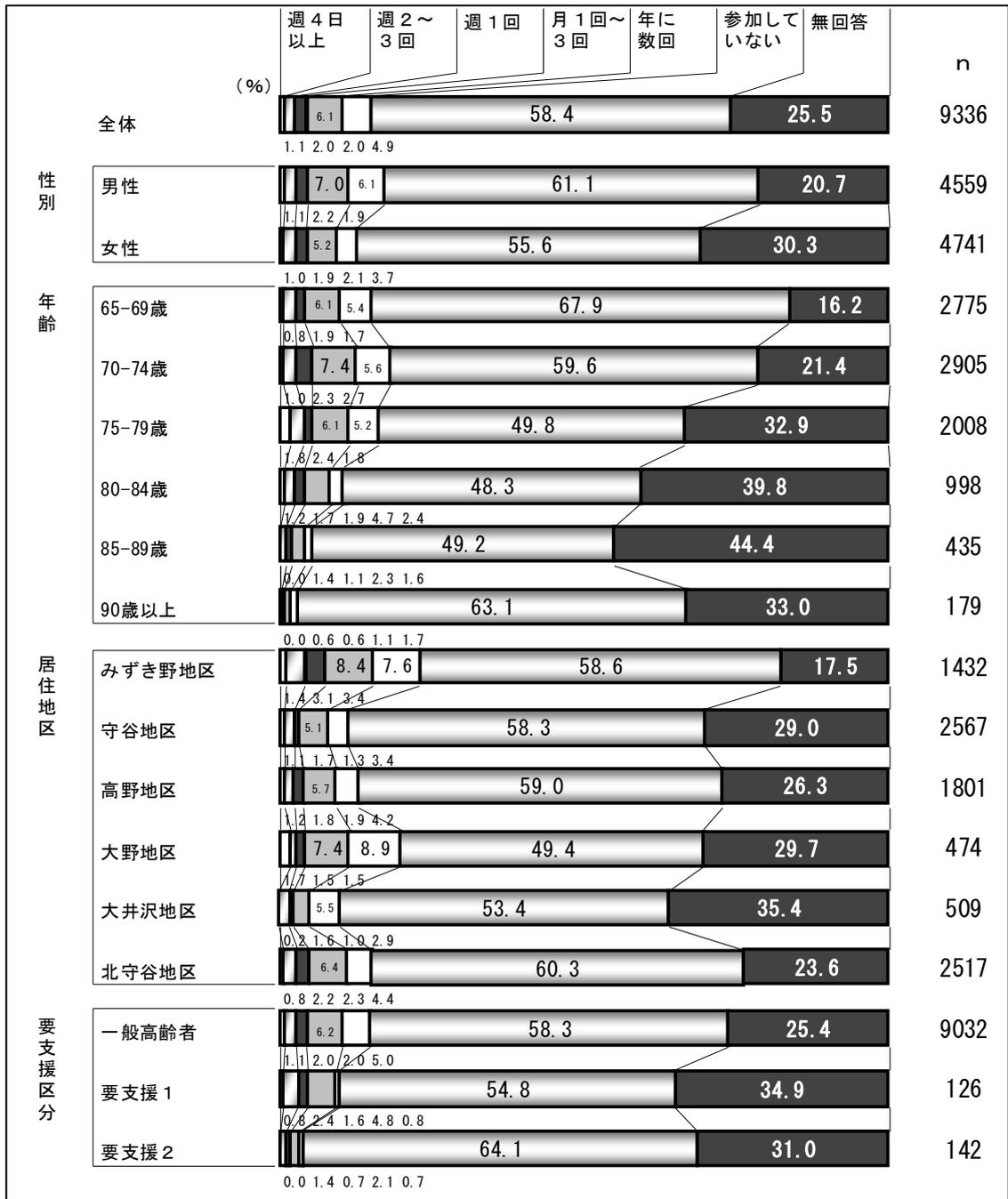
#### ①ボランティアのグループ

ボランティアのグループの参加状況については、「参加していない」が58.4%、「月1回～3回」が6.1%、「年に数回」が4.9%、「週2～3回」・「週1回」が同率で2.0%、「週4日以上」が1.1%となっている。

年齢で見ると、若年層ほど参加している人の割合は70代がピークになっている。が高くなる傾向がうかがえる。

居住地区で見ると、みずき野地区と高野大野地区、北守谷地区では参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（ボランティアのグループ）



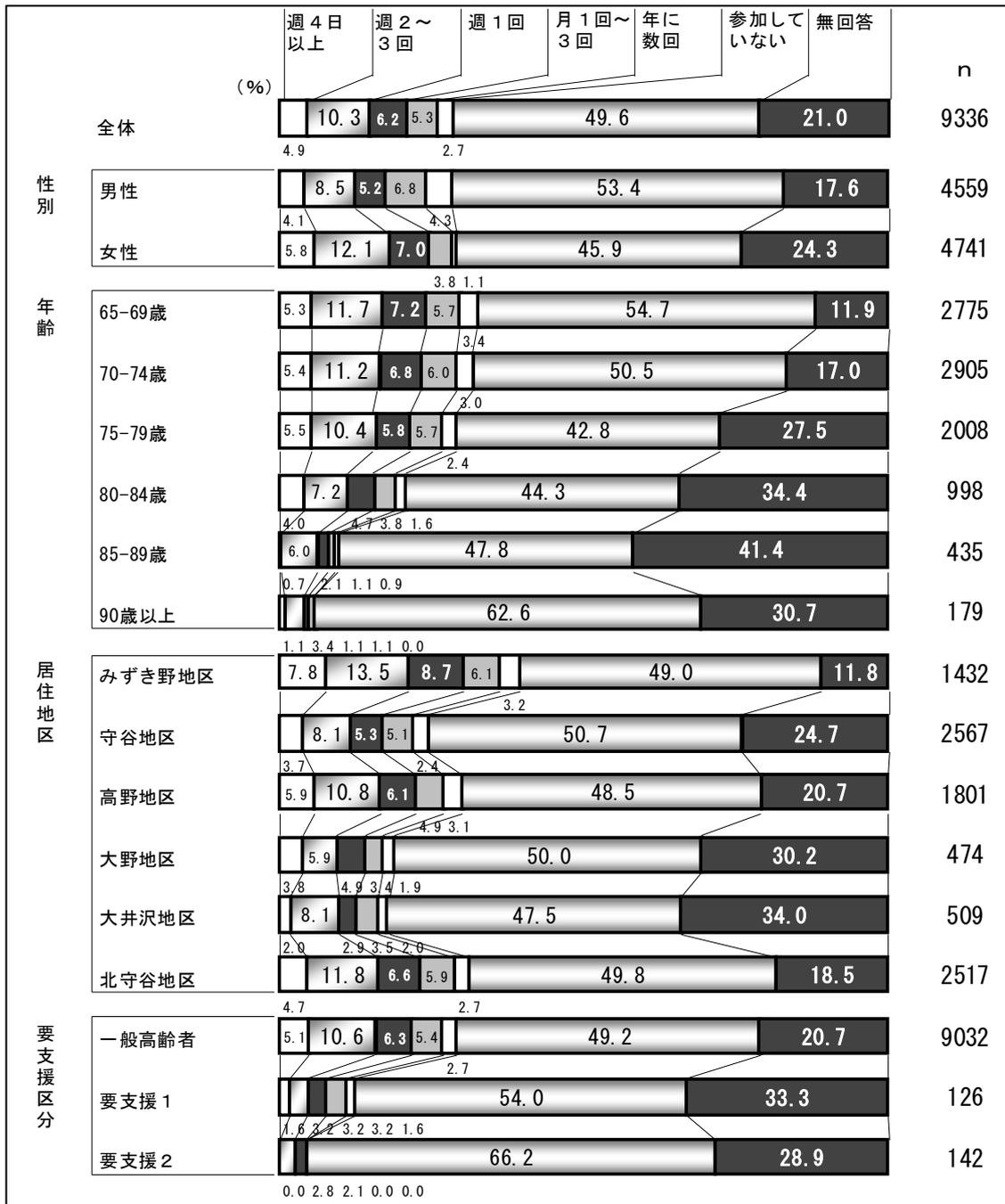
## ②スポーツ関係のグループ

スポーツ関係のグループの参加状況については、「参加していない」が49.6%、「週2～3回」が10.3%、「週1回」が6.2%、「月1回～3回」が5.3%、「週4日以上」が4.9%、「年に数回」が2.7%となっている。

年齢で見ると、若年層ほど参加している人の割合が高くなる傾向がうかがえる。

居住地区で見ると、みずき野地区と高野地区、北守谷地区では参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（スポーツ関係のグループ）



### ③趣味関係のグループ

趣味関係のグループの参加状況については、「参加していない」が45.7%、「月1回～3回」が15.6%、「週1回」が6.6%、「週2～3回」が5.9%、「年に数回」が1.9%、「週4日以上」が1.9%となっている。

年齢で見ると、若年層ほど参加している人の割合は70代がピークとなっている。が高くなる傾向がうかがえる。

居住地区で見ると、みずき野地区と高野地区、北守谷地区では参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（趣味関係のグループ）

		参加状況 (%)							n
		週4日以上	週2～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		5.9	6.6	15.6	5.5	45.7	18.8		9336
性別	男性	5.1	6.4	13.4	7.8	49.8	15.7		4559
	女性	6.7	6.9	17.6		41.7	21.8		4741
年齢	65-69歳	7.0	15.6	6.4	53.4	11.3			2775
	70-74歳	6.3	7.0	17.3	5.9	46.1	15.7		2905
	75-79歳	7.4	6.9	17.0	38.2	23.4			2008
	80-84歳	6.4	6.4	13.0	5.3	36.8	30.6		998
	85-89歳	7.8	42.5	36.8					435
	90歳以上	59.8	27.9						179
居住地区	みずき野地区	7.6	8.5	19.6	5.9	43.9	12.4		1432
	守谷地区	5.3	5.4	13.4	47.1	21.7			2567
	高野地区	6.3	7.4	15.5	6.1	45.3	18.0		1801
	大野地区	5.1	13.1	43.9	27.0				474
	大井沢地区	11.0	44.8	30.5					509
	北守谷地区	5.9	7.0	16.8	5.8	46.0	16.4		2517
	要支援区分	一般高齢者	6.0	6.7	15.8	5.6	45.4	18.6	
要支援1		5.6	8.7	49.2	29.4				126
要支援2		7.0	57.7	26.8					142

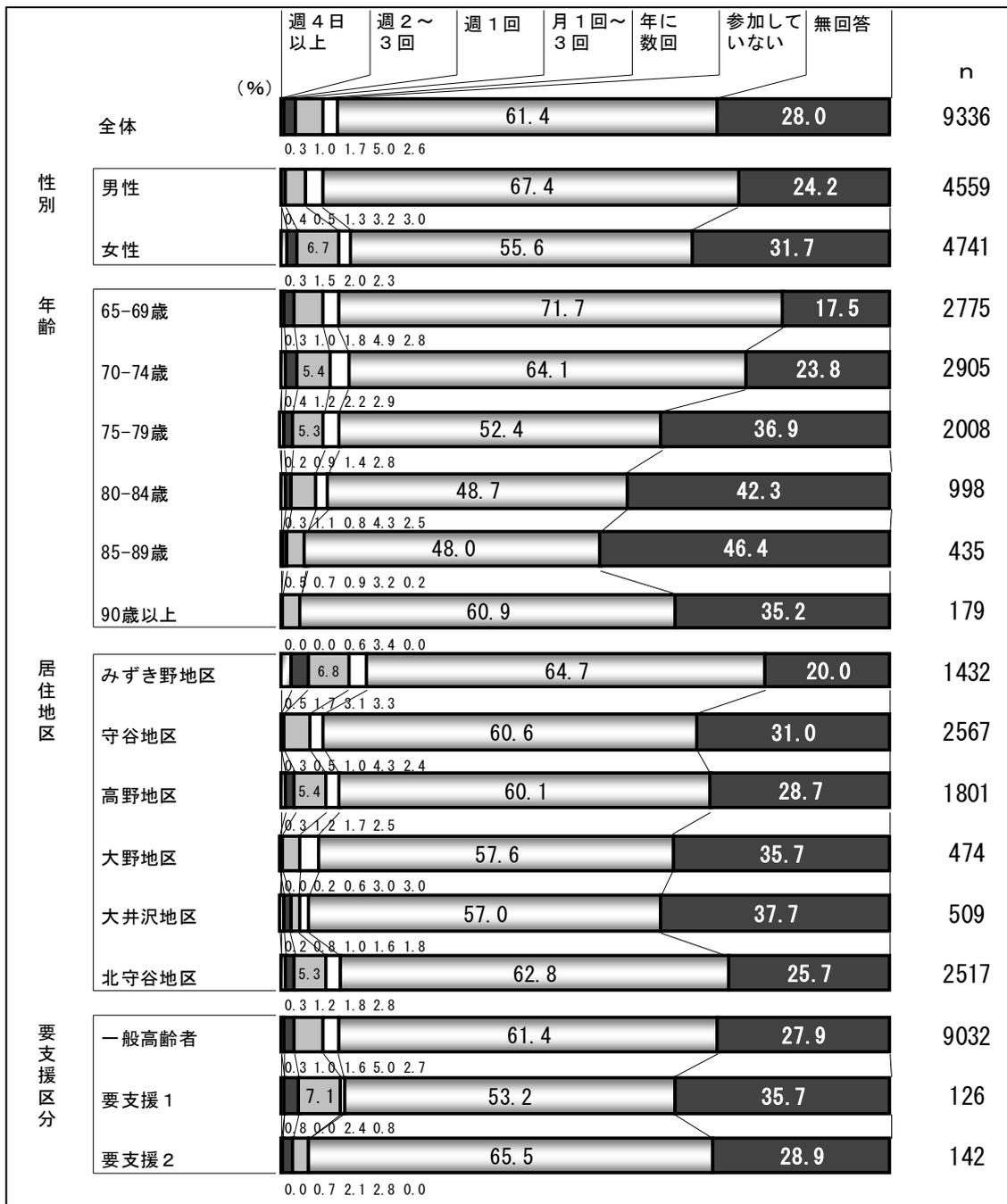
#### ④学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加状況については、「参加していない」が61.4%、「月1回～3回」が5.0%、「年に数回」が2.6%、「週1回」が1.7%、「週2～3回」が1.0%、「週4日以上」が0.3%となっている。

性別でみると、男性よりも女性の参加している人の割合が高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて参加している人の割合は70代前半がピークとなっている。が低くなる傾向がうかがえる。

図表 会・グループ等への参加状況（学習・教養サークル）



### ⑤シルバーリハビリ体操（パタカ）

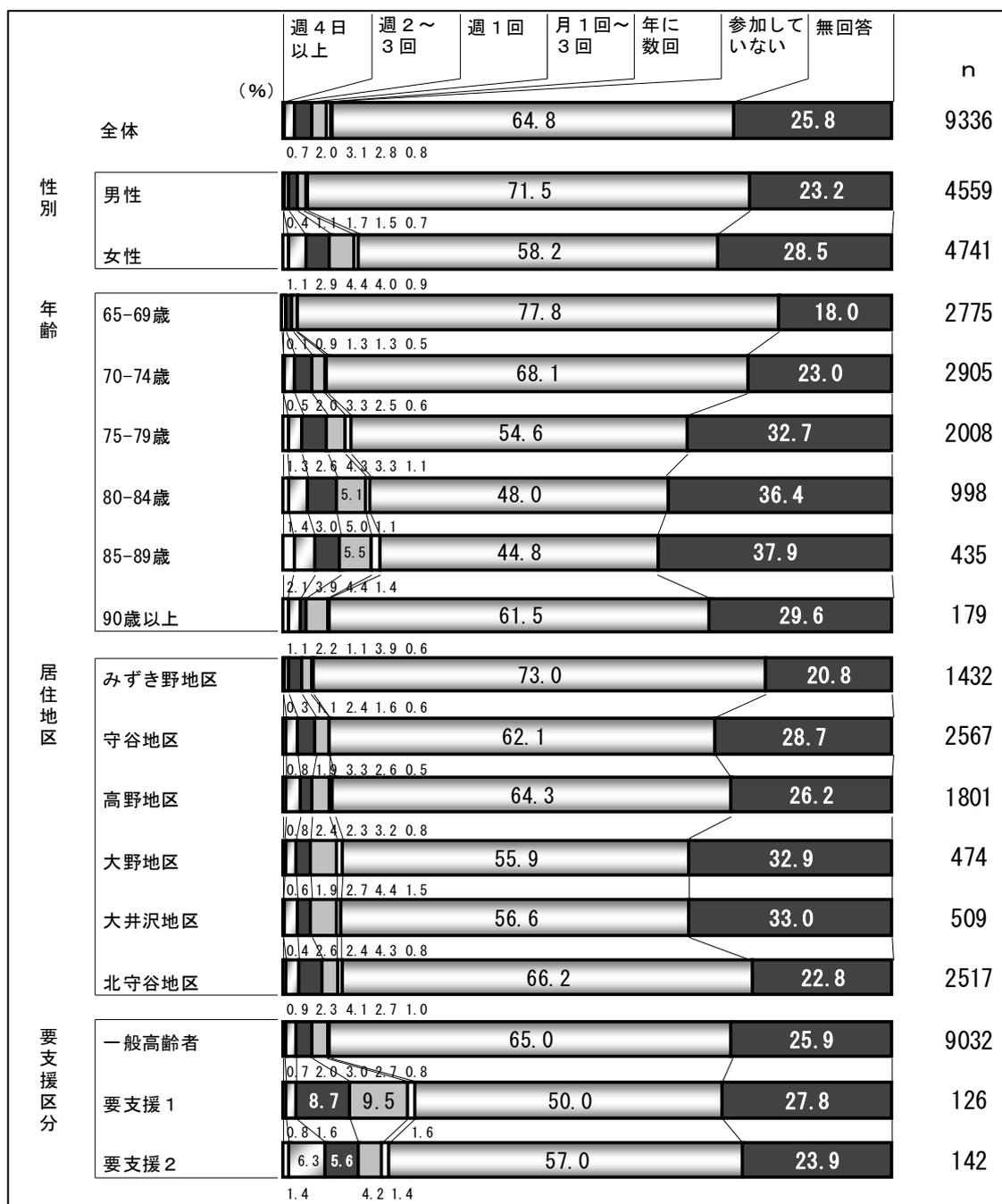
シルバーリハビリ体操（パタカ）の参加状況については、「参加していない」が64.8%、「週1回」が3.1%、「月1回～3回」が2.8%、「週2～3回」が2.0%、「年に数回」が0.8%、「週4日以上」が0.7%となっている。

性別で見ると、男性よりも女性の参加している人の割合が高くなっている。

年齢で見ると、参加している人の割合は80代でピークとなっている。

要支援区分で見ると、一般高齢者よりも要支援1、要支援2の参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（シルバーリハビリ体操（パタカ））

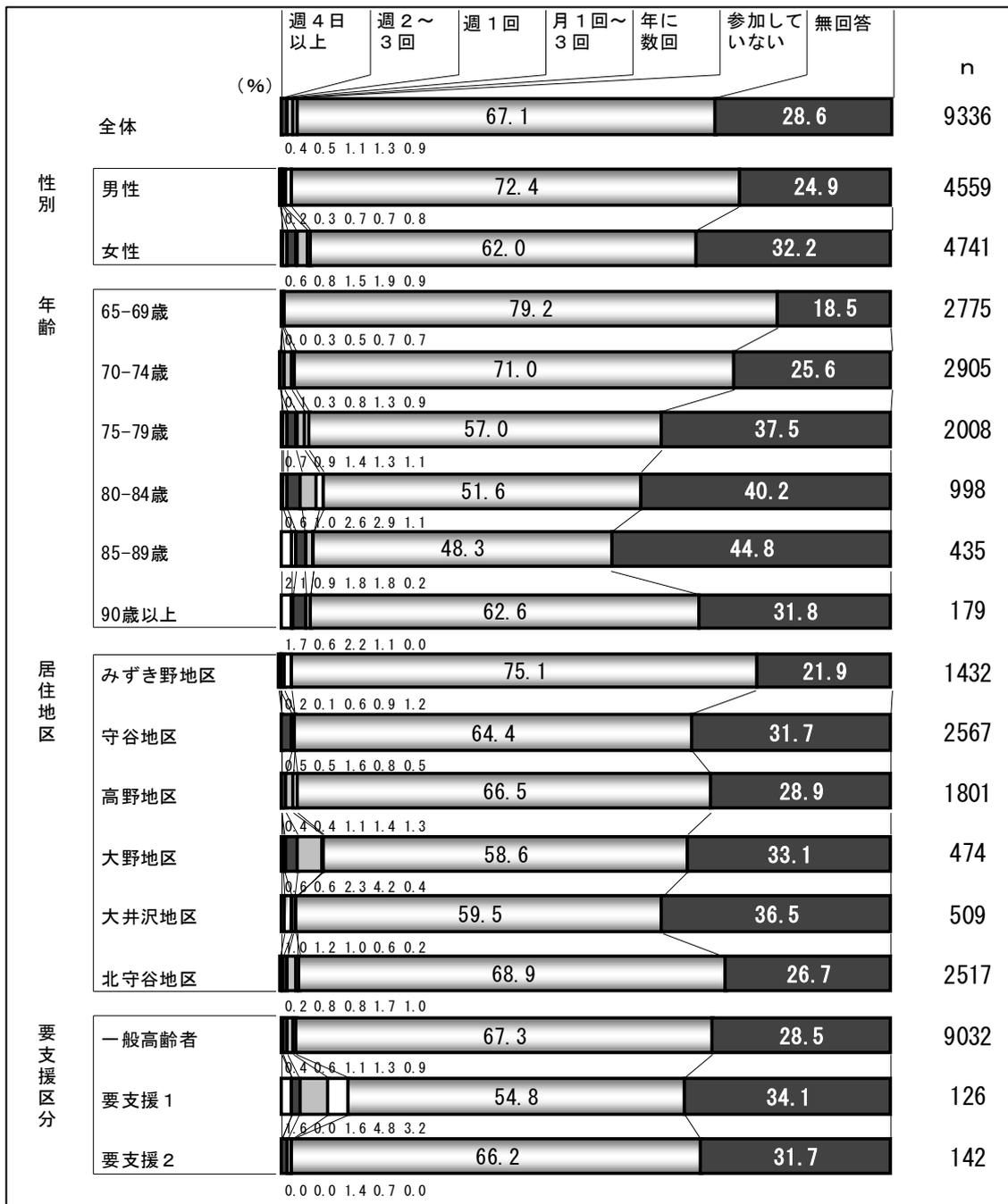


## ⑥出前サロン

出前サロンの参加状況については、「参加していない」が 67.1%、「月 1 回～3 回」が 1.3%、「週 1 回」が 1.1%、「年に数回」が 0.9%、「週 2～3 回」が 0.5%、「週 4 日以上」が 0.4%となっている。

要支援区分で見ると、要支援 1 では他と比べて参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（出前サロン）



## ⑦シニアクラブ（老人クラブ）

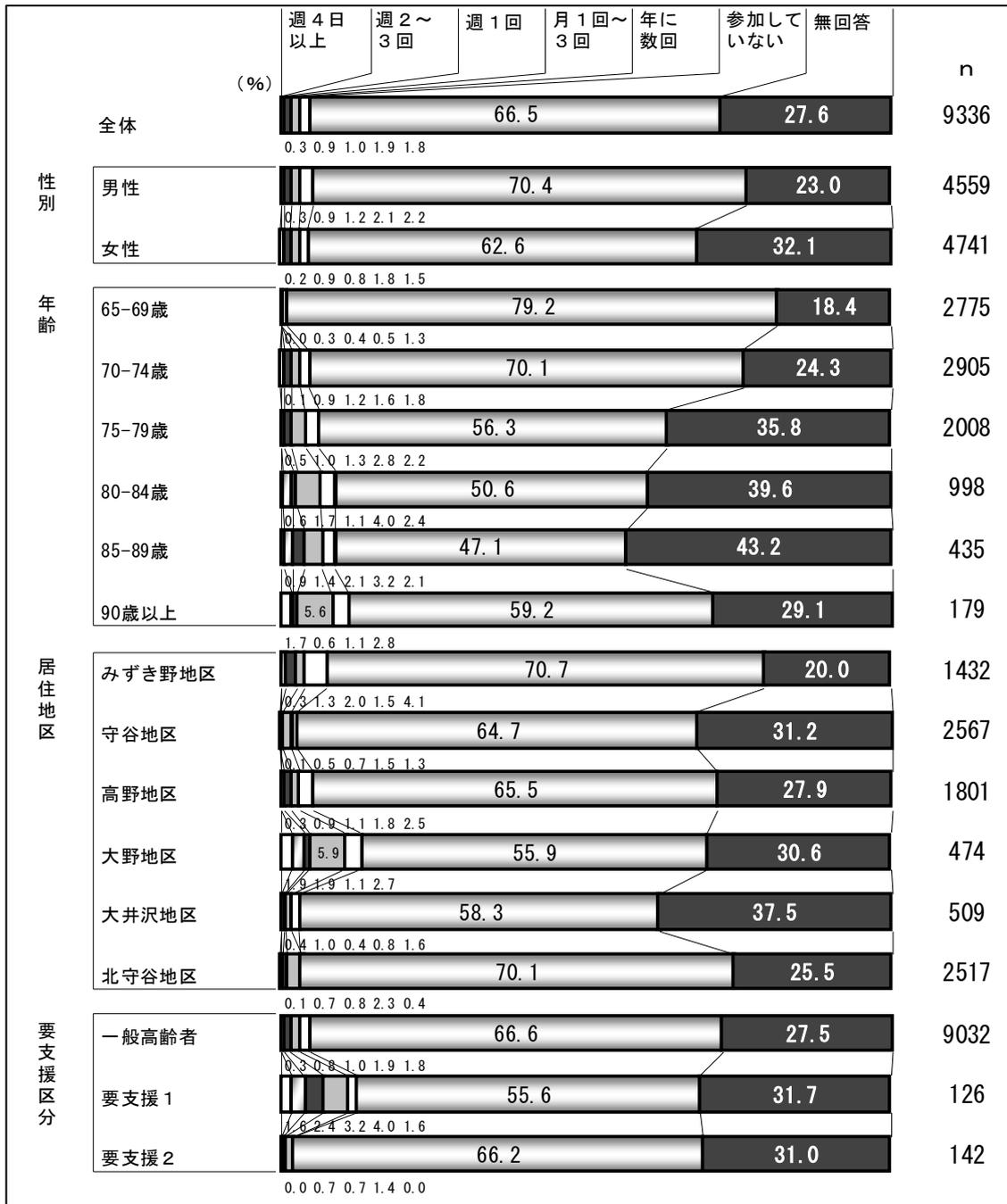
シニアクラブ（老人クラブ）の参加状況については、「参加していない」が66.5%、「月1回～3回」が1.9%、「年に数回」が1.8%、「週1回」が1.0%、「週2～3回」が0.9%、「週4日以上」が0.3%となっている。

年齢で見ると、65-69歳では参加している人はほとんどおらず、高齢になるにつれて参加している人の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、大野地区とみずき野地区では他の地区に比べて参加している人の割合が高くなっている。

要支援区分で見ると、一般高齢者、要支援2と比べて要支援1では参加している人の割合が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（シニアクラブ（老人クラブ））



## ⑧町内会・自治会

町内会・自治会の参加状況については、「参加していない」が42.0%、「年に数回」が29.5%、「月1～3回」が6.1%、「週1回」が0.7%、「週2～3回」が0.4%、「週4回以上」が0.3%となっている。

年齢で見ると、若年層ほど参加している人の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、大野地区では他と比べて参加している人の割合が若干高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（町内会・自治会）

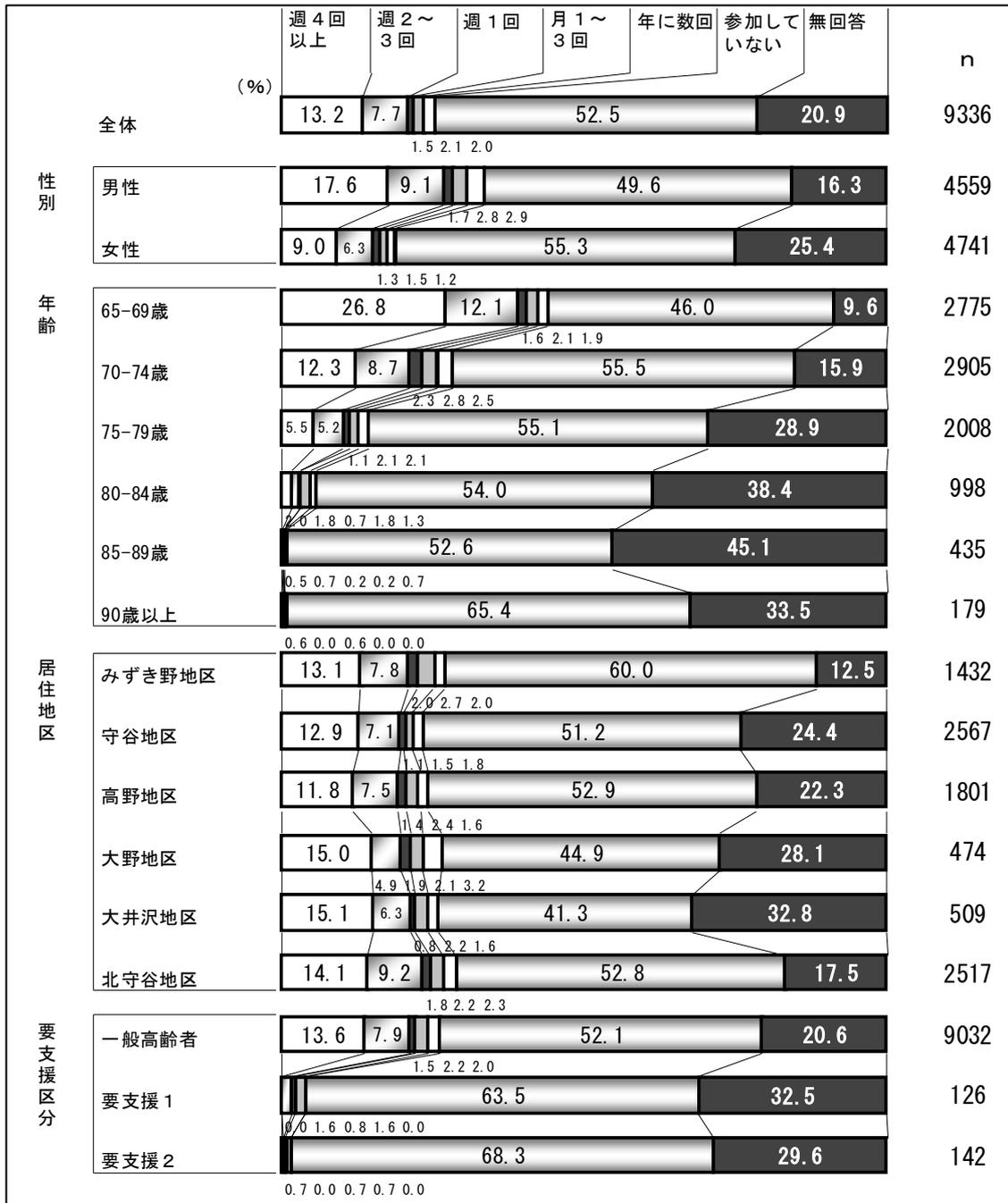
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	n	
全体		6.1	29.5	0.7	0.4	42.0	21.0	9336		
		0.3	0.4	0.7						
性別	男性	8.2	31.5	0.8	0.4	42.6	15.9	4559		
	女性	27.5	41.4	26.0						
		0.2	0.2	0.6	4.0					
年齢	65-69歳	6.7	34.2	45.0	13.5	2775				
	70-74歳	6.4	32.2	42.7	17.1	2905				
	75-79歳	6.2	27.3	38.0	26.3	2008				
	80-84歳	23.8	35.6	34.1	998					
	85-89歳	13.6	44.4	37.2	435					
	90歳以上	7.3	58.7	31.8	179					
		0.0	0.0	0.6	1.7					
居住地区	みずき野地区	6.8	27.7	49.3	14.2	1432				
	守谷地区	5.2	30.8	39.2	23.6	2567				
	高野地区	5.2	29.1	42.5	22.0	1801				
	大野地区	9.3	33.3	31.6	24.5	474				
	大井沢地区	30.6	34.0	30.6	509					
	北守谷地区	7.0	28.5	43.9	19.0	2517				
		0.2	0.4	0.8						
要支援区分	一般高齢者	6.2	30.1	41.6	20.8	9032				
	要支援1	9.5	53.2	31.7	126					
	要支援2	10.6	58.5	29.6	142					
		0.0	0.0	0.0	1.4					

### ⑨収入のある仕事

収入のある仕事の参加状況については、「参加していない」が52.5%、「週4回以上」が13.2%、「週2～3回」が7.7%、「月1～3回」が2.1%、「年に数回」が2.0%、「週1回」が1.5%となっている。

性別でみると、女性よりも男性の参加率が高くなっている。

図表 会・グループ等への参加状況（収入のある仕事）



## (2) 地域活動に参加者として参加したいか

問 38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)



- 「参加してもよい」が5割強、「参加したくない」が3割弱を占める。

地域活動に参加者として参加したいかたずねたところ、「参加してもよい」が50.3%、「参加したくない」が28.3%、「是非参加したい」が8.6%、「既に参加している」が8.4%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「参加したくない」の割合が高くなっており、90歳以上では60.3%となっている。

図表 地域活動に参加者として参加したいか

		是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答	n
全体		8.6	50.3	28.3	8.4	4.4	9336
性別	男性	7.6	51.9	28.3	8.9	3.3	4559
	女性	9.6	48.8	28.1	8.0	5.4	4741
年齢	65-69歳	8.9	56.7	25.4	6.8	2.1	2775
	70-74歳	8.4	53.8	26.0	8.9	2.8	2905
	75-79歳	10.1	46.5	27.9	10.1	5.4	2008
	80-84歳	7.5	43.4	32.4	8.6	8.1	998
	85-89歳	6.2	32.4	39.8	8.5	13.1	435
	90歳以上	19.0	60.3	6.7	11.2	2.8	179
居住地	みずき野地区	8.0	56.4	22.0	11.3	2.3	1432
	守谷地区	8.2	48.5	30.7	6.5	6.1	2567
	高野地区	8.9	48.6	29.4	9.2	3.9	1801
	大野地区	8.4	45.4	33.5	6.8	5.9	474
	大井沢地区	9.0	45.2	32.4	6.5	6.9	509
	北守谷地区	9.2	51.9	26.5	9.0	3.3	2517
要支援区分	一般高齢者	8.7	50.9	27.6	8.5	4.3	9032
	要支援1	7.1	33.3	45.2	7.1	7.1	126
	要支援2	6.3	28.9	50.0	9.9	4.9	142

### (3) 地域活動に企画・運営として参加したいか

問 39 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）



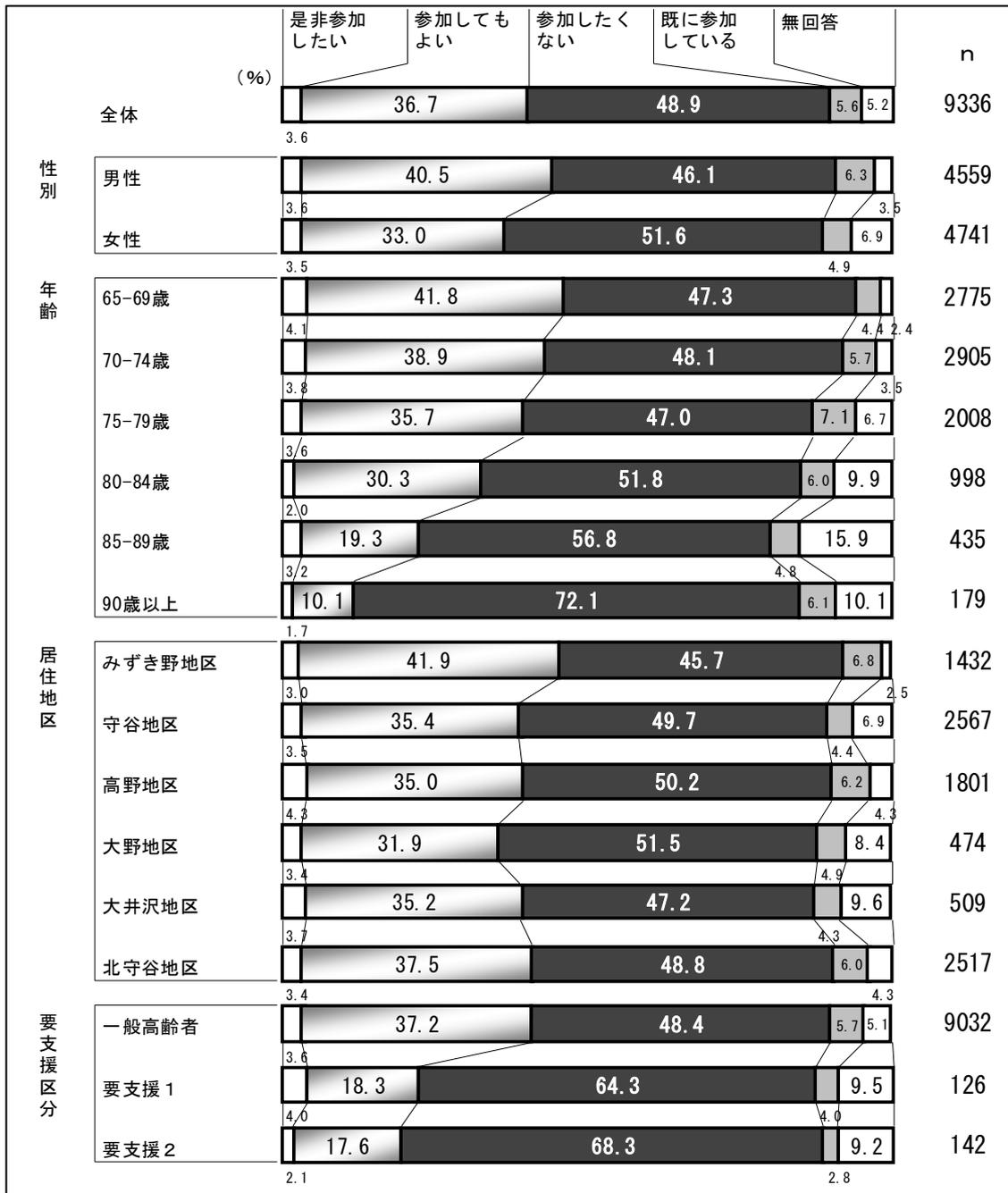
- 「参加したくない」が5割弱、「参加してもよい」が4割弱を占める。

地域活動に企画・運営として参加したいかたずねたところ、「参加したくない」が48.9%、「参加してもよい」が36.7%、「既に参加している」が5.6%、「是非参加したい」が3.6%となっている。

性別で見ると、女性よりも男性の「参加してもよい」の割合が高くなっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「参加したくない」の割合が高くなっており、90歳以上では72.1%となっている。

図表 地域活動に企画・運営として参加したいか



## 6 たすけあいについて

### (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 40 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（あてはまるものすべてに○）  
【複数回答】

- 「配偶者」が第1位。「友人」、「別居の子ども」、兄弟姉妹・親戚・親・孫などが続く。

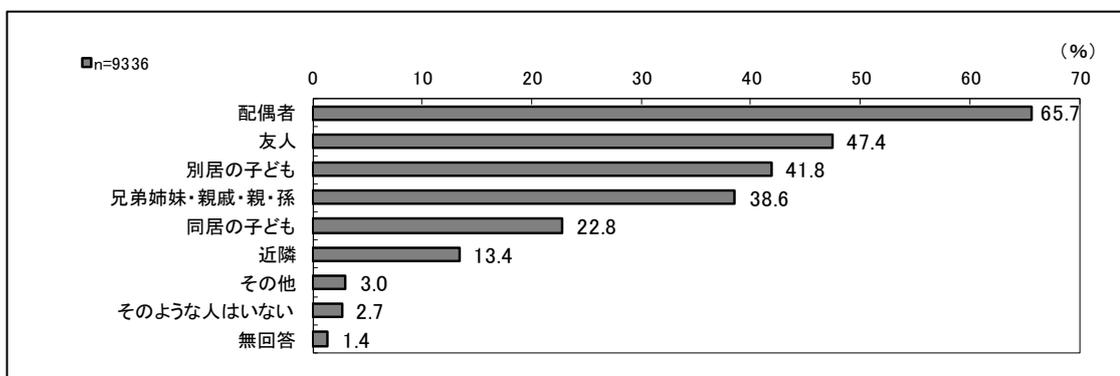
心配事や愚痴を聞いてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」（65.7%）が最も多く、次いで「友人」（47.4%）、「別居の子ども」（41.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（38.6%）、「同居の子ども」（22.8%）、「近隣」（13.4%）の順となっている。なお、「そのような人はいない」は2.7%となっている。

性別で見ると、男性では「配偶者」が第1位となっているのに対し、女性では「友人」が第1位となっている。

年齢で見ると、85-89歳では「別居の子ども」、90歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

要支援区分で見ると、要支援1と要支援2では「別居の子ども」が第1位となっている。

図表 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体／複数回答）



図表 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体・属性別—上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 65.7	友人 47.4	別居の子ども 41.8
性別	男性	配偶者 77.2	友人 35.7	別居の子ども 34.2
	女性	友人 58.8	配偶者 54.6	別居の子ども 49.2
年齢	65-69歳	配偶者 72.8	友人 55.7	別居の子ども 42.8
	70-74歳	配偶者 71.3	友人 50.5	別居の子ども 41.8
	75-79歳	配偶者 63.0	友人 43.8	別居の子ども 41.6
	80-84歳	配偶者 54.5	別居の子ども 40.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 37.8
	85-89歳	別居の子ども 43.7	配偶者 39.3	同居の子ども 34.3
	90歳以上	同居の子ども 52.0	別居の子ども 36.9	兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.5
居住地区	みずき野地区	配偶者 76.4	友人 52.6	別居の子ども 48.3
	守谷地区	配偶者 60.6	友人 46.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 40.9
	高野地区	配偶者 64.4	友人 47.3	別居の子ども 42.9
	大野地区	配偶者 57.6	友人 43.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 41.8
	大井沢地区	配偶者 57.8	友人 41.1	兄弟姉妹・親戚・親・孫 39.5
	北守谷地区	配偶者 68.8	友人 47.9	別居の子ども 43.0
要支援区分	一般高齢者	配偶者 66.5	友人 48.0	別居の子ども 41.9
	要支援1	別居の子ども 43.7	配偶者 38.9	兄弟姉妹・親戚・親・孫 35.7
	要支援2	別居の子ども 38.0	同居の子ども 35.9	配偶者 35.2

## (2) あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 41 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。  
(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

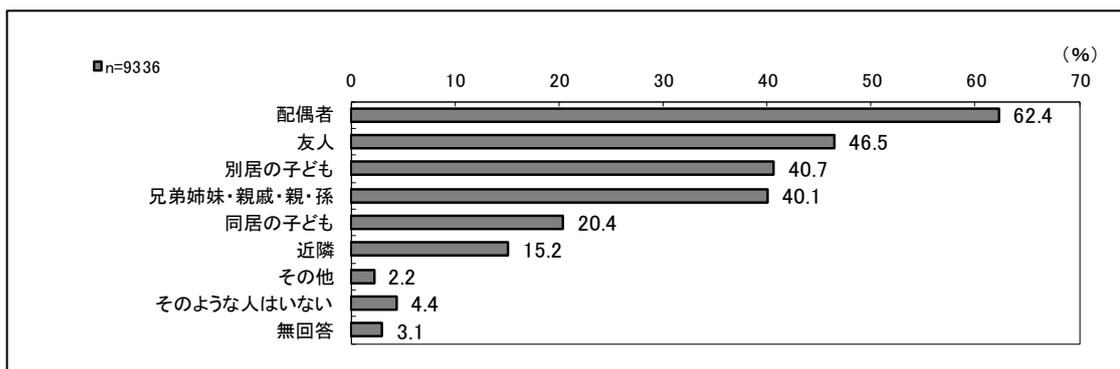
- 「配偶者」が第1位。「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などが続く。

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人についてたずねたところ、「配偶者」(62.4%)が最も多く、次いで「友人」(46.5%)、「別居の子ども」(40.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(40.1%)、「同居の子ども」(20.4%)、「近隣」(15.2%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は4.4%となっている。

性別で見ると、男性では「配偶者」が第1位となっているのに対し、女性では「友人」が第1位となっている。

年齢で見ると、90歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

図表 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体／複数回答）



図表 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体・属性別—上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 62.4	友人 46.5	別居の子ども 40.7
性別	男性	配偶者 75.8	別居の子ども 36.7	友人 34.0
	女性	友人 58.6	配偶者 49.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 47.4
年齢	65-69歳	配偶者 69.9	友人 54.2	別居の子ども 44.7
	70-74歳	配偶者 67.5	友人 49.0	別居の子ども 41.6
	75-79歳	配偶者 59.6	友人 43.6	別居の子ども 39.9
	80-84歳	配偶者 50.5	友人 37.5	兄弟姉妹・親戚・親・孫 36.9
	85-89歳	配偶者 36.8	別居の子ども 30.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 29.2
	90歳以上	同居の子ども 31.3	兄弟姉妹・親戚・親・孫 26.3	別居の子ども 25.7
居住地区	みずき野地区	配偶者 72.6	友人 50.8	別居の子ども 49.4
	守谷地区	配偶者 56.3	友人 45.3	兄弟姉妹・親戚・親・孫 41.8
	高野地区	配偶者 62.0	友人 46.3	別居の子ども 41.7
	大野地区	配偶者 51.7	友人 43.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 41.1
	大井沢地区	配偶者 57.0	友人 41.8	兄弟姉妹・親戚・親・孫 38.5
	北守谷地区	配偶者 66.0	友人 47.1	別居の子ども 41.8
要支援区分	一般高齢者	配偶者 63.1	友人 47.1	別居の子ども 41.1
	要支援1	配偶者 38.9	別居の子ども 30.2	兄弟姉妹・親戚・親・孫 27.0
	要支援2	配偶者 35.2	兄弟姉妹・親戚・親・孫／友人	30.3

### (3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人

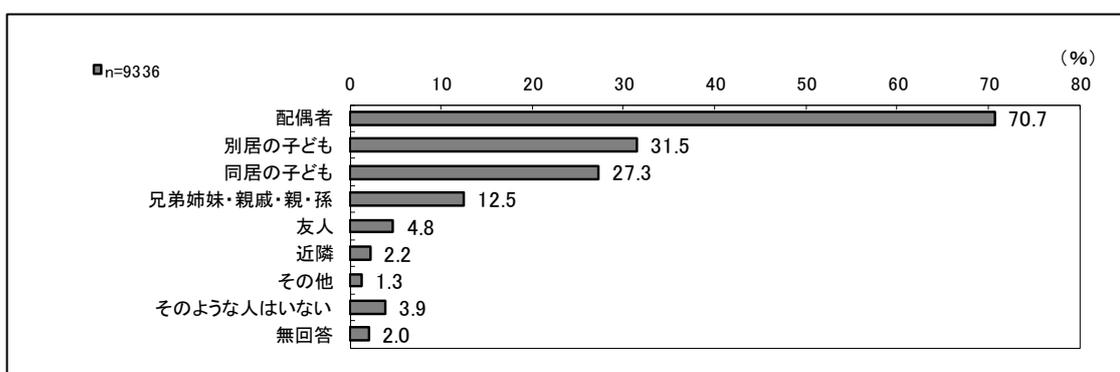
問 42 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。  
(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「配偶者」が他を大きく引き離して第1位。

看病や世話をしてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」(70.7%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(31.5%)、「同居の子ども」(27.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(12.5%)、「友人」(4.8%)、「近隣」(2.2%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は3.9%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

図表 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人(全体/複数回答)



図表 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人（全体・属性別—上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 70.7	別居の子ども 31.5	同居の子ども 27.3
性別	男性	配偶者 82.7	別居の子ども 25.2	同居の子ども 21.2
	女性	配偶者 59.2	別居の子ども 37.5	同居の子ども 33.1
年齢	65-69歳	配偶者 79.6	別居の子ども 27.8	同居の子ども 24.9
	70-74歳	配偶者 76.6	別居の子ども 30.4	同居の子ども 22.6
	75-79歳	配偶者 67.6	別居の子ども 34.8	同居の子ども 28.1
	80-84歳	配偶者 57.0	別居の子ども 36.4	同居の子ども 34.4
	85-89歳	同居の子ども 40.2	配偶者 39.8	別居の子ども 35.9
	90歳以上	同居の子ども 58.1	別居の子ども 30.2	配偶者 22.9
居住地区	みずき野地区	配偶者 79.5	別居の子ども 31.2	同居の子ども 19.8
	守谷地区	配偶者 65.5	別居の子ども 33.3	同居の子ども 29.6
	高野地区	配偶者 69.7	別居の子ども 30.7	同居の子ども 28.7
	大野地区	配偶者 62.7	同居の子ども 37.1	別居の子ども 35.7
	大井沢地区	配偶者 64.0	同居の子ども 35.6	別居の子ども 28.1
	北守谷地区	配偶者 74.6	別居の子ども 30.1	同居の子ども 24.5
要支援区分	一般高齢者	配偶者 71.6	別居の子ども 31.3	同居の子ども 27.0
	要支援1	配偶者 39.7	別居の子ども 38.9	同居の子ども 29.4
	要支援2	配偶者 40.8	同居の子ども 39.4	別居の子ども 33.8

#### (4) あなたが看病や世話をしあける人

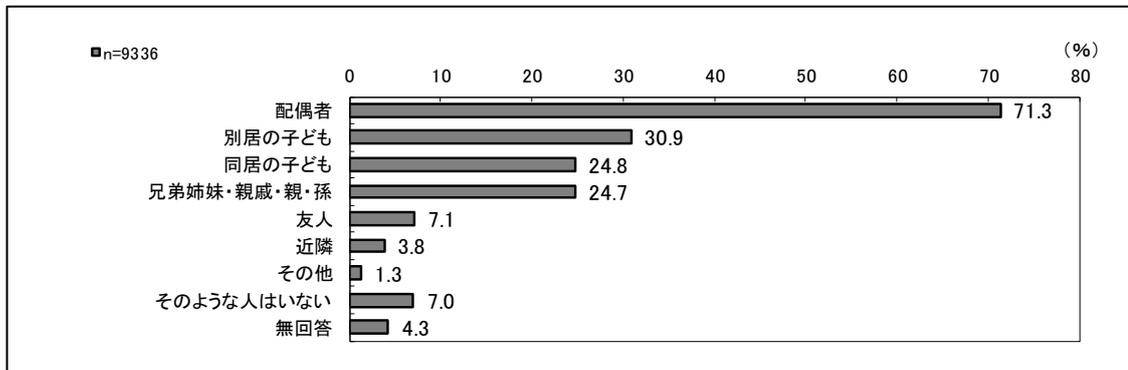
問 43 反対に、看病や世話をしあける人。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「配偶者」が他を大きく引き離して第1位。

看病や世話をしあける人についてたずねたところ、「配偶者」(71.3%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(30.9%)、「同居の子ども」(24.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.7%)、「友人」(7.1%)、「近隣」(3.8%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は7.0%となっている。

年齢で見ると、90歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

図表 あなたが看病や世話をしあける人(全体/複数回答)



図表 あなたが看病や世話をしあける人（全体・属性別－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 71.3	別居の子ども 30.9	同居の子ども 24.8
性別	男性	配偶者 80.1	別居の子ども 25.0	同居の子ども 21.0
	女性	配偶者 62.9	別居の子ども 36.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 29.8
年齢	65-69歳	配偶者 79.8	別居の子ども 36.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 31.3
	70-74歳	配偶者 76.8	別居の子ども 32.9	兄弟姉妹・親戚・親・孫 25.0
	75-79歳	配偶者 67.9	別居の子ども 28.7	同居の子ども 25.1
	80-84歳	配偶者 59.8	同居の子ども 25.8	別居の子ども 23.8
	85-89歳	配偶者 41.6	同居の子ども 25.1	別居の子ども 14.7
	90歳以上	同居の子ども 29.6	配偶者 24.6	別居の子ども 15.1
居住地区	みずき野地区	配偶者 80.9	別居の子ども 37.5	兄弟姉妹・親戚・親・孫 22.3
	守谷地区	配偶者 66.0	別居の子ども 29.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 26.7
	高野地区	配偶者 70.6	別居の子ども 30.4	同居の子ども 26.0
	大野地区	配偶者 61.6	同居の子ども 30.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.5
	大井沢地区	配偶者 62.5	兄弟姉妹・親戚・親・孫 27.3	同居の子ども 26.3
	北守谷地区	配偶者 75.4	別居の子ども 30.5	同居の子ども 22.8
要支援区分	一般高齢者	配偶者 72.3	別居の子ども 31.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 25.1
	要支援1	配偶者 38.9	同居の子ども 19.8	別居の子ども 15.9
	要支援2	配偶者 38.7	同居の子ども 19.7	兄弟姉妹・親戚・親・孫 12.7

## (5) 家族や友人、知人以外の相談相手

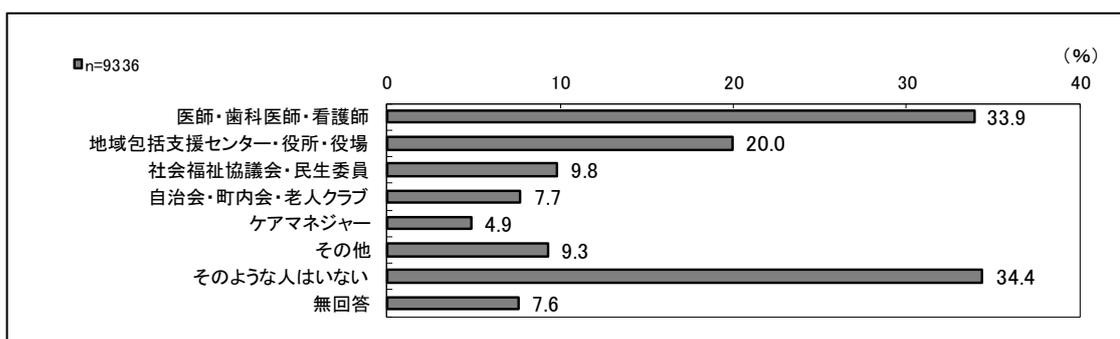
問 44 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「医師・歯科医師・看護師」が第1位。「そのような人はいない」は34.4%を占める。

家族や友人、知人以外の相談相手についてたずねたところ、「医師・歯科医師・看護師」(33.9%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(20.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.8%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(7.7%)、「ケアマネジャー」(4.9%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は34.4%となっている。

要支援区分で見ると、要支援1と要支援2では「ケアマネジャー」が第1位となっている。

図表 家族や友人、知人以外の相談相手（全体／複数回答）



図表 家族や友人、知人以外の相談相手（全体・属性別—上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		医師・歯科医師・看護師 33.9	地域包括支援センター・役 所・役場 20.0	社会福祉協議会・民生委員 所 9.8
性別	男性	医師・歯科医師・看護師 35.0	地域包括支援センター・役 所・役場 18.6	自治会・町内会・老人クラ ブ 10.2
	女性	医師・歯科医師・看護師 33.0	地域包括支援センター・役 所・役場 21.4	社会福祉協議会・民生委員 所 10.0
年齢	65-69歳	医師・歯科医師・看護師 32.0	地域包括支援センター・役 所・役場 19.4	自治会・町内会・老人クラ ブ 6.1
	70-74歳	医師・歯科医師・看護師 33.7	地域包括支援センター・役 所・役場 20.2	社会福祉協議会・民生委員 所 8.6
	75-79歳	医師・歯科医師・看護師 35.0	地域包括支援センター・役 所・役場 21.1	社会福祉協議会・民生委員 所 12.5
	80-84歳	医師・歯科医師・看護師 36.6	地域包括支援センター・役 所・役場 22.1	社会福祉協議会・民生委員 所 16.6
	85-89歳	医師・歯科医師・看護師 39.3	社会福祉協議会・民生委員 所 18.6	地域包括支援センター・役 所・役場 16.1
	90歳以上	医師・歯科医師・看護師 30.7	ケアマネジャー 15.6	地域包括支援センター・役 所・役場 11.2
居住地区	みずき野地区	医師・歯科医師・看護師 38.4	地域包括支援センター・役 所・役場 20.1	社会福祉協議会・民生委員 所 8.0
	守谷地区	医師・歯科医師・看護師 32.6	地域包括支援センター・役 所・役場 18.9	社会福祉協議会・民生委員 所 9.3
	高野地区	医師・歯科医師・看護師 35.0	地域包括支援センター・役 所・役場 19.8	社会福祉協議会・民生委員 所 10.0
	大野地区	医師・歯科医師・看護師 28.9	地域包括支援センター・役 所・役場 17.9	社会福祉協議会・民生委員 所 14.1
	大井沢地区	医師・歯科医師・看護師 30.8	地域包括支援センター・役 所・役場 20.8	社会福祉協議会・民生委員 所 6.9
	北守谷地区	医師・歯科医師・看護師 33.7	地域包括支援センター・役 所・役場 21.4	社会福祉協議会・民生委員 所 11.1
要支援区分	一般高齢者	医師・歯科医師・看護師 34.0	地域包括支援センター・役 所・役場 19.9	社会福祉協議会・民生委員 所 9.8
	要支援1	ケアマネジャー 47.6	医師・歯科医師・看護師 34.9	地域包括支援センター・役 所・役場 21.4
	要支援2	ケアマネジャー 54.9	医師・歯科医師・看護師 33.1	地域包括支援センター・役 所・役場 23.9

## (6) 友人・知人と会う頻度

問 45 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- 「月に何度かある」、「週に何度かある」がともに3割弱を占める。

友人・知人と会う頻度についてたずねたところ、「月に何度かある」が29.9%、「週に何度かある」が28.7%、「年に何度かある」が18.8%、「ほとんどない」が10.7%、「毎日ある」が9.0%となっている。

年齢で見ると、90歳以上では「ほとんどない」が3割強を占めている。

図表 友人・知人と会う頻度

		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	n
		(% )						
全体		9.0	28.7	29.9	18.8	10.7	2.8	9336
性別	男性	10.4	23.3	28.5	22.9	12.7	2.4	4559
	女性	7.7	34.1	31.3	14.7	8.9	3.2	4741
年齢	65-69歳	10.9	27.1	29.9	21.4	9.3	1.4	2775
	70-74歳	9.4	29.7	29.2	20.1	9.5	2.2	2905
	75-79歳	8.5	30.2	31.3	16.8	9.9	3.3	2008
	80-84歳	5.6	30.3	30.7	14.7	12.8	5.9	998
	85-89歳	7.1	26.9	29.4	11.3	19.8	5.5	435
	90歳以上	20.1	24.6	16.2	30.2			179
居住地区	みずき野地区	7.5	30.7	30.0	21.2	8.5	3.9	1432
	守谷地区	9.9	27.6	29.6	18.3	10.8	5.0	2567
	高野地区	8.7	27.8	30.5	18.3	12.0	2.0	1801
	大野地区	11.6	31.2	31.2	12.2	11.4	3.7	474
	大井沢地区	9.8	30.6	35.6	12.8	6.5	2.6	509
	北守谷地区	8.5	28.7	28.4	20.4	11.9	4.7	2517
要支援区分	一般高齢者	9.2	28.8	30.0	18.9	10.3	2.1	9032
	要支援1	21.4	27.8	8.7	34.1	5.6	2.7	126
	要支援2	32.4	26.8	14.1	21.1		2.4	142
		2.1					3.5	

(7) 1か月間に会った友人・知人の人数

問 46 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)

● 「10人以上」が3割強、「4～5人」が3割弱を占める。

1か月に会った友人・知人の人数についてたずねたところ、「10人以上」が33.0%、「3～5人」が25.9%、「1～2人」が16.2%、「6～9人」が11.2%、「0人」が10.8%となっている。

年齢で見ると、80歳以上では人数が減少する傾向がうかがえる。

図表 1か月に会った友人・知人の人数

		0人	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	n
		(% )						
全体		10.8	16.2	25.9	11.2	33.0	2.9	9336
性別	男性	13.7	16.4	24.9	10.0	32.4	2.7	4559
	女性	8.1	16.0	26.9	12.3	33.6	3.1	4741
年齢	65-69歳	11.3	14.9	24.9	12.0	35.4	1.6	2775
	70-74歳	9.6	15.5	25.9	10.4	36.5	2.1	2905
	75-79歳	9.8	15.2	28.1	12.1	31.6	3.3	2008
	80-84歳	11.0	19.5	25.2	11.1	28.0	5.2	998
	85-89歳	14.9	21.8	26.2	9.0	20.2	7.8	435
	90歳以上	24.6	24.6	22.9	6.7	15.1	6.1	179
居住地区	みずき野地区	10.8	13.3	23.5	11.9	38.7	1.8	1432
	守谷地区	10.8	17.7	26.5	10.7	31.0	3.4	2567
	高野地区	11.7	15.7	26.2	10.9	33.0	2.6	1801
	大野地区	8.6	18.1	27.0	11.8	32.1	2.3	474
	大井沢地区	15.5	30.8	10.4	32.4	6.1	4.7	509
	北守谷地区	11.9	16.3	25.4	11.5	32.1	2.7	2517
要支援区分	一般高齢者	10.6	16.0	25.8	11.3	33.5	2.8	9032
	要支援1	22.2	20.6	24.6	7.9	20.6	4.0	126
	要支援2	16.9	24.6	34.5	6.3	12.7	4.9	142

## (8) よく会う友人・知人との関係性

問 47 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)  
【複数回答】

- 「近所・同じ地域の人」が第1位。「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」などが続く。

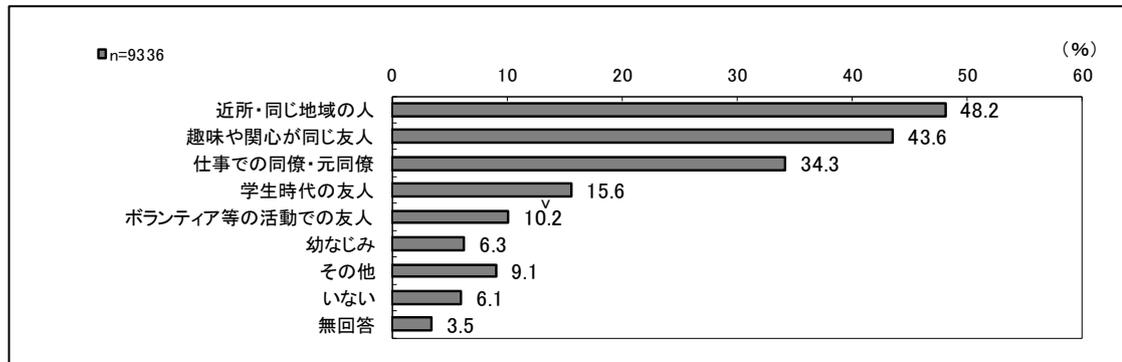
よく会う友人・知人との関係性についてたずねたところ、「近所・同じ地域の人」(48.2%)が最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(43.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(34.3%)、「学生時代の友人」(15.6%)、「ボランティア等の活動での友人」(10.2%)、「幼なじみ」(6.3%)などとなっている。なお、「いない」は6.1%となっている。

性別で見ると、男性では「仕事での同僚・元同僚」が第1位となっているのに対し、女性では「近所・同じ地域の人」が第1位となっている。

年齢で見ると、65-69歳では「仕事での同僚・元同僚」が第1位となっているのに対し、70歳以上では「近所・同じ地域の人」が第1位となっている。

居住地区で見ると、みずき野地区と北守谷地区では「趣味や関心が同じ友人」が第1位となっている。

図表 よく会う友人・知人との関係性 (全体/複数回答)



図表 よく会う友人・知人との関係性（全体・属性別—上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		近所・同じ地域の人 48.2	趣味や関心が同じ友人 43.6	仕事での同僚・元同僚 34.3
性別	男性	仕事での同僚・元同僚 43.6	趣味や関心が同じ友人 40.0	近所・同じ地域の人 39.8
	女性	近所・同じ地域の人 56.5	趣味や関心が同じ友人 47.1	仕事での同僚・元同僚 25.2
年齢	65-69歳	仕事での同僚・元同僚 48.0	趣味や関心が同じ友人 43.5	近所・同じ地域の人 43.3
	70-74歳	近所・同じ地域の人 47.8	趣味や関心が同じ友人 45.2	仕事での同僚・元同僚 38.0
	75-79歳	近所・同じ地域の人 50.9	趣味や関心が同じ友人 48.0	仕事での同僚・元同僚 26.9
	80-84歳	近所・同じ地域の人 55.5	趣味や関心が同じ友人 40.3	仕事での同僚・元同僚 15.6
	85-89歳	近所・同じ地域の人 52.9	趣味や関心が同じ友人 31.0	仕事での同僚・元同僚 9.2
	90歳以上	近所・同じ地域の人 51.4	趣味や関心が同じ友人 19.6	仕事での同僚・元同僚 7.3
居住地区	みずき野地区	趣味や関心が同じ友人 52.0	近所・同じ地域の人 49.4	仕事での同僚・元同僚 38.7
	守谷地区	近所・同じ地域の人 50.0	趣味や関心が同じ友人 39.8	仕事での同僚・元同僚 31.3
	高野地区	近所・同じ地域の人 44.7	趣味や関心が同じ友人 43.6	仕事での同僚・元同僚 32.7
	大野地区	近所・同じ地域の人 61.2	趣味や関心が同じ友人 35.0	仕事での同僚・元同僚 31.9
	大井沢地区	近所・同じ地域の人 61.3	仕事での同僚・元同僚 34.2	趣味や関心が同じ友人 32.0
	北守谷地区	趣味や関心が同じ友人 46.7	近所・同じ地域の人 43.4	仕事での同僚・元同僚 36.2
要支援区分	一般高齢者	近所・同じ地域の人 48.2	趣味や関心が同じ友人 44.2	仕事での同僚・元同僚 35.0
	要支援1	近所・同じ地域の人 51.6	趣味や関心が同じ友人 27.8	仕事での同僚・元同僚 7.1
	要支援2	近所・同じ地域の人 50.0	趣味や関心が同じ友人 22.5	仕事での同僚・元同僚 9.2

## (9) まわりの人との助け合い

問 48 あなたとまわりとの手助けについて、まわりの方からの手助け、まわりの方への手助けの経験、今後の手助けの意向について、それぞれお答えください。(質問ア～ウについて、それぞれ1つに○)

- まわりの人からの手助けを「希望する」の割合が高いのは、災害時の避難(44.0%)、安否確認の声かけ(35.3%)などとなっている。
- 今後まわりの人に手助け「したいと思う」の割合が高いのは安否確認の声かけ(40.2%)、災害時の避難(37.4%)、話し相手や相談相手(31.0%)、ちょっとした買い物やゴミ出し(28.7%)玄関前の除雪や草取り(27.5%)などとなっている。

### ① 安否確認の声かけ

安否確認の声かけについては、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が49.2%、「希望する」が35.3%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が59.4%、「ある」が25.4%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が40.2%、「したいと思わない」が5.9%となっている。

図表 安否確認の声かけ（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	35.3	49.2	15.5	9336

図表 安否確認の声かけ（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	25.4	59.4	15.2	9336

図表 安否確認の声かけ（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	40.2	5.9	41.8	12.1	9336

## ② ちょっとした買い物やゴミ出し

ちょっとした買い物やゴミ出しについて、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が68.0%、「希望する」が14.6%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が68.5%、「ある」が14.2%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が28.7%、「したいと思わない」が9.4%となっている。

図表 ちょっとした買い物やゴミ出し（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	14.6	68.0	17.4	9336

図表 ちょっとした買い物やゴミ出し（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	14.2	68.5	17.3	9336

図表 ちょっとした買い物やゴミ出し（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	28.7	9.4	47.1	14.8	9336

### ③ 食事や掃除・洗濯の手伝い

食事や掃除・洗濯の手伝いについて、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が71.5%、「希望する」が10.2%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が74.5%、「ある」が6.9%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思わない」が15.6%、「したいと思う」が15.2%となっている。

図表 食事や掃除・洗濯の手伝い（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	10.2	71.5	18.3	9336

図表 食事や掃除・洗濯の手伝い（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	6.9	74.5	18.6	9336

図表 食事や掃除・洗濯の手伝い（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	15.2	15.6	53.4	15.8	9336

#### ④ 通院の送迎や外出の手助け

通院の送迎や外出の手助けについて、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が64.0%、「希望する」が18.8%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が68.5%、「ある」が14.1%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が21.6%、「したいと思わない」が11.8%となっている。

図表 通院の送迎や外出の手助け（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	18.8	64.0	17.2	9336

図表 通院の送迎や外出の手助け（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	14.1	68.5	17.4	9336

図表 通院の送迎や外出の手助け（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	21.6	11.8	51.8	14.8	9336

### ⑤ 話し相手や相談相手

話し相手や相談相手について、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が57.5%、「希望する」が23.7%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が56.3%、「ある」が25.9%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が31.0%、「したいと思わない」が7.9%となっている。

図表 話し相手や相談相手（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	23.7	57.5	18.8	9336

図表 話し相手や相談相手（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	25.9	56.3	17.8	9336

図表 話し相手や相談相手（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	31.0	7.9	45.3	15.8	9336

## ⑥ 玄関前の除雪や草取り

玄関前の除雪や草取りについて、まわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望しない」が59.1%、「希望する」が21.5%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が57.8%、「ある」が23.1%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が27.5%、「したいと思わない」が9.6%となっている。

図表 玄関前の除雪や草取り（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	21.5	59.1	19.4	9336

図表 玄関前の除雪や草取り（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	23.1	57.8	19.1	9336

図表 玄関前の除雪や草取り（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	27.5	9.6	45.2	17.7	9336

## ⑦ 災害時の避難

災害時の避難についてまわりの人からの手助けを希望するかたずねたところ、「希望する」が44.0%、「希望しない」が37.9%となっている。

まわりの人への手助けの経験についてたずねたところ、「ない」が71.4%、「ある」が8.0%となっている。

今後まわりの人に手助けしたいかたずねたところ、「したいと思う」が37.4%、「したいと思わない」が5.4%となっている。

図表 災害時の避難（まわりの人からの手助けを希望するか）

(%)	希望する	希望しない	無回答	n
全体	44.0	37.9	18.1	9336

図表 災害時の避難（まわりの人への手助けの経験）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	8.0	71.4	20.6	9336

図表 災害時の避難（今後まわりの人に手助けしたいか）

(%)	したいと思う	したいと思わない	未定	無回答	n
全体	37.4	5.4	40.6	16.6	9336

## 7 健康について

### (1) 現在の健康状態

問 49 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

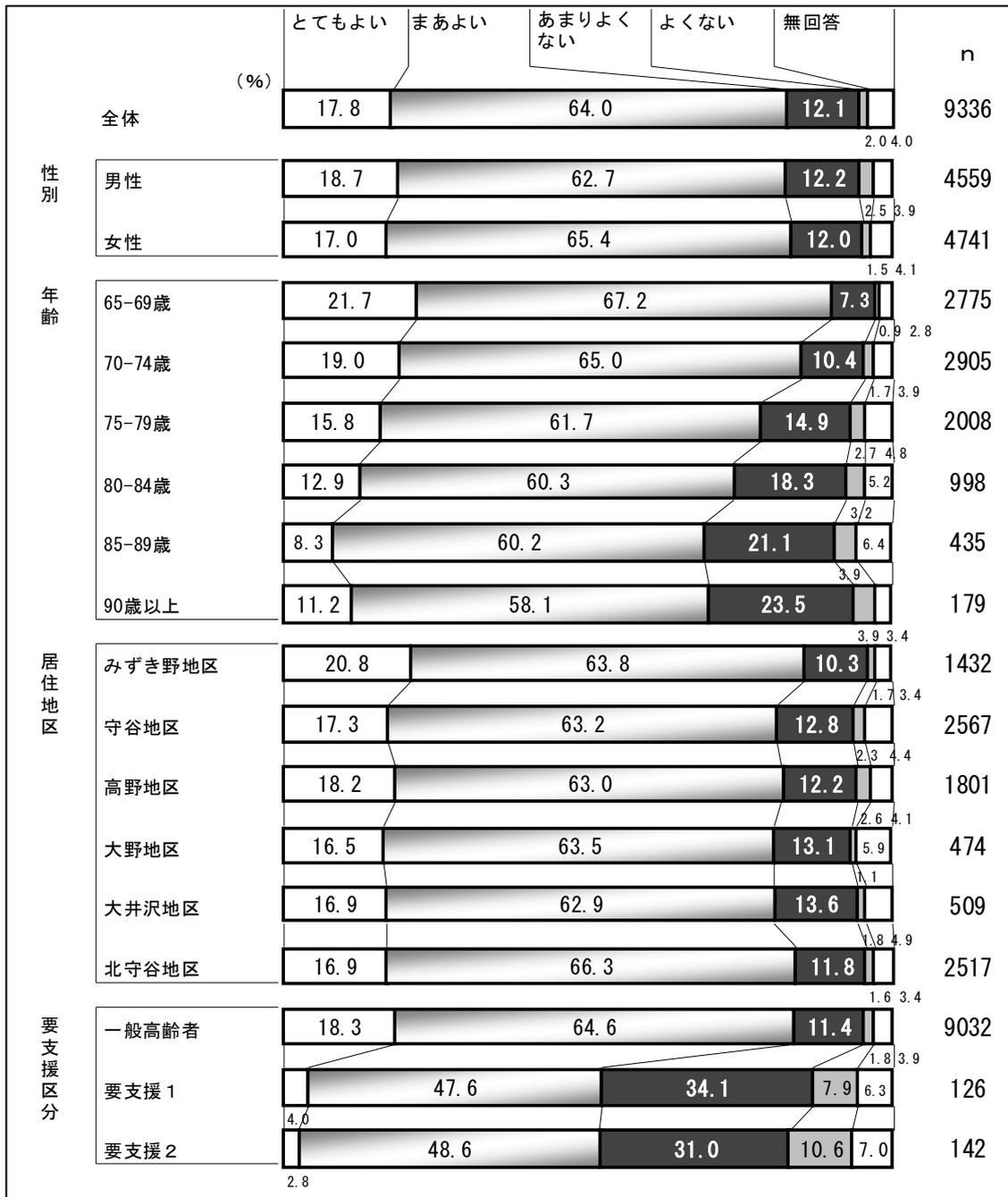


- “よい”が8割強、“よくない”が1割強を占める。

現在の健康状態については、「まあよい」(64.0%)と答えた人が最も多く、次いで「とてもよい」(17.8%)が続き、これらを合わせた“よい”は81.8%となっている。一方“よくない”（「あまりよくない」(12.1%)と「よくない」(2.0%)の合計)は14.1%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて“よい”の割合が低下する傾向がうかがえる。

図表 現在の健康状態



## (2) 現在の幸せの程度

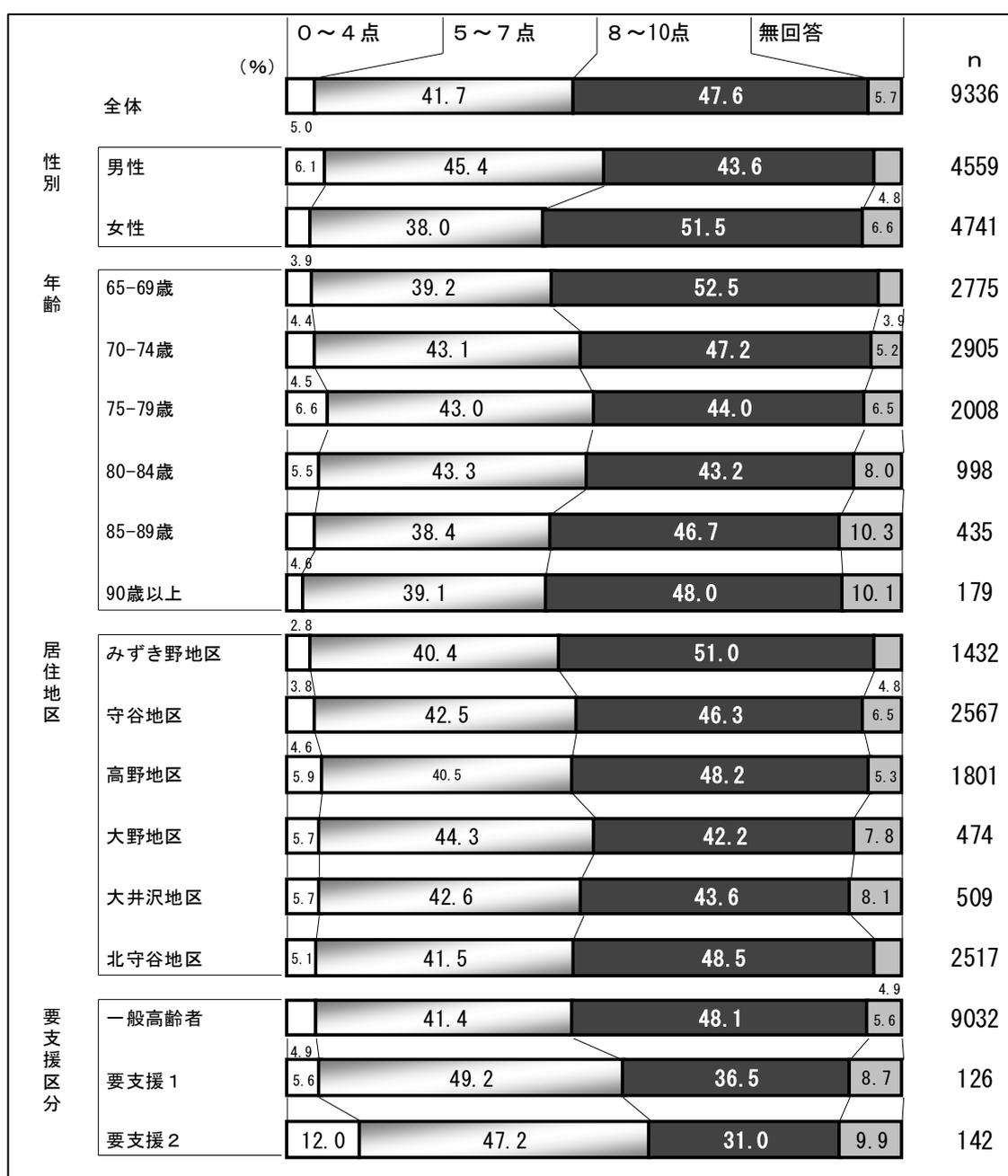
問 50 あなたは、現在どの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- 「8～10点」が5割弱、「5～7点」が4割強を占める。

現在の幸せの程度については、「8～10点」が47.6%、「5～7点」が41.7%、「0～4点」が5.0%となっている。

要支援区分でみると、「8～10点」の割合は要支援度が高くなるにつれて低下する傾向がうかがえ、要支援1では36.5%、要支援2では31.0%となっている。

図表 現在の幸せの程度



### (3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったか

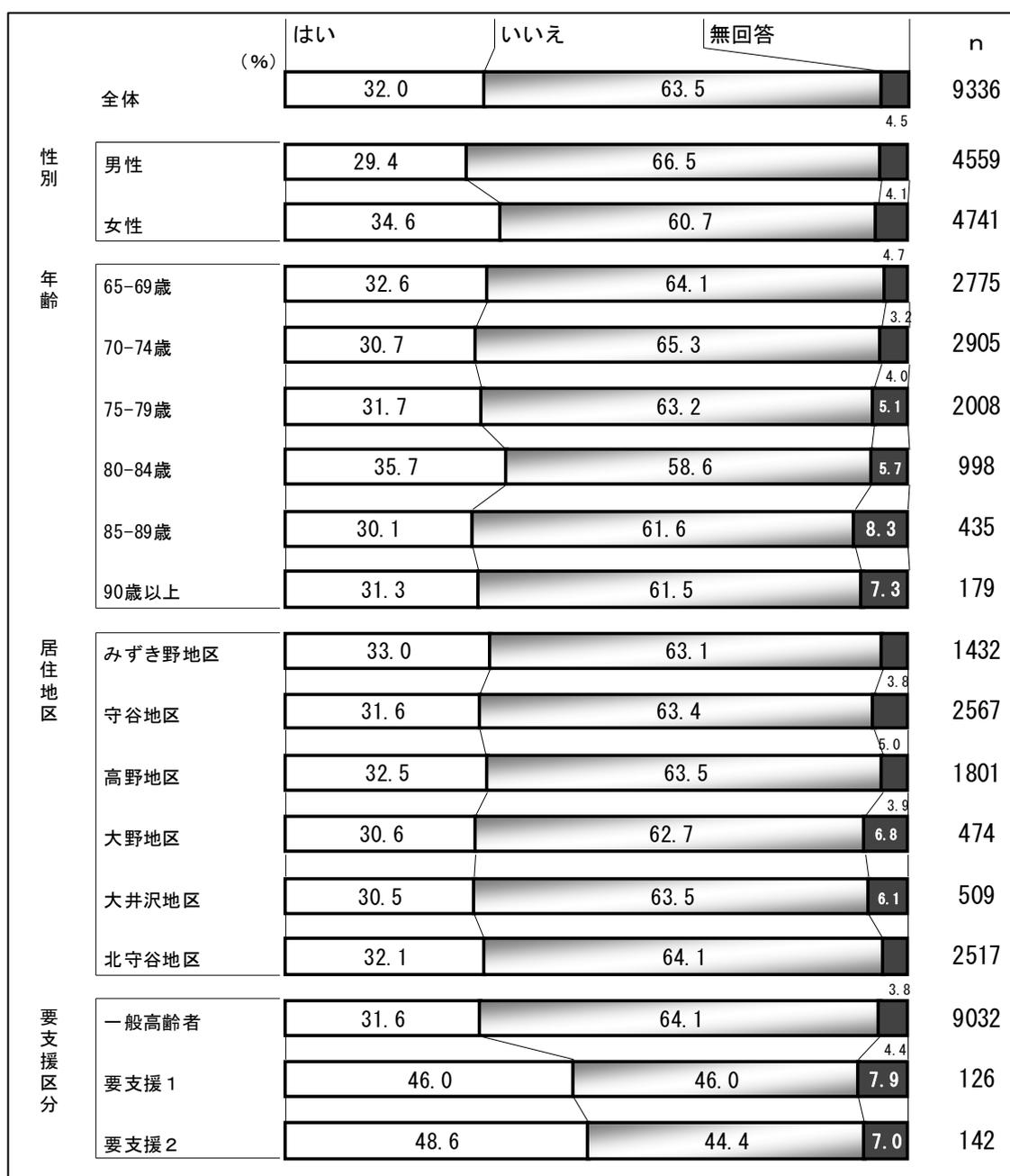
問 51 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

- 「いいえ」が6割強、「はい」が3割強を占める。

気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったかたずねたところ、「いいえ」が63.5%、「はい」が32.0%となっている。

要支援区分で見ると、一般高齢者では「はい」が31.6%となっているのに対し、要支援1では46.0%、要支援2では48.6%と高くなっている。

図表 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったか



#### (4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめないことがあったか

問 52 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

- 「いいえ」が8割弱、「はい」が2割弱を占める。

物事に対して興味がわからない、心から楽しめないことがあったかたずねたところ、「いいえ」が76.8%、「はい」が18.4%となっている。

要支援区分でみると、要支援1と要支援2では「はい」がいずれも3割以上を占めており、一般高齢者の18.0%を上回っている。

図表 物事に対して興味がわからない、心から楽しめないことがあったか

		(% )			n
		はい	いいえ	無回答	
全体		18.4	76.8	4.8	9336
性別	男性	17.9	77.7	4.4	4559
	女性	18.8	76.0	5.2	4741
年齢	65-69歳	16.2	80.5	3.3	2775
	70-74歳	17.0	78.7	4.3	2905
	75-79歳	19.9	74.2	5.9	2008
	80-84歳	22.4	71.6	5.9	998
	85-89歳	24.6	66.9	8.5	435
	90歳以上	20.1	71.5	8.4	179
居住地区	みずき野地区	17.5	78.6	4.0	1432
	守谷地区	19.2	75.3	5.5	2567
	高野地区	17.9	77.3	4.8	1801
	大野地区	20.5	72.8	6.8	474
	大井沢地区	20.6	73.5	5.9	509
	北守谷地区	17.6	78.3	4.1	2517
要支援区分	一般高齢者	18.0	77.4	4.7	9032
	要支援1	34.1	56.3	9.5	126
	要支援2	31.7	57.7	10.6	142

## (5) お酒を飲むか

問 53 お酒は飲みますか。(1つに○)



- 「もともと飲まない」、「ほぼ毎日飲む」が3割弱を占める。

お酒を飲むかたずねたところ、「もともと飲まない」が29.1%、「ほぼ毎日飲む」が25.5%、「ほとんど飲まない」が23.5%、「時々飲む」が18.1%となっている。

性別で見ると、男性では「ほぼ毎日飲む」が4割強を占めるのに対し、女性では1割未満となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「ほぼ毎日飲む」の割合は低くなり、「もともと飲まない」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 お酒を飲むか

		ほぼ毎日 飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答	n
全体	(%)	25.5	18.1	23.5	29.1		9336
						3.8	
性別	男性	42.8		20.1	20.1	13.4	4559
						3.7	
	女性	8.9	16.2	26.9	44.1		4741
						3.9	
年齢	65-69歳	29.7	21.0	22.4	24.3		2775
						2.6	
	70-74歳	28.2	17.6	23.6	26.7		2905
						3.8	
	75-79歳	23.7	17.9	23.8	30.0		2008
						4.6	
	80-84歳	17.7	15.6	24.3	37.2		998
						5.1	
	85-89歳	11.5	12.6	25.7	45.5		435
						4.6	
	90歳以上	14.5	10.1	26.8	44.1		179
						4.5	
居住地区	みずき野地区	27.7	22.0	23.7	23.1		1432
						3.5	
	守谷地区	23.3	17.8	24.2	30.5		2567
						4.2	
	高野地区	25.7	16.4	24.7	29.8		1801
						3.6	
	大野地区	21.7	15.0	20.9	36.9		474
						5.5	
	大井沢地区	24.0	14.5	21.6	35.0		509
						4.9	
	北守谷地区	27.5	18.7	22.8	27.8		2517
						3.1	
要支援区分	一般高齢者	26.0	18.3	23.4	28.6		9032
						3.7	
	要支援1	11.9	9.5	33.3	40.5		126
					4.8		
	要支援2	9.2	12.0	26.8	45.1	7.0	142

## (6) タバコを吸っているか

問 54 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

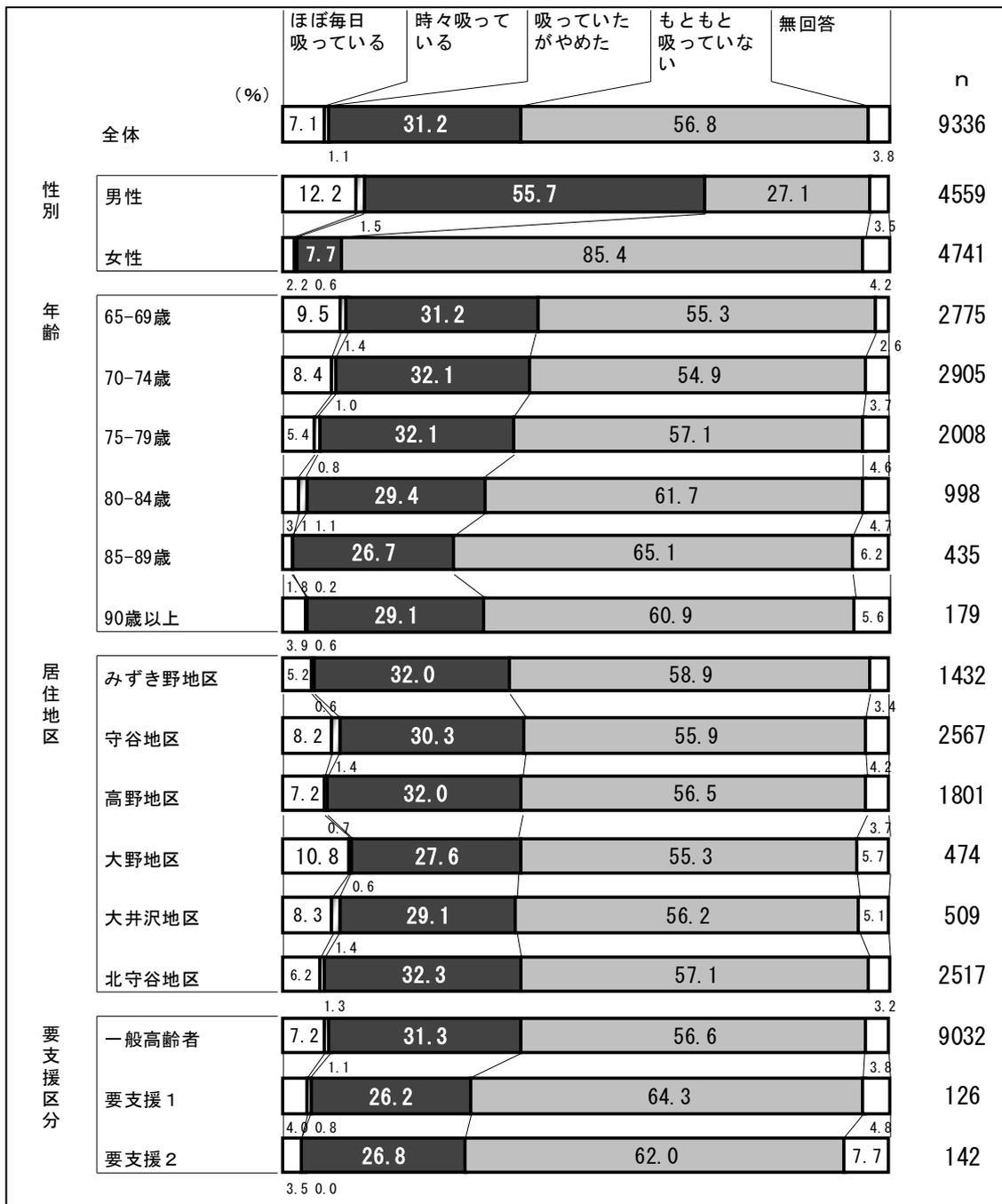


- 「もともと吸っていない」が6割弱、「吸っていたがやめた」が3割強を占める。

タバコを吸っているかたずねたところ、「もともと吸っていない」が56.8%、「吸っていたがやめた」が31.2%、「ほぼ毎日吸っている」が7.1%、「時々吸っている」が1.1%となっている。

性別で見ると、男性では「吸っていたがやめた」が6割弱を占めるのに対し、女性では「もともと吸っていない」が9割弱を占めている。

図表 タバコを吸っているか



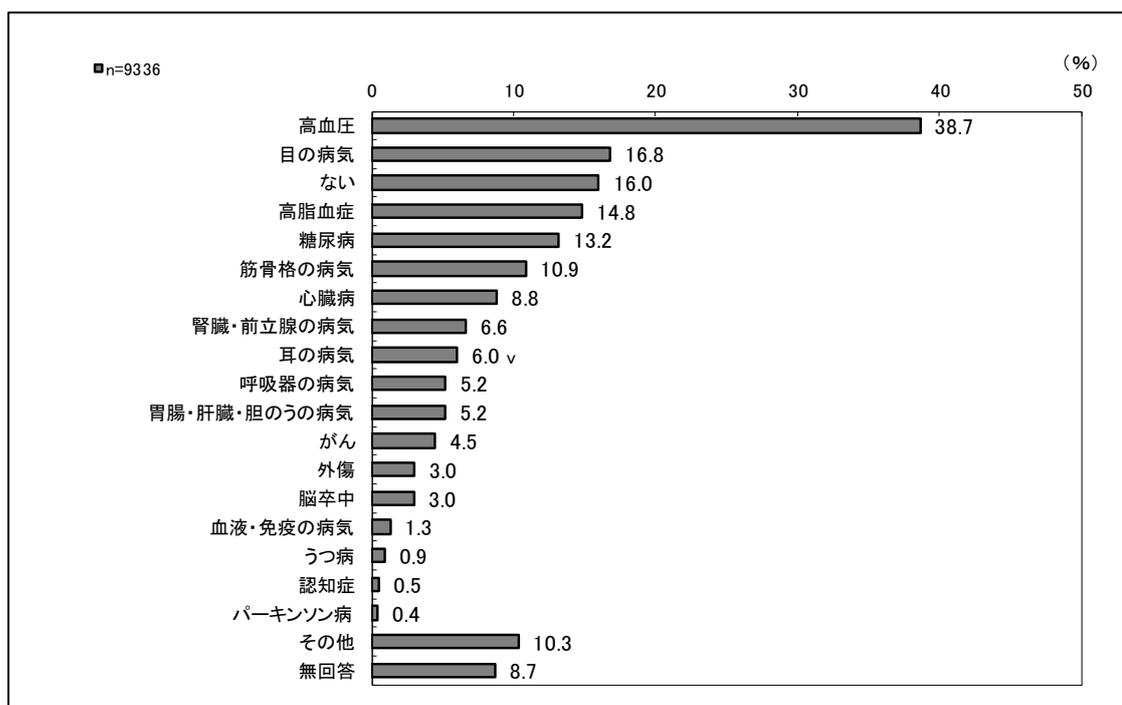
## (7) 現在治療中または後遺症のある病気

問 55 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)  
【複数回答】

- 「高血圧」が他を大きく引き離して第1位。

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(38.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(16.8%)、「高脂血症」(14.8%)、「糖尿病」(13.2%)、「筋骨格の病気」(10.9%)、「心臓病」(8.8%)、「腎臓・前立腺の病気」(6.6%)、「耳の病気」(6.0%)、「呼吸器の病気」・「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(同率5.2%)、「がん」(4.5%)、「外傷」・「脳卒中」(同率3.0%)、「血液・免疫の病気」(1.3%)、「うつ病」(0.9%)、「認知症」(0.5%)、「パーキンソン病」(0.4%)となっている。

図表 現在治療中または後遺症のある病気 (全体/複数回答)



図表 現在治療中または後遺症のある病気（全体・属性別－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		高血圧 38.7	目の病気 16.8	高脂血症 14.8
性別	男性	高血圧 41.3	糖尿病 16.3	目の病気 16.2
	女性	高血圧 36.2	目の病気 17.4	筋骨格の病気 17.3
年齢	65-69歳	高血圧 32.3	高脂血症 16.5	目の病気 11.6
	70-74歳	高血圧 38.5	高脂血症 17.4	目の病気 16.7
	75-79歳	高血圧 42.2	目の病気 19.7	糖尿病 15.1
	80-84歳	高血圧 45.0	目の病気 21.7	筋骨格の病気 14.8
	85-89歳	高血圧 45.1	目の病気 25.3	筋骨格の病気 20.7
	90歳以上	高血圧 52.0	目の病気 19.6	筋骨格の病気 16.2
居住地区	みずき野地区	高血圧 34.3	高脂血症 17.4	目の病気 16.4
	守谷地区	高血圧 41.3	目の病気 16.3	糖尿病 15.3
	高野地区	高血圧 36.5	目の病気 17.8	高脂血症 14.4
	大野地区	高血圧 44.7	目の病気 17.3	糖尿病 14.1
	大井沢地区	高血圧 42.6	糖尿病 17.7	筋骨格の病気 11.2
	北守谷地区	高血圧 38.2	目の病気 18.0	高脂血症 17.2
要支援区分	一般高齢者	高血圧 38.6	目の病気 16.7	高脂血症 15.0
	要支援1	高血圧 38.1	筋骨格の病気 24.6	目の病気 19.0
	要支援2	高血圧 45.1	目の病気 24.6	筋骨格の病気 23.9

## 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 自分あるいは家族に認知症の症状があるか

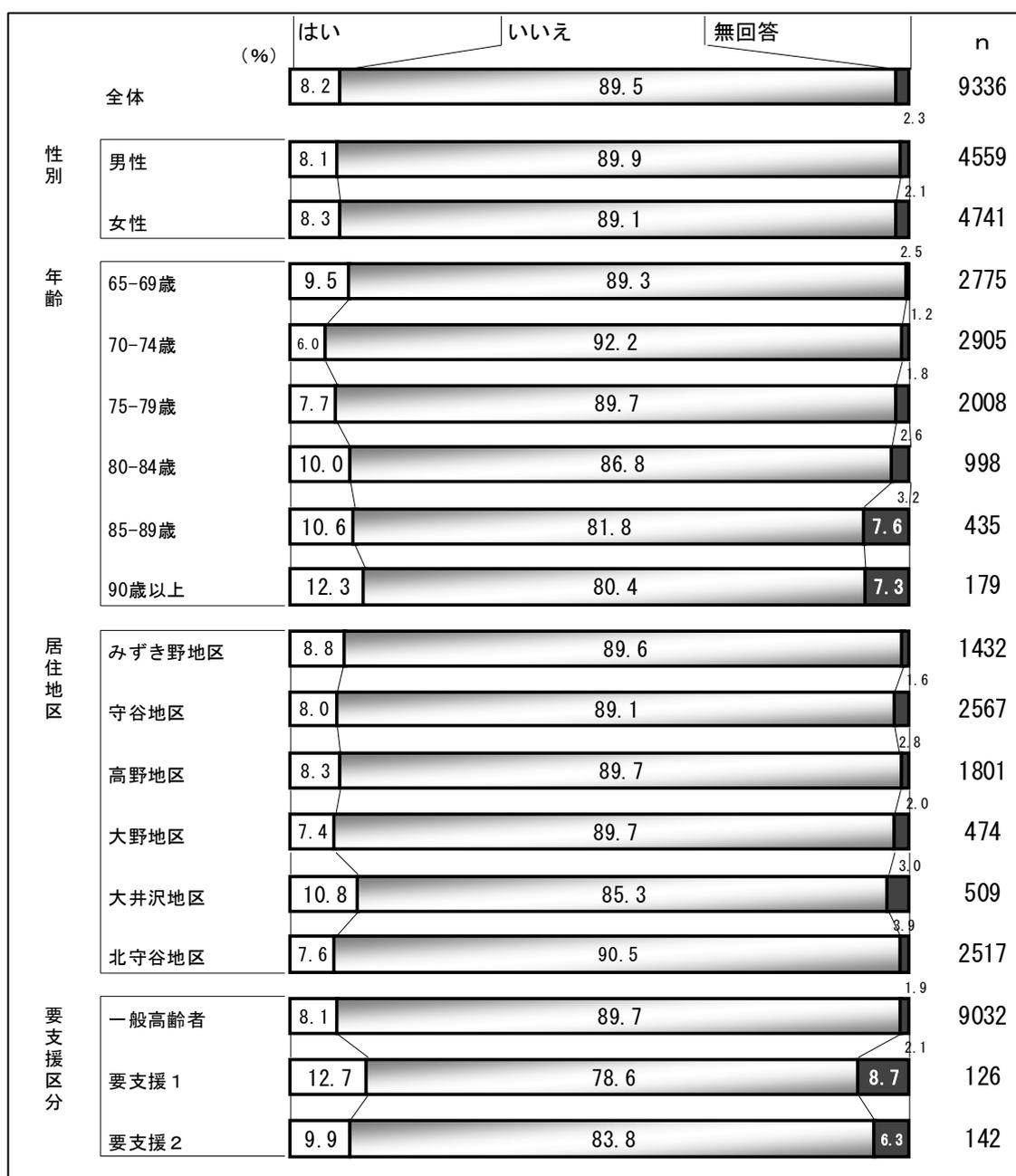
問 56 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

- 「いいえ」が9割弱を占める。

自分あるいは家族に認知症の症状があるかたずねたところ、「いいえ」が 89.5%、「はい」が 8.2%となっている。

いずれの属性でも「はい」は1割程度となっている。

図表 自分あるいは家族に認知症の症状があるか



## (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 57 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- 「いいえ」が6割強、「はい」が3割強を占める。

認知症に関する相談窓口を知っているかたずねたところ、「いいえ」が63.8%、「はい」が34.0%となっている。

性別でみると、女性では「はい」が38.2%を占めるのに対し、男性では29.7%となっている。

図表 認知症に関する相談窓口を知っているか

		はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)	n
	全体	34.0	63.8	2.2	9336
性別	男性	29.7	68.1	2.1	4559
	女性	38.2	59.6	2.3	4741
年齢	65-69歳	33.0	65.8	1.3	2775
	70-74歳	32.8	65.3	1.9	2905
	75-79歳	35.3	62.2	2.5	2008
	80-84歳	36.1	60.6	3.3	998
	85-89歳	38.4	56.1	5.5	435
	90歳以上	33.5	63.1	3.4	179
居住地区	みずき野地区	32.3	66.1	1.6	1432
	守谷地区	35.8	61.2	3.0	2567
	高野地区	34.2	63.7	2.1	1801
	大野地区	37.6	60.1	2.3	474
	大井沢地区	33.0	64.0	2.9	509
	北守谷地区	32.6	65.8	1.6	2517
要支援区分	一般高齢者	33.9	64.0	2.1	9032
	要支援1	38.1	56.3	5.6	126
	要支援2	39.4	54.9	5.6	142

### (3) 知っている相談窓口

※問 57-1 は、問 57 で「1. はい」(知っている) に○をつけた方のみお答えください。  
問 57-1 知っている相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

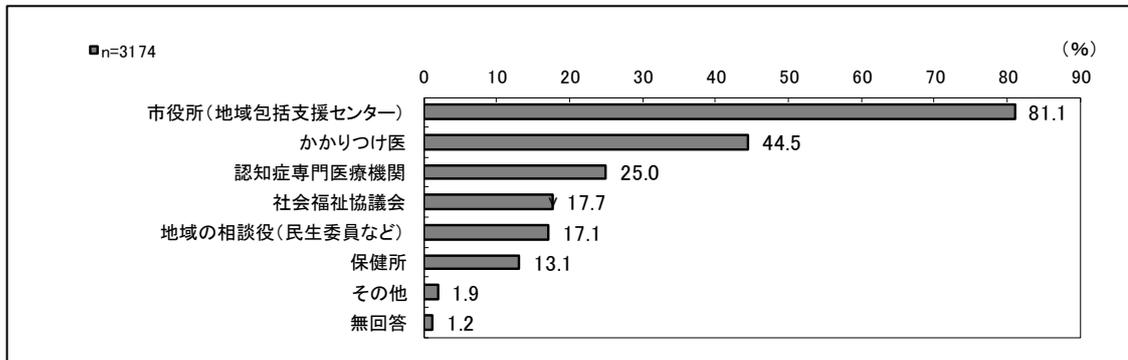


- 「市役所 (地域包括支援センター)」が他を大きく引き離して第 1 位。

知っている相談窓口についてたずねたところ、「市役所 (地域包括支援センター)」(81.1%) が最も多く、次いで「かかりつけ医」(44.5%)、「認知症専門医療機関」(25.0%)、「社会福祉協議会」(17.7%)、「地域の相談役(民生委員など)」(17.1%)、「保健所」(13.1%) の順となっている。

要支援区分で見ると、要支援 1 では「かかりつけ医」が第 1 位となっている。

図表 知っている相談窓口 (全体/複数回答)



図表 知っている相談窓口（全体・属性別－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		市役所（地域包括支援センター） 81.1	かかりつけ医 44.5	認知症専門医療機関 25.0
性別	男性	市役所（地域包括支援センター） 78.9	かかりつけ医 42.0	認知症専門医療機関 20.5
	女性	市役所（地域包括支援センター） 82.7	かかりつけ医 46.4	認知症専門医療機関 28.3
年齢	65-69歳	市役所（地域包括支援センター） 85.7	かかりつけ医 39.1	認知症専門医療機関 25.5
	70-74歳	市役所（地域包括支援センター） 84.6	かかりつけ医 42.5	認知症専門医療機関 24.4
	75-79歳	市役所（地域包括支援センター） 79.0	かかりつけ医 46.5	認知症専門医療機関 26.0
	80-84歳	市役所（地域包括支援センター） 71.7	かかりつけ医 53.1	認知症専門医療機関 24.2
	85-89歳	市役所（地域包括支援センター） 69.5	かかりつけ医 56.9	認知症専門医療機関 24.6
	90歳以上	市役所（地域包括支援センター） 68.3	かかりつけ医 48.3	認知症専門医療機関 20.0
居住地区	みずき野地区	市役所（地域包括支援センター） 83.8	かかりつけ医 45.9	認知症専門医療機関 24.0
	守谷地区	市役所（地域包括支援センター） 76.1	かかりつけ医 45.6	認知症専門医療機関 23.3
	高野地区	市役所（地域包括支援センター） 82.3	かかりつけ医 45.9	認知症専門医療機関 27.3
	大野地区	市役所（地域包括支援センター） 80.3	かかりつけ医 40.4	地域の相談役（民生委員など） 24.2
	大井沢地区	市役所（地域包括支援センター） 82.7	かかりつけ医 51.2	認知症専門医療機関 20.8
	北守谷地区	市役所（地域包括支援センター） 84.0	かかりつけ医 40.9	認知症専門医療機関 27.0
要支援区分	一般高齢者	市役所（地域包括支援センター） 81.4	かかりつけ医 43.9	認知症専門医療機関 25.0
	要支援1	かかりつけ医 68.8	市役所（地域包括支援センター） 66.7	認知症専門医療機関 31.3
	要支援2	市役所（地域包括支援センター） 76.8	かかりつけ医 57.1	認知症専門医療機関／社会福祉協議会 19.6